

オペレーション マニュアル

◎ KOMPLETE KONTROL S-SERIES



NATIVE INSTRUMENTS

THE FUTURE OF SOUND

この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購買したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Ableton is a trademark of Ableton AG.

VST, HALion, Cubase, and Nuendo are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Mac, macOS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Jan Ola Korte, Christian Schulz, Nicolas Sidi, Gustav Sto. Tomas, David Gover

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 2.0.5 (10/2018)

ソフトウェアバージョン: KOMPLETE KONTROL S-Series MK2

製品の向上とバグ報告に携わったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

NATIVE INSTRUMENTS GmbH
Schlesische Str. 29-30
D-10997 Berlin
Germany
www.native-instruments.de

NATIVE INSTRUMENTS North America, Inc.
6725 Sunset Boulevard
5th Floor
Los Angeles, CA 90028
USA
www.native-instruments.com

NATIVE INSTRUMENTS K.K.
YO Building 3F
Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,
Tokyo 150-0001
Japan
www.native-instruments.co.jp

NATIVE INSTRUMENTS UK Limited
18 Phipp Street
London EC2A 4NU
UK
www.native-instruments.co.uk

NATIVE INSTRUMENTS FRANCE
SARL
113 Rue Saint-Maur
75011 Paris
France
www.native-instruments.com

SHENZHEN NATIVE INSTRUMENTS COMPANY
Limited
203B & 201B, Nanshan E-Commerce Base Of Innovative
Services
Shi Yun Road, Shekou, Nanshan, Shenzhen
China
www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2018. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1 KOMPLETE KONTROL へようこそ	12
1.1 マニュアル特定表記について	12
1.2 梱包内容	14
1.3 動作環境	14
1.4 ユーザー補助機能 (Accessibility)	15
1.4.1 キーボード概観	15
1.4.2 ユーザー補助機能 (Accessibility) の起動	17
1.4.3 トレーニングモード (Training Mode)	18
1.4.4 機能概要とキーボードショートカット	18
2 KOMPLETE KONTROL ワークフロー	21
3 KOMPLETE KONTROL の設定	23
3.1 キーボードをコンピューターに接続する	23
3.2 スタンドアロンアプリケーションの設定	24
3.3 ホスト連携用設定	27
3.3.1 Apple Logic Pro X と GarageBand の設定	27
3.3.2 Steinberg Cubase / Nuendo 設定	27
3.3.3 Ableton Live の設定 (macOS)	28
3.3.4 Ableton Live の設定 (Windows)	30
3.4 キーボードに各ペダルを接続する	31
3.5 キーボードに外部 MIDI 機器を接続する	35
4 ソフトウェア概要	36
4.1 ヘッダ	37

4.2	ブラウザ	38
4.2.1	Library ペイン	38
4.2.2	製品選択	40
4.2.3	Files ペイン	42
4.2.4	キーボードのブラウザ	44
4.3	パフォームパネル	44
4.4	プラグインパネル	45
4.5	プラグインチェーンパネル	46
4.6	MIDI Assignment エディター	47
4.7	プラグインエリア	48
5	キーボード概観	49
5.1	Perform と Edit セクション	51
5.2	トランスポートセクション	52
5.3	コントロールセクション	53
5.4	各モードボタン	54
5.5	4-D エンコーダー	55
5.6	キーベッドと Light Guide	55
5.7	Touch Strip	56
5.8	トランスポーズと Fixed Velocity ボタン	56
6	グローバル (Global) コントロールと環境設定 (Preferences)	58
6.1	インストゥルメントビュー (Instrument Views)	58
6.1.1	Default View	59
6.1.2	Additional View	59

6.1.3	Edit View	61
6.2	インスタンスの切り替え	62
6.3	トランスポートとテンポ	63
6.3.1	クロックのリセット	64
6.3.2	テンポの調節	64
6.4	マスター・ボリュームの調整	65
6.5	環境設定 (Preferences)	65
6.5.1	Preferences – Audio ページ	66
6.5.2	Preferences – MIDI ページ	68
6.5.3	Preferences – General ページ	70
6.5.4	Preferences – Library ページ	71
6.5.5	Preferences – Plug-ins ページ	75
6.6	キーボード設定	79
6.7	デフォルトの状態でプラグインをロードする	79
7	MIDI コミュニケーション	82
7.1	ホストオートメーション	83
7.1.1	オートメーションの録音	83
7.1.2	Perform Panel 用オートメーション ID	83
7.2	MIDI モードでキーボードモードを使用する	84
7.3	スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する	85
8	MIDI Assignment エディターの使用	88
8.1	マッピングシステム	88
8.2	MIDI Assignment エディターを開く	89

8.3	コントロール部に MIDI Messages をアサインする	89
8.4	コントロール部の名称設定	91
8.5	新規 MIDI テンプレートの作成	92
8.6	MIDI テンプレートの名称変更	93
8.7	Key Zones の作成	94
8.7.1	Key Zone について	94
8.7.2	Key Zone の分割	95
8.7.3	Key Zone に別の MIDI チャンネルを設定する	96
8.7.4	Key Zone の色を変更する	97
8.7.5	Key Zone のサイズ変更	98
8.7.6	Key Zone の無効化 (Disabling a Key Zone)	99
8.7.7	Key Zone の削除	101
8.7.8	Key Zone のトランスポーズ	102
8.8	MIDI メッセージタイプとアサイン	104
8.8.1	MIDI メッセージタイプ- Type メニュー	104
8.8.2	ノブのアサイン	105
8.8.3	ボタンのアサイン	106
8.8.4	キーゾーンのアサイン	107
8.8.5	Touch Strip のアサイン	108
8.8.6	ペダル (スイッチ) のアサイン	108
8.8.7	ペダル (連続値用) のアサイン	110
9	ホスト連携	111
9.1	MASCHINE との使用	111

9.1.1	基本コントロール機能	112
9.1.2	高度連動用コントロール機能	114
9.2	Apple Logic Pro X と GarageBand との連携	120
9.3	Ableton Link との連携	123
9.4	Steinberg Cubase/Nuendo サポート	125
10	ライブラリのブラウズ	128
10.1	ブラウザの基本	128
10.1.1	Product Types: Instrument と Effect	128
10.1.2	ライブラリとメタインフォメーションについて	129
10.1.3	ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧	130
10.2	ブラウザを開く	130
10.3	プリセットファイルのロード	131
10.4	ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択	132
10.5	プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索	133
10.6	バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索	138
10.7	プロダクトセレクションのリセット	140
10.8	Types と Modes タグフィルター	141
10.8.1	Types と Modes でプリセットファイルを絞り込む	144
10.8.2	同じレベルで複数のタグを選択する	148
10.9	お気に入りの活用 (Favorites)	148
10.9.1	Favorites にプリセットファイルを追加する	149
10.9.2	リザルトリストでお気に入りを表示する	151
10.9.3	Favorites からプリセットファイルを削除する	152

10.10 テキスト検索の方法	154
10.11 プリセットファイル情報の表示	154
10.12 プリセットファイルのオーディション (Prehear)	155
11 エフェクトの使用方法	157
11.1 プラグインチェーンパネルを開く	157
11.2 エフェクトの追加	158
11.3 プラグインスロットの選択	162
11.4 エフェクトの配置を変える	163
11.5 プラグインチェーンのスクロール	164
11.6 エフェクトのバイパス	165
11.7 エフェクトの削除	166
12 ライブラリの管理	168
12.1 ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する	168
12.2 ユーザーライブラリからプリセットファイルを削除する	170
12.3 ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する	171
12.4 Files ペインの使用	174
12.4.1 Files ペインのリザルトリストの追加機能	175
12.4.2 ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする	176
12.4.3 最近使ったファイルがある場所への移動	177
12.4.4 ファイル場所をお気に入りにする	177
12.5 VST プラグインのロード	178
12.6 NKS インストゥルメントのインストール	179
12.7 KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする	182

13 インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作	184
13.1 事前にマッピングが施されたインストゥルメント/エフェクトについて	184
13.2 パラメーターの調節	184
13.3 パラメーターページの切り替え	184
13.4 プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ	185
14 Smart Play - スケールとコード演奏と編集	188
14.1 音楽理論について	188
14.2 スケールエンジンを起動する	189
14.3 演奏するスケールの選択	190
14.4 コードの演奏	191
14.5 スケールとコードの編集	192
14.6 SCALE パラメーターの設定	192
14.6.1 SCALE ルートノート	193
14.6.2 SCALE バンクとタイプ	193
14.7 KEY MODE パラメーターの設定	200
14.8 CHORD パラメーターの設定	202
14.8.1 CHORD モード	202
14.8.2 CHORD タイプ	203
14.8.3 CHORD ポジション	206
15 Smart Play - アルペジオ演奏と編集	208
15.1 Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏	209
15.2 サステインペダルでアルペジエーターをコントロールする	209
15.3 キーボードでアルペジエーターのスナップショットを使用する	210

15.4	アルペジエーターの編集	210
15.5	MAIN パラメーター	211
15.5.1	MAIN モード	212
15.5.2	MAIN タイプ	212
15.6	RHYTHM パラメーター	213
15.6.1	RHYTHM Rate	213
15.6.2	RHYTHM Sequence	214
15.6.3	RHYTHM Swing	214
15.7	OTHER パラメーター	215
15.7.1	OTHER Octaves	215
15.7.2	OTHER Dynamic	216
15.7.3	OTHER Gate	216
15.8	ADVANCED パラメーター	216
15.8.1	ADVANCED Retrigger	217
15.8.2	ADVANCED Repeat	217
15.8.3	ADVANCED Offset	218
15.8.4	ADVANCED Inversion	218
15.9	RANGE パラメーター	218
15.9.1	RANGE Min. Key	219
15.9.2	RANGE Max. Key	219
15.10	HOLD パラメーター	219
索引	221	

1 KOMPLETE KONTROL へようこそ

KOMPLETE KONTROL をお選びいただき、ありがとうございます。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアとその専用キーボードである KOMPLETE KONTROL S-SERIES は音楽制作/パフォーマンスシステムで、これらは密接に連動、KOMPLETE と Native Kontrol Standard (NKS) サウンドすべてを制御するワークフローの中核となります。

KOMPLETE KONTROL は数あるホストとの高度な連動性を実現、Native Instruments と各パートナーが提供するインストゥルメントや NKS を完全制御します。キーボードでは直感的にインストゥルメントエフェクトをブラウズすることができ、KOMPLETE KONTROL 独自のスケールエンジンとアルペジエーターで創造性豊かな演奏を行うことができます。

この製品を存分に楽しんでいただけることを願います。

NATIVE INSTRUMENTS チームより

1.1 マニュアル特定表記について

本資料では、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容を区別しています。



スピーチバブルアイコンはヒントや、効率よく作業を進めるためのヘルプを表示します。



感嘆符（！）は内容の本質となる重要な情報を示します。



赤い十字のアイコンは特に注意しなければならない問題や危険事項について表記しています。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- ソフトウェアで表示される内容 (*Open*…、*Save as*… 等) 及び、ハードディスク、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
- ソフトウェアのその他の場所で表示されるテキスト (ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は青色で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはずです。

- コントローラー画面表示内容は薄い灰色で明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー画面上で確認できるはずです。
 - ハードウェアコントローラーに関する表示内容はオレンジで明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー上で確認できるはずです。
 - 重要な名称とコンセプトは **ボールド体で表示** しています。
 - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、[Shift] + [Enter])。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えています。
- 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

資料内での各呼称について

本資料ではハードウェアコントローラーを **KOMPLETE KONTROL キーボード**、(または**キーボード**) と呼び、コンピューターにインストールしたソフトウェアのことは **KOMPLETE KONTROL ソフトウェア** と呼びます。

キーボードの無記載のボタンについて

KOMPLETE KONTROL キーボードのディスプレイ上下にあるボタンとノブには機能の記載がありません。



KOMPLETE KONTROL キーボードの記載がないボタンとノブです。

これらはこの資料に頻出するのでその表記法を記載しておきます。これらの部分は、ディスプレイの上のボタンの場合はボタン 1 からボタン 8、ディスプレイ下のノブはノブ 1 からノブ 8 と表記します。

1.2 梱包内容

梱包内容は以下となります。

- KOMPLETE KONTROL キーボード
- USB ケーブル



同梱の 3 メートル USB ケーブルは KOMPLETE KONTROL S88 キーボード専用です。

- 電源ケーブル (KOMPLETE KONTROL S88 ボックスのみに付属します)
- 以下の内容が記載されたフライヤー
 - KOMPLETE KONTROL キーボード用ハードウェア シリアルナンバー
 - ダウンロード用 KOMPLETE KONTROL ソフトウェア と KOMPLETE SELECT ソフトウェア バンドル ウェブリンク
- 使用時の注意事項を記載した用紙

1.3 動作環境

KOMPLETE KONTROL が正常に機能するための動作環境は、以下の必要条件を満たすことが必須となります。KOMPLETE KONTROL の動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

<http://www.native-instruments.com/komplete-kontrol-s-series/specifications/>

KOMPLETE

KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE SELECT、KOMPLETE、KOMPLETE ULTIMATE の使用時に最適な仕様に設計されています。

KOMPLETE システムの動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

<http://www.native-instruments.com/products/komplete/>

1.4 ユーザー補助機能 (Accessibility)

KOMPLETE KONTROL では 以下の機能に対して音声補助を含んだ視覚障害者用機能を備えています。これらの機能は KOMPLETE KONTROL キーボード使用時に特化したもので、以下機能のスピーチ機能も利用できます。

- Perform、Transpose ボタン、ページ左右ボタン
- 全ブラウザ用機能
- インスタンスの切り替え
- プラグインパネル、パフォームパネル (Scale、Arp) 機能を含む現在使用しているエディットモード。
- 全エディットモードを含んだノブに触れている際のパラメーター名称とパラメーターセクション
- Tempo (KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションのみ)



ユーザー補助機能は Apple Logic Pro X または GarageBand 内で KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能と Apple VoiceOver を併用することで特に有効に機能します。

1.4.1 キーボード概観

KOMPLETE KONTROL キーボードのボタンとノブは以下グループ各に分けることができます。

- Perform と Edit セクション
- Transport セクション
- Solo / Mute ボタン
- Preset と Page ボタン
- Arrange ボタン (MASCHINE のみの機能です。)
- Control セクション
- Navigation と Mode ボタン
- 4 指向ブッシュエンコーダー(4-D エンコーダー)
- Transpose と Fixed Velocity ボタン

キーボードの左上にはパフォーム、エディットセクションがあります。 ここには以下の 6 つのボタンがあります。

最初の列のボタンは左から以下となります。

- SHIFT
- SCALE (Edit)
- ARP (Edit)

2 列目のボタンは左から以下となります。

- UNDO (Redo)
- QUANTIZE
- AUTO

Transport セクションは Perform と Edit セクションの真下にあります。ここには以下の 6 つのボタンがあります。

最初の列のボタンは左から以下となります。

- LOOP
- METRO
- TEMPO

2 列目のボタンは左から以下となります。

- PLAY (Restart)
- REC (Count-In)
- STOP

Solo と Mute ボタンは Perform と Edit セクションの右上にあります。ここには 2 つのボタンがあります。

左から各ボタンは以下となります。

- ミュート
- ソロ (Solo)

Preset と Page ボタンは Perform と Edit セクションの右下、Solo と Mute ボタンの下にあります。ここには 4 つのボタンがあります。

上から各ボタンは以下となります。

- PRESET 上
- PRESET 下
- ページ左右ボタン (隣りあっています)

Arrange ボタンは MASCHINE のみで使用できます。このボタンは Solo と Mute、または Preset と Page ボタンの右にあります。ここには 5 つのボタンがあります。

上から各ボタンは以下となります。

- SCENE
- PATTERN
- TRACK
- KEY MODE
- CLEAR

コントロールセクションは KOMPLETE KONTROL キーボードの中央部に設けてあります。ここには 8 のボタンとノブがそれぞれあります。ボタンはキーボードの最上部にあります。ノブはキーベッドの真上にあります。

Navigation ボタンと Mode ボタンは KOMPLETE KONTROL キーボードの右上にあります。ここには 6 つのボタンがあります。

最初の列のボタンは左から以下となります。

- BROWSER
- PLUG-IN
- MIXER

2 列目のボタンは左から以下となります。

- INSTANCE
- MIDI
- SETUP

4-D エンコーダーは Navigation と Mode ボタンの真下にあります。

Transpose と Fixed Velocity ボタンはキーベッドのとなり、鍵盤の左端にあり、ピッチ/モジュレーションホイールの真上にあります。ここには 3 つのボタンがあります。

左から各ボタンは以下となります。

- FIXED VEL (TS Mode)
- OCT 下
- OCT 上

1.4.2 ユーザー補助機能 (Accessibility) の起動

の起動、または起動解除は KOMPLETE KONTROL ソフトウェア起動時に KOMPLETE KONTROL キーボードから操作することもできます。

1. キーボードの左上の SHIFT ボタンを押したままにします。
 2. SHIFT を押しながらキーボードの右上の MIXER ボタンを押します。
- 音声補助機能がユーザー補助機能の起動、起動解除を伝えます。

ユーザー補助機能を起動すると、ブラウズ時のプリセットファイルの読み上げ機能の起動、起動解除を設定することができます。

1. キーボードの左上の SHIFT ボタンを押したままにします。
 2. SHIFT を押したままコントロールセクションのボタン 5 を押してください。
- これでブラウズ時にプリセットファイル名称の読み上げ機能を起動、起動解除します。



ユーザー補助機能は、KOMPLETE KONTROL プラグインを使用する際に最適な状態となるよう設計されています。KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーション使用時は、初期インストール時、および追加インストールメントとエフェクトをインストールした後、アプリケーションを起動した状態にしておく必要があります。これによって KOMPLETE KONTROL ブラウザに、全インストールメントとエフェクトが正しく表示されるようになります。

1.4.3 トレーニングモード (Training Mode)

KOMPLETE KONTROL Training Mode は、間違った操作をすることなく簡単に特定のボタンやパラメーターを操作することができる機能です。トレーニングモードを起動すると、ボタンとパラメーター操作時に音声ガイドが再生されます。この時、該当する操作内容は機能しません。

トレーニングモードの起動

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動した状態で KOMPLETE KONTROL キーボード上でトレーニングモードを起動、起動解除するには、キーボードの左上にある **SHIFT** ボタンを 2 度押します。



トレーニングモードはユーザー補助機能起動時にのみ使用することができます。

1.4.4 機能概要とキーボードショートカット

以下の概要では KOMPLETE KONTROL キーボードと KOMPLETE KONTROL ソフトウェア各の KOMPLETE KONTROL 用ユーザー補助機能を記載しています。表には関連するキーボードショートカットを記載しています。

	機能	キーボードから使用できる機能	キーボード ショートカット
Accessibility モード	Accessibility モードの起動と起動解除	はい	SHIFT + MIXER
	プリセットファイル名称用スピーチ機能の起動/起動解除		SHIFT + ボタン 5

	機能	キーボードから使用できる機能	キーボード ショートカット
ブラウザ	Factory 及び User Preset ファイルのブラウズ	はい	左/右ページボタンを押す
	Category と Vendor により表示順序を入れ替えます。	はい	SHIFT + ノブ 1
	プリセットファイルを Favorites に追加する	はい	SHIFT + ノブ 4
	お気に入り (Favourite) による整理		SHIFT + ノブ 3
	User Preset ファイルの保存と編集	いいえ	
	他のベンダーからの NKS プラグインのブラウズ	はい	デフォルトサポート
インストゥルメントコントロール	キーインストゥルメントパラメーターの設定	はい	ノブ 1-8
	インストゥルメントパラメーターのカスタムマッピング	いいえ	
Smart Play	Scale と Chord パラメーターへのアクセス	はい	SHIFT + SCALE Edit
	Scale と Chord パラメーターの調整		ノブ 1-8
	Scale & Chord パラメーターへのアクセス	はい	SHIFT + ARP Edit
	ARP パラメーターの調整		ノブ 1-8
	パラメーターページの選択		左/右ページ
タッチストリップ	タッチストリップパラメーターの調整	いいえ	
テンポ	BPM 調整	はい	TEMPO + ノブ 1
トレーニングモード	意図しない機能を起動しないでコントロールを見つける	はい	

	機能	キーボードから使用できる機能	キーボード ショートカット
	トレーニングモード (Training Mode) の起動/起動解除	はい	SHIFT の二度押し
環境設定 (Preferences)	ソフトウェアとハードウェアの環境設定内容を設定します。	いいえ	
ソフトウェアダイアログ	ソフトウェアでダイアログボックスを開くとお知らせします (ダイアログコンテンツはスピーチ機能を利用できません)。	はい	デフォルトサポート



KOMPLETE KONTROL のホスト統合用ユーザー補助機能は Logic Pro X と GarageBand で Apple VoiceOver を使用することで機能します。KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能に関しては [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

2 KOMPLETE KONTROL ワークフロー

KOMPLETE KONTROL では KOMPLETE と Native Kontrol Standard (NKS) サウンドのすべてを扱うことができます。各ホストに対応した高水準連携により KOMPLETE KONTROL キーボードから直接素早く各サウンドにアクセス、ひらめいたアイディアを逃すことが無くなります。

KOMPLETE KONTROL ワークフローはサポートホストとの高い連動性を維持、戸惑うことなくアイディアをスケッチすることができます。

1. KOMPLETE KONTROL プラグインがあるトラックをホストで選択、この時の操作もキーボードで行います。これも KOMPLETE KONTROL の高水準連携によるものです。
 2. キーボードでブラウザのフィルターとプレビュー機能を活用し、KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズ、インストゥルメントとエフェクトから気に入ったプリセットファイルを選択します。
 3. キーボードの Control セクションを用いてロードしたインストゥルメントとエフェクトを編集し、独自のサウンドを作成します。
 4. 更に KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を使用して Scale エンジンとアルペジエーターを用いて演奏内容に厚みを加えることもできます。
 5. キーボード操作によるトランスポートとループ機能の活用でホストに新規クリップを録音することもできます。これも KOMPLETE KONTROL の高水準連携によるものです。
 6. アンドゥー/リドゥー機能で気に入らない内容を簡単にやり直すこともできます。キーボードの各ボタンを使用し、録音内容に対してクオントライズやオートメーション機能を用いてクリップをより理想に近い内容にすることも可能です。
- 音楽のアイディアを素早くスケッチしてから、同じ操作を繰り返したり、トラックをレイヤーにすることで曲作りを進めます。

主要機能

以下の主要機能は KOMPLETE KONTROL ワークフロー用です。

- **ブラウザ:** ブラウザで KOMPLETE KONTROL ライブラリのインストゥルメントとエフェクト、プリセットファイルを検索、ロード、管理します。詳細は [↑10, ライブラリのブラウズ](#)、[↑11, エフェクトの使用方法](#) と [↑12, ライブラリの管理](#) を参照してください。
- **インストゥルメントとエフェクトコントロール:** キーボードの Touch Strip とノブは予め全ての KOMPLETE と NKS インストゥルメントとエフェクトにマッピングされた状態となっており、すぐにコントロールできるようになっています。詳細は [↑13, インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作](#) と [↑8.8.5, Touch Strip のアサイン](#) を参照してください。

- **Smart Play:** Scale エンジンと Arpeggiator でスケール、コード、アルペジオを生成します。詳細は [↑14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) と [↑15, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。
- **ホストとの連携:** 各ホストへの高水準連携によりキーボードから直接メイン機能を制御することができます。詳細は [↑3.3, ホスト連携用設定](#) と [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

3 KOMPLETE KONTROL の設定

このセクションでは KOMPLETE KONTROL スタンドアローンの使用と、KOMPLETE KONTROL が対応するホストとの連動に関する各設定情報を記載しています。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアはスタンドアロンアプリケーションと VST、Audio Unit、AAX プラグインがインストールされます。



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションは KOMPLETE KONTROL の Preferences で設定したオーディオ/MIDI インターフェイスと直接やり取りします。KOMPLETE KONTROL はホストでプラグインとして起動し、オーディオ/MIDI インターフェイスとのやり取りはホストによって行われます。



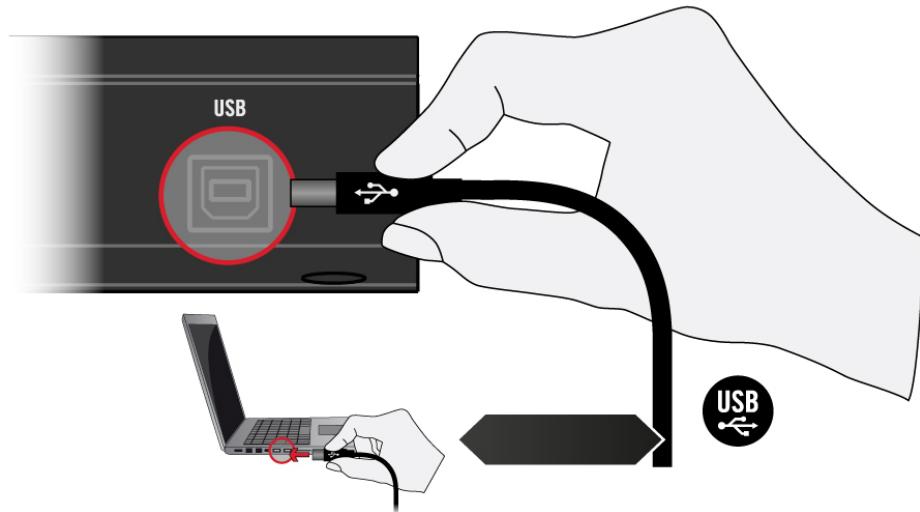
使用しているホストソフトウェアのオーディオと MIDI の設定に関してはホストのマニュアルを参照してください。

3.1 キーボードをコンピューターに接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードをコンピューターに接続する方法は以下となります。

1. USB ケーブルの機器用端子をキーボードのリアパネルにある USB ソケットに接続します。

2. USB ケーブルのコンピューター接続用端子をコンピューターの USB 2.0 以降のポートに接続します。



3. キーボードのリアパネルの電源スイッチを入れてください。

→ オペレーションシステムがキーボードを認識します。



電源供給しない USB ハブは使用できません。キーボードは常にコンピューターに直接接続するようにしてください (または電源供給する USB ハブを使用してください)。

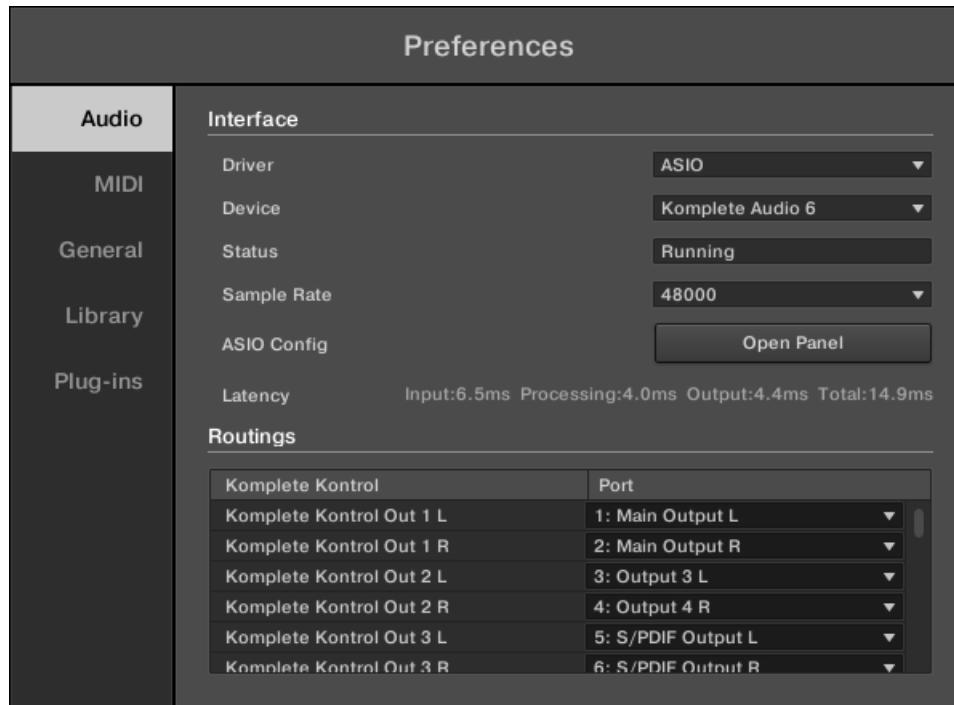
3.2 スタンドアロンアプリケーションの設定

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアをインストールディレクトリから開くと、ホストとは独立したスタンドアロンモードで起動します。

デフォルトでアプリケーションはコンピューターで指定しているオーディオインターフェイスを使用します。他のオーディオインターフェイスを使用し、キーボードから MIDI ノートを受信する場合は Preferences (環境設定) でアプリケーションを設定する必要があります。

オーディオインターフェイスの設定

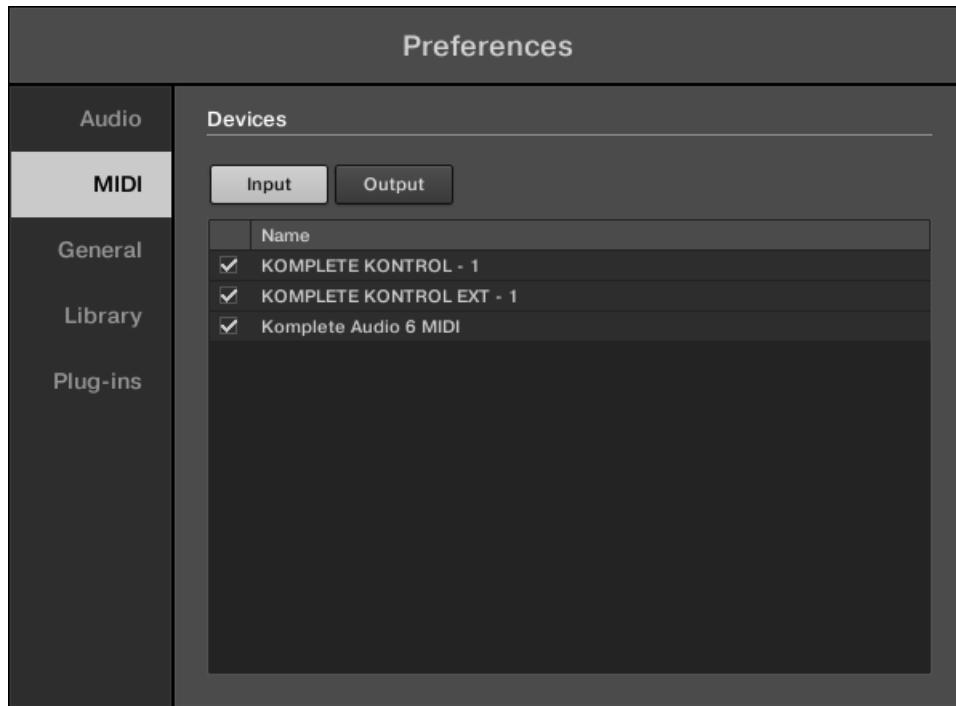
1. KOMPLETE KONTROL メニューで *Edit > Preferences* と進み、*Preferences* を選択します。
2. *Audio* をクリックし、*Audio* ページを表示します。
3. *Driver* ドロップダウンメニューで使用するオーディオデバイス用ドライバを選択します。
4. *Device* ドロップダウンメニューでオーディオインターフェイスを使用します。
5. KOMPLETE KONTROL のマスターアウトプットとして使用するオーディオインターフェイスの左右アウトプットチャンネルを、*Routings* 内にある *Komplete Kontrol Out 1 L* と *Komplete Kontrol Out 1 R* ドロップダウンメニューで選択します。



Preferences パネル— Audio ページ

MIDI コントロールの起動

1. MIDI をクリックして MIDI ページを表示します。
2. Input をクリックし、入力 MIDI シグナル用に有効な機器を表示します。
3. Komplete Kontrol チェックボックスをクリックしてキーボードから入力される MIDI シグナルを受信できる状態にします。



Preferences パネル— MIDI ページ (コンピューターによってエントリー内容が異なります)

→ ソフトウェアが設定され、キーボードでコントロールできるようになります。



MIDI Output 設定は KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を他の MIDI インストゥルメントと使用する際に必要となります。

3.3 ホスト連携用設定

KOMPLETE KONTROL は各ホストに対応、KOMPLETE KONTROL ライブラリサウンドの演奏と録音がスムーズに行えるよう緻密に設計されています。

KOMPLETE KONTROL は以下のホストに対して高度連携します。

- MASCHINE 2
- Apple Logic Pro X
- Apple GarageBand
- Ableton Live 9
- Steinberg Cubase Artist 8.5/9/9.5
- Steinberg Cubase Pro 8.5/9/9.5
- Steinberg Nuendo 7/8

KOMPLETE KONTROL キーボードを用いてサポート対象となっているホストを制御する場合は、以下の設定を行います。

3.3.1 Apple Logic Pro X と GarageBand の設定

Apple Logic Pro X と GarageBand の場合 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのインストール後、関連アプリケーションを初回起動する際に KOMPLETE KONTROL との高次連携用設定が自動的に施されます。アプリケーションを起動する際は事前にキーボードを接続、スイッチを入れてください。

アプリケーションを起動すると確認用ダイアログが表示されます。

- OSC app “KOMPLETE KONTROL S-Series” wants to connect to Logic Pro X / GarageBand とメッセージが表示されるので、OK をクリックしてください。



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

Logic Pro X/GarageBand のコントロールに関しては [↑ 9.2, Apple Logic Pro X と GarageBand との連携](#) を参照してください。

3.3.2 Steinberg Cubase / Nuendo 設定

KOMPLETE KONTROL を高次連携させるため、Steinberg Cubase / Nuendo を設定する必要があります。

1. アプリケーションを起動する際は事前にキーボードを接続、スイッチを入れてください。

2. Steinberg Cubase / Nuendo を起動します。
 3. Steinberg Cubase / Nuendo で *Devices* メニュー (Steinberg Cubase 9.5 では *Studio* メニューから *Studio Setup* を開きます) から *Device Setup* を開きます。
 4. *Device Setup* の左上隅の + ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューで *Komplete Kontrol S-Series* を選択します。
 5. *Komplete Kontrol S-Series* 用に *MIDI Input* と *MIDI Output* を、*Komplete Kontrol DAW* (macOS) / *KOMPLETE KONTROL* (*KOMPLETE KONTROL EXT* ではありません。Windows) とあるポートに設定します。
- これで KOMPLETE KONTROL を高次連携させるための Steinberg Cubase / Nuendo の設定ができました。



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

Steinberg/Nuendo の統合コントロールに関しては [↑9.4, Steinberg Cubase/Nuendo サポート](#) を参照してください。

3.3.3 Ableton Live の設定 (macOS)

KOMPLETE KONTROL との高度連携を実行するには Ableton Live で必要な設定を行う必要があります。

MIDI リモートスクリプトのインストール

MIDI Remote Script で Ableton Live が KOMPLETE KONTROL をコントロールサーフェスとして認識します。MIDI Remote Script で Ableton Live が MASCHINE をコントロールサーフェスとして認識します。

1. Ableton Live は起動していない状態でこの作業を行ってください。
2. 以下のフォルダに進みます。 *Macintosh HD/Library/Application Support/Native Instruments/Host Integration/Ableton Live/*
3. クリップボードに *_NativeInstruments* フォルダと *Komplete_Kontrol_Mk2* フォルダをコピーしてください。
4. *Applications* フォルダを開き、Ableton Live アプリケーションシンボルを右クリックしてください。コンテキストメニューで *Show Package Contents* (パッケージの内容を表示する) をクリックしてください。

5. Ableton Live パッケージで *Contents > App-Resources > MIDI Remote Scripts* と進みます。
6. *MIDI Remote Scripts* フォルダにクリップボードにコピーしたフォルダをペーストします。

KOMPLETE KONTROL インストゥルメントラックのインストール

KOMPLETE KONTROL がインストゥルメントラックとして Ableton Live にロードされます。Ableton Live のブラウザにインストゥルメントラックとして表示できるようにするには、このラックを Ableton Live User Library に追加する必要があります。

1. 以下のフォルダに進みます。 *Macintosh HD/Library/Application Support/Native Instruments/Host Integration/Ableton Live/*
2. クリップボードに [KOMPLETE KONTROL VST.adg](#) ファイルをコピーします。
3. Ableton Live Instrument Rack フォルダにクリップボードにコピーしたファイルをペーストします。
デフォルトでフォルダは以下に収められます *Macintosh HD/Users/*Username*/Music/Ableton/User Library/Presets/Instruments/Instrument Rack/*。

KOMPLETE KONTROL を使用できるように Ableton Live を設定する

MIDI Remote Script と Instrument Rack ファイルを正しくインストールした後、Ableton Live の環境設定で KOMPLETE KONTROL をコントロールサーフェスとして追加する必要があります。

1. Ableton Live を起動します。
2. Ableton Live で *Preferences* に進み、*MIDI/Sync* タブを開きます。
3. 空の *Control Surface* スロットを選択し、ドロップダウンメニューで *KOMPLETE KONTROL MK2* を選択し、KOMPLETE KONTROL をアサインします。
4. KOMPLETE KONTROL コントロールサーフェスの *Input* と *Output* は *None* のままにしてください。

Ableton Live に KOMPLETE KONTROL をロードする



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

1. 事前にキーボードを接続、スイッチを入れてください。

2. Ableton Live に KOMPLETE KONTROL をロードするには、ブラウザから空の MIDI トラックに KOMPLETE KONTROL インストゥルメントラックをドラッグします。インストゥルメントは Ableton Live ブラウザのこの場所にあります *Instruments/Instrument Rack/KOMPLETE KONTROL VST.adg*。
→ これで Ableton Live で KOMPLETE KONTROL を使用できる状態となります。



KOMPLETE KONTROL Instrument Rack (*KOMPLETE KONTROL VST.adg*) を使用しなければ KOMPLETE KONTROL キーボードが連動することはありません。

Ableton Live の統合コントロールに関しては [↑9.3, Ableton Link との連携](#) を参照してください。

3.3.4 Ableton Live の設定 (Windows)

KOMPLETE KONTROL との高度連携を実行するには Ableton Live で必要な設定を行う必要があります。

MIDI リモートスクリプトのインストール

MIDI Remote Script で Ableton Live が KOMPLETE KONTROL をコントロールサーフェスとして認識します。MIDI Remote Script で Ableton Live が MASCHINE をコントロールサーフェスとして認識します。

1. Ableton Live は起動していない状態でこの作業を行ってください。
2. 以下のフォルダに進みます。 *C:\Program Files\Common Files\Native Instruments\Host Integration\Ableton Live*
3. クリップボードに *_NativeInstruments* フォルダと *Komplete_Kontrol_Mk2* フォルダをコピーしてください。
4. Ableton Live のインсталレーションディレクトリで MIDI Remote Scripts を見つけてください。 *C:\ProgramData\Ableton\Live 9\Resources\MIDI Remote Scripts*
5. *MIDI Remote Scripts* フォルダにクリップボードにコピーしたフォルダをペーストします。

KOMPLETE KONTROL インストゥルメントラックのインストール

KOMPLETE KONTROL がインストゥルメントラックとして Ableton Live にロードされます。Ableton Live のブラウザにインストゥルメントラックとして表示できるようにするには、このラックを Ableton Live User Library に追加する必要があります。

- 以下のフォルダに進みます。 *C:\Program Files\Common Files\Native Instruments\Host Integration\Ableton Live*
- クリップボードに **KOMPLETE KONTROL VST.adg** ファイルをコピーします。
- Ableton Live Instrument Rack フォルダにクリップボードにコピーしたファイルをペーストします。デフォルトでフォルダは以下に収められます。 *C:\Users*Username*\Documents\Ableton\User Library\Presets\Instruments\Instrument Rack*

KOMPLETE KONTROL を使用できるように Ableton Live を設定する

MIDI Remote Script と Instrument Rack ファイルを正しくインストールした後、Ableton Live の環境設定で KOMPLETE KONTROL をコントロールサーフェスとして追加する必要があります。

- Ableton Live を起動します。
- Ableton Live で *Preferences* に進み、**MIDI / Sync** タブを開きます。
- 空の **Control Surface** スロットを選択し、ドロップダウンメニューで *KOMPLETE KONTROL* を選択、KOMPLETE KONTROL をアサインします。
- KOMPLETE KONTROL* コントロールサーフェスの **Input** と **Output** は *None* のままにしてください。

Ableton Live に KOMPLETE KONTROL をロードする



新規インストゥルメントとエフェクトをインストールした後は、DAW 上のプラグインを使用する前に KOMPLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーションを一度必ず起動してください。

- Ableton Live に KOMPLETE KONTROL をロードするには、ブラウザから空の MIDI トラックに KOMPLETE KONTROL インストゥルメントラック (*KOMPLETE KONTROL VST.adg*) をドラッグします。インストゥルメントは Ableton Live ブラウザのこの場所にあります。 *Instruments/Instrument Rack/KOMPLETE KONTROL VST.adg*

Ableton Live の統合コントロールに関しては [↑9.3, Ableton Link との連携](#) を参照してください。

3.4 キーボードに各ペダルを接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードのリアパネルには 2 つのペダル用 1/4" インプット端子、**PEDAL A** と **PEDAL B** があります。



キーボードのリアパネルのペダルインプットです。

これらのインプット端子に演奏に表現力を与える持続ペダルとスイッチペダルを接続できます。これらの性質は自由に設定できます。



MIDI メッセージを KOMPLETE KONTROL の MIDI アサインエディターのペダルインプットにアサインすることもできます。詳細は [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。

各ペダルを接続する

- ▶ キーボードのリアパネルの **PEDAL A** または **PEDAL B** にサステイン、またはエクスプレッションペダルを接続します。

サステインペダル用にペダルインプットを設定する

スイッチペダルを接続すると以下のようになります。

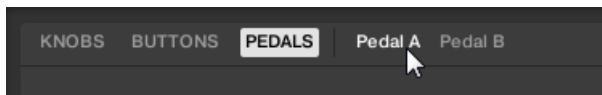
1. ヘッダの MIDI Assignment エディターボタンをクリックし、MIDI Assignment エディターを開きます。



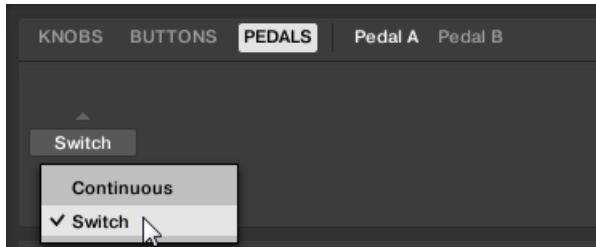
2. コントロールタイプ **PEDALS** を選択します。



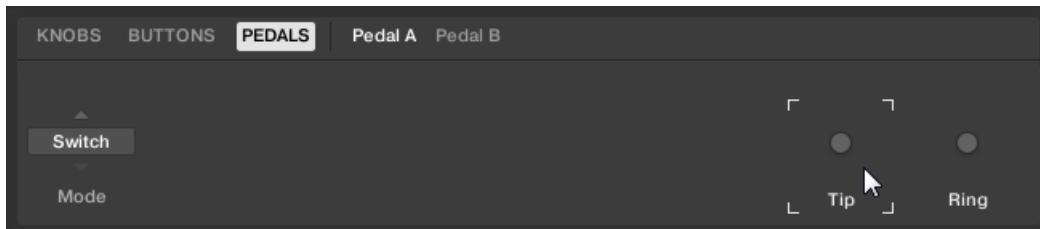
3. 設定したいペダルインプット、**Pedal A** または **Pedal B** のどちらかを選択します。



4. Mode ドロップダウンメニューで **Switch** を選択します。



5. ペダルのリング／ティップの状態に合わせて **Tip** または **Ring** を選びます。



→ ペダルインプットがサステインの性質を備えたスイッチとして設定されます。ペダルインプットにアサインされた MIDI Control Change メッセージを変更する場合は、[↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。

エクスプレッションペダル用にペダルインプットを設定する

連続値用ペダルを接続すると以下のようになります。

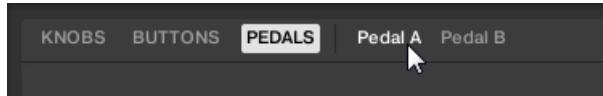
1. ヘッダの MIDI Assignment エディター ボタンをクリックし、MIDI Assignment エディターを開きます。



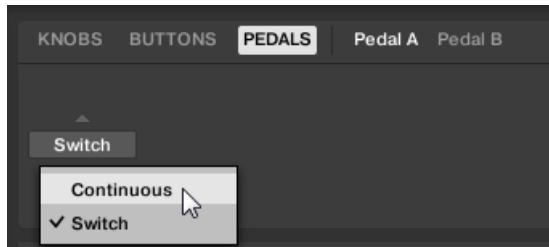
2. コントロールタイプ **PEDALS** を選択します。



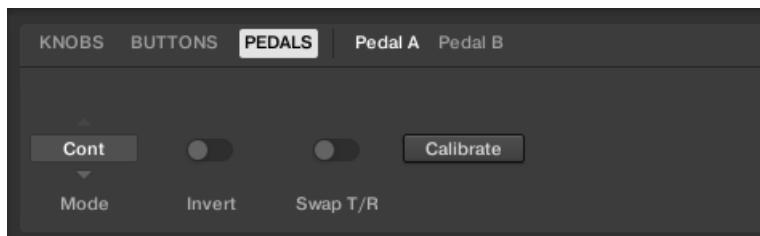
3. 設定したいペダルインプット、Pedal A または Pedal B のどちらかを選択します。



4. Mode ドロップダウンメニューで Continuous を選択します。



→ ペダルインプットがエクスプレッションの性質を備えた連続ペダルとして設定されます。ペダルインプットにアサインされた MIDI Control Change メッセージを変更する場合は、[↑ 8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。



ペダルのタイプによって、用意されたオプションを使用してさらに設定を行う必要がある場合があります。以下の表が設定用各オプションとなります。

オプション	内容
Invert トグルスイッチ	いくつかの持続ペダルはインバートペダルレンジに対応していますが、ペダルで直接設定することはできません。Invert Range 機能ではキーボードに接続しているペダルのレンジを反転させることができます。
Swap T/R トグルスイッチ	ペダルの tip/ring 接続設定を反転させます。
Recalibrate ボタン	このボタンでインプットを再キャリブレートします。



MIDI Assignment 絵でい x たーを使用する場合、すべてのキーボード操作 (例、ナビゲーション、トランスポート等) はブロックされます。

3.5 キーボードに外部 MIDI 機器を接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードには専用の MIDI 端子があり、5 ピン DIN 規格の MIDI ケーブルを用いて外部機器を接続することができ MIDI セットアップ内に取り込むことができます。



KOMPLETE KONTROL キーボードのリアパネルの MIDI 端子です。

外部 MIDI 機器を接続する方法は以下となります。

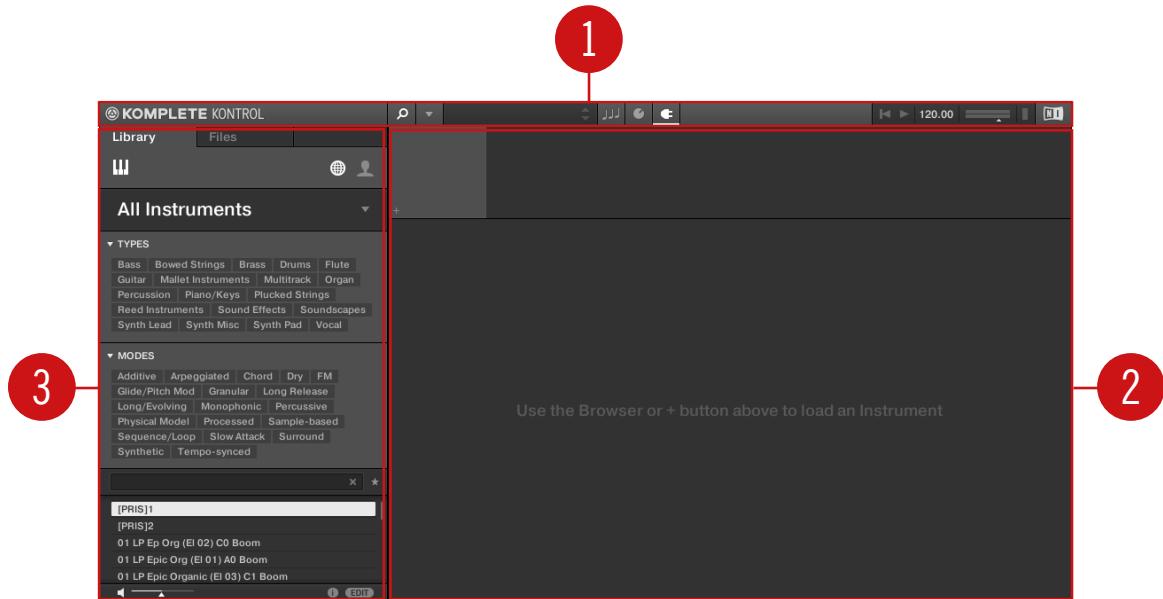
1. MIDI ケーブルを用いてキーボードのリアパネルの **MIDI OUT** に外部機器を接続、MIDI シグナルを受信できる状態にします。
 2. MIDI ケーブルを用いてキーボードのリアパネルの **MIDI IN** に外部機器を接続、MIDI シグナルを送信できる状態にします。
- MIDI 機器が接続されました。

使用する用途に合わせてさらにソフトウェアで設定を行う必要がある場合があります。

- KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンとして起動している場合、[Preferences の MIDI ページ](#)で該当する MIDI インプット/MIDI アウトプットを起動します。詳細は [↑7.3, スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する](#) を参照してください。
- KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、MIDI の設定はホスト上で行います。詳細は [↑7.2, MIDI モードでキーボードモードを使用する](#) を参照してください。
- USB 接続せずに MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する場合、キーボードの **MIDI IN** と **MIDI OUT** 端子を介して MIDI データが直接送受信されます。MIDI マッピングの詳細に関しては [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) 章を参照してください。

4 ソフトウェア概要

このセクション では、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの各エリアと各コントロール部について紹介します。

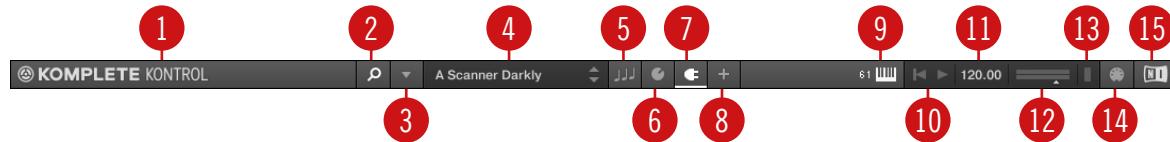


KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの概観です。

- (1) ヘッダ: ここから Main メニュー、プリセットディスプレイ、Transport と Master Volume コントロール、ユーザーインターフェイスエリアの表示非表示等の主な機能にアクセスします。詳細は [↑4.1, ヘッダ](#) を参照してください。
- (2) プラグインエリア: ここにロードしたインストゥルメントとエフェクトを表示、ソフトウェアで直接操作することができます。詳細は [↑4.7, プラグインエリア](#) を参照してください。
- (3) ブラウザ: インストゥルメントとエフェクトをブラウズ、プリセットファイルを管理します。詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

4.1 ヘッダ

ヘッダで KOMPLETE KONTROL のグローバル設定項目にアクセスします。表示されていないユーザーインターフェイスにもここからアクセスします。



ヘッダです。

- (1) **KOMPLETE KONTROL ロゴ**: アバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。
- (2) **Browser ボタン**: ブラウザを表示/非表示します。 詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。
- (3) **KOMPLETE KONTROL メニュー**: 環境設定を含む基本設定項目を含んだ KOMPLETE KONTROL メニューを開きます。
- (4) **プリセットディスプレイ**: ロードしたプリセットファイル名称、KONTAKT キースイッチが表示される部分です。 右の矢印ボタンでブラウザの検索結果リスト（リザルトリスト）内の次のプリセットファイルをロードします。
- (5) **パフォームパネルボタン**: Scale エンジンとアルペジエーター用パラメーターがあるパフォームパネルを表示、最小化します。 Scale エンジン、またはアルペジエーターが起動するとパフォームパネルボタンが点灯します。 詳細は [↑4.3, パフォームパネル](#) を参照してください。
- (6) **プラグインパネルボタン**: プラグインパネルを表示、非表示し、ここで各プリセットファイル用にキーボードの Control セクションに対しパラメーターマッピングを行います。 詳細は [↑4.4, プラグインパネル](#) を参照してください。
- (7) **プラグインチェーンパネルボタン**: プラグインチェーンパネルの表示/非表示用ボタンで、起動すると白く点灯します。 詳細は [↑4.5, プラグインチェーンパネル](#) を参照してください。
- (8) **View ボタン**: ロードしたインストゥルメントのデフォルトビューと追加ビューの切り替えを行います。 View ボタンはロードしたインストゥルメントに追加ビューがある場合に表示されます。 エフェクトを選択した場合、View ボタンは機能しません。
- (9) **Keyboard ボタン**: 現在接続しているキーボード S49、S61、S88 を表示します。 複数の KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが起動している場合は（例、ホスト内での複数使用）ボタンをクリックすることでこのインスタンスがキーボードに接続されます。 このインジケーターは最低一つの互換性がある機器が接続された場合に表示されます。 詳細は [↑6.2, インスタンスの切り替え](#) を参照してください。

- (10) **トランスポートコントロール**: 内部クロックをスタート、停止、リセットします。プラグインホストとして KOMPLETE KONTROL をロードしている場合トランスポートは自動的にホストのトランスポートに従い、この機能は無効の状態となります。詳細は [↑6.3, トランスポートとテンポ](#) を参照してください。
- (11) **テンポコントロール**: テンポを BPM (beats per minute) で指定します。詳細は [↑6.3, トランスポートとテンポ](#) を参照してください。
- (12) **Master ボリュームコントロール**: KOMPLETE KONTROL 全体のボリュームを調整します。メーターはアウトプットシグナルの現在のピークレベルを表示します。詳細は [↑6.4, マスター・ボリュームの調整](#) を参照してください。
- (13) **CPU メーター**: コンピューターのプロセッサーの現在の使用率をリアルタイムに随時表示します。この値は 70% に到達しない様に制御するのが理想的です。
- (14) **MIDI Assignment エディター**: ペダルを含むキーボードの MIDI モードに関連するすべての設定項目にアクセスします。このボタンは KOMPLETE KONTROL スタンドアロン使用時に表示されます。詳細は [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。
- (15) **NI ロゴ**: NI ロゴから About スクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。

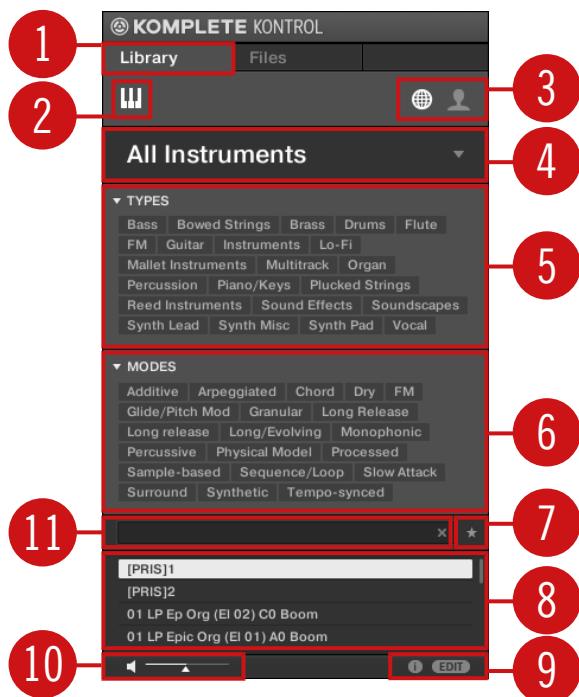
4.2 ブラウザ

ブラウザ から KOMPLETE KONTROL ライブラリにアクセスし、プリセットファイルを追加、編集、管理します。ここには [Library](#) ペイン、Product セレクター、[Files](#) ペインがあります (以下概要参照)。

ブラウザとプリセットファイル管理の詳細は [↑10, ライブラリのブラウズ](#)、[↑11, エフェクトの使用方法](#)、[↑12, ライブラリの管理](#) を参照してください。

4.2.1 Library ペイン

[Library](#) ペインでインストゥルメント、エフェクト、プリセットファイルをブラウズします。は以下の項目を含んでいます。



Library ペインです。

- (1) **Library**: Library ペインを表示します。
- (2) **Product Type アイコン**: インストゥルメント、エフェクトのブラウズ時に各内容を表示します。プラグインチェーンで選択したプラグインスロットに合わせて自動的に表示内容が切り替わります。プロダクトタイプの変更に関しては [↑ 10.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。
- (3) **コンテンツセレクター**: 球状アイコンでファクトリーコンテンツを選択、ユーザーアイコンでユーザーコンテンツを選択します。 選択したコンテンツのプリセットファイルのみがリザルトリストに表示されます (8)。 詳細は [↑ 10.4, ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択](#) を参照してください。
- (4) **Product selector**: 特定のインストゥルメント、エフェクト、インストゥルメントカテゴリー、選択したプロダクトのバンクを選択します。 選択した内容によってリザルトリストに表示されるプリセットファイルの内容が切り替わります (8)。 詳細は [↑ 4.2.2, 製品選択](#) を参照してください。
- (5) **TYPES**: プリセットファイルに適用した Type と Sub-Type タグによってプリセットファイルをブラウズできます。 TYPES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。 詳細は [↑ 10.8, Types と Modes タグフィルター](#) を参照してください。

(6) **MODES**: プリセットファイルに適用した MODE タグ によってプリセットファイルをブラウズできます。MODES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。詳細は [10.8, Types と Modes タグフィルター](#) を参照してください。

(7) **Favorites**: Favorites 機能によるお気に入り検索を可能にします。起動すると、お気に入り登録したプリセットファイルのみがリザルトリストに表示されます(8)。 詳細は [10.9, お気に入りの活用 \(Favorites\)](#) を参照してください。

(8) **リザルトリスト**: 検索内容に沿ったプリセットファイルを表示する場所です。 詳細は [10.3, プリセットファイルのロード](#) を参照してください。

(9) **コントロールバー**: KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズ、編集する際に便利な各ツールを装備しています。

- **Information ボタン (i)** では選択したプリセットファイルの情報を表示します。
- **EDIT ボタン**で **Attribute エディター** を開き、ここで選択したプリセットファイルのタグを表示、編集、プロパティーも表示します。

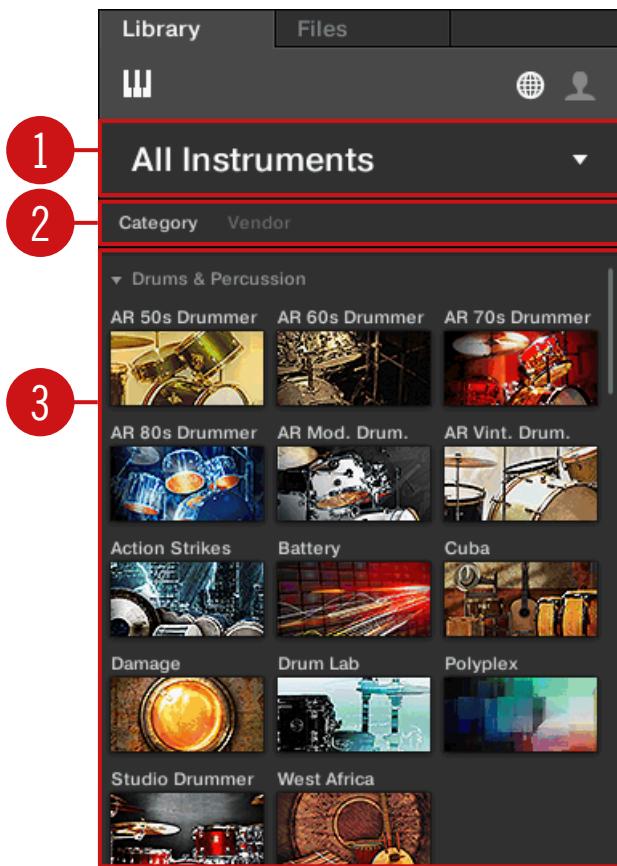
詳細は [10.11, プリセットファイル情報の表示](#) を参照してください。

(10) **試聴コントロール**: プリセットファイルを試聴します。 詳細は [10.12, プリセットファイルのオーディション \(Prehear\)](#) を参照してください。

(11) **サーチフィールド**: テキスト検索を行います。 詳細は [10.10, テキスト検索の方法](#) を参照してください。

4.2.2 製品選択

インストゥルメントとエフェクトのブラウズ時にプロダクトセレクター で特定のカテゴリー、特定のプロダクト、インストゥルメントのバンクに照準を当てた絞込検索を行うことができます。



プロダクトセレクターです。

(1) **Product セレクターへッダ**: ヘッダが選択したプロダクトを表示します。なにも選択していない場合はジェネリックラベル (All Instruments または All Effects) が表示されます。A ヘッダをクリックしてプロダクトセレクターを表示、非表示します。

(2) **Category/Vendor セレクター**: Category または Vendor を基準にプロダクトリストを表示します。

(3) **プロダクトリスト**: KOMPLETE KONTROL ライブラリ内の全プロダクトを表示します。

Category/Vendor セレクターで Category を選択すると、プロダクトリストは以下のカテゴリーによって保存されます。

- DRUMS & PERCUSSION

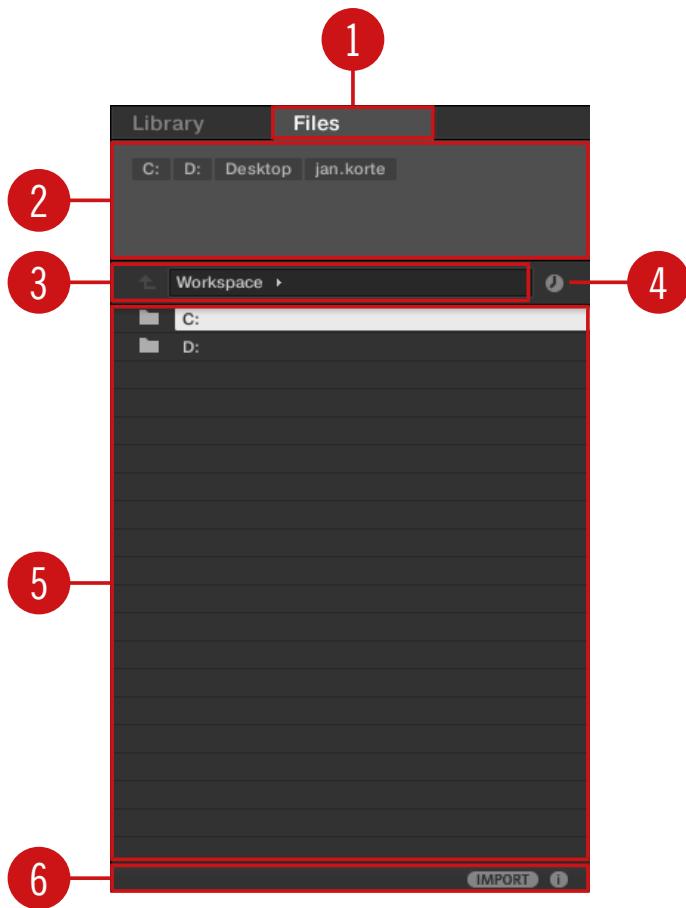
- SAMPLED INSTRUMENTS
- SYNTHESIZERS
- NO CATEGORY

Category / Vendor セレクターで **Vendor** を選択すると、プロダクトリストは製造者名を基準に表示されます。

詳細は [↑10.5, プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索](#) と [↑10.6, バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索](#) を参照してください。

4.2.3 Files ペイン

Files ペイン は以下の内容を含んでいます。



ブラウザの [Files](#) ペインです。

- (1) **Files:** Files ペインを表示します。詳細は [12.4. Files ペインの使用](#) を参照してください。
- (2) **Favorite バー:** お気に入りフォルダをすべて表示します。お気に入りフォルダのどれかをクリックすると特定のパスにジャンプし、リザルトリストにその内容を表示します(5)。 詳細は [12.4.4. ファイル場所をお気に入りにする](#) を参照してください。
- (3) **Location バー:** 選択したパスを表示します。このロケーションバーにはファイルシステムを素早く制御するための各ツールを用意しています。 詳細は [12.4.2. ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする](#) を参照してください。

(4) **Recent Locations ボタン**: 最後に閲覧したリストを表示します。詳細は [↑12.4.3, 最近使ったファイルがある場所への移動](#) を参照してください。

(5) **リザルトリスト**: ロケーションバーが表示するフォルダの内容を表示します。KOMPLETE KONTROL で使用できるファイルのみが表示されます。詳細は [↑12.4.1, Files ペインのリザルトリストの追加機能](#) を参照してください。

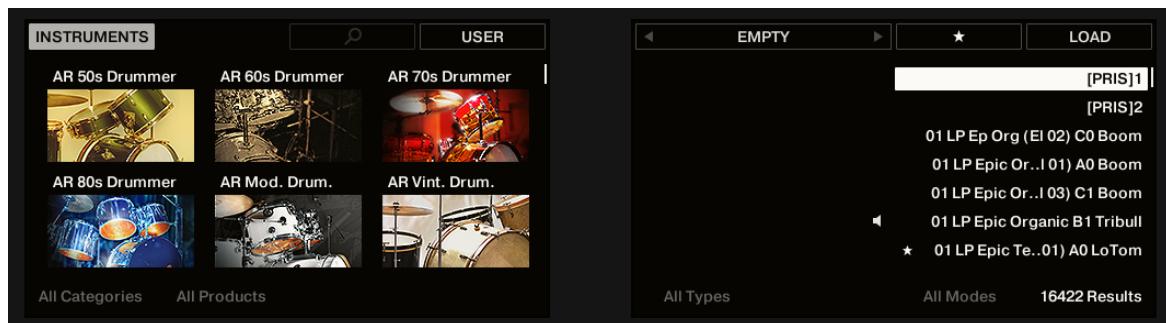
(6) **Control バー**: ファイルシステムのブラウズ時に便利なツールを用意しています。

- **Information ボタン (i)** では選択したプリセットファイルの情報を表示します。
- **IMPORT ボタン** で KOMPLETE KONTROL ライブラリに選択したフォルダのコンテンツをインポートできます。ファイルをインポートする前に **Attribute エディター** でファイルにどのタグをアサインするか選択しておきます。

詳細は [↑12.3, ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する](#) と [↑12.7, KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする](#) を参照してください。

4.2.4 キーボードのブラウザ

キーボードディスプレイでブラウザは次のように管理されます。

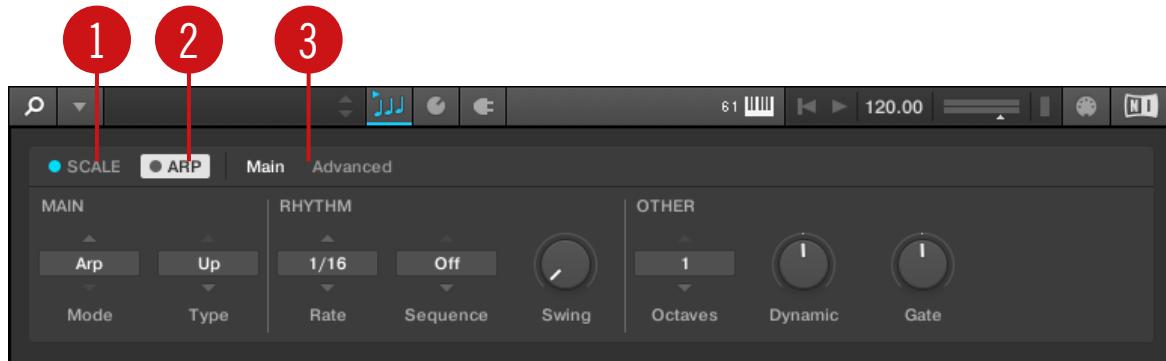


キーボードのディスプレイのブラウザです。

- 左画面ではプロダクトセレクターパラメーターを表示、コンテンツタイプ (ファクトリー、またはユーザーコンテンツ)、製品カテゴリー、製品、バンク、サブバンクを選択することで検索結果を絞り込みます。
- 右画面ではパラメーターを表示、任意の **TYPE** (または **MODE**) タグを選択することで検索結果を絞り込みます。対応するリザルトリストも表示されます。

4.3 パフォームパネル

パフォームパネルで Scale エンジン、アルペジエーターに関連する全パラメーターにアクセスします。



Perform パネルです。

(1) **SCALE: SCALE**: SCALE スイッチの左にある丸いボタンをクリックして Scale エンジンをオンオフします。SCALE ラベルをクリックすると Scale エンジンの各パラメーターを表示します。↑14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集 を参照してください。

(2) **ARP: ARP**: ARP スイッチの左の丸いボタンをクリックしてアルペジエーターをオンオフします。ARP ラベルをクリックするとアルペジエーターのパラメーターが表示されます。↑15, Smart Play – アルペジオ演奏と編集 を参照してください。

(3) **Parameter ページ: Parameter ページ**: パラメーターぺージが複数ある場合は、ページ切り替えをここで行います。

(1) **SCALE: SCALE**: SCALE スイッチの左にある丸いボタンをクリックして Scale エンジンをオンオフします。SCALE ラベルをクリックすると Scale エンジンの各パラメーターを表示します。↑14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集 を参照してください。

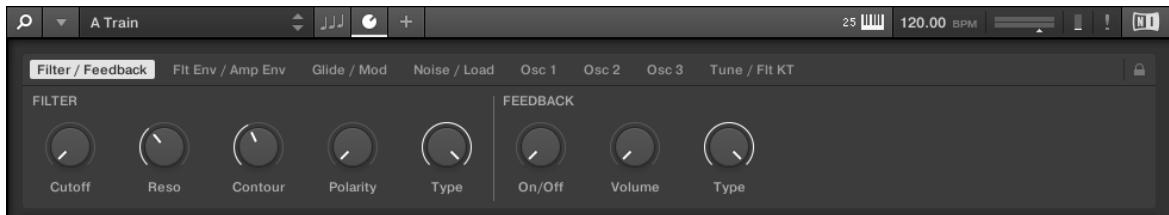
(2) **ARP: ARP**: ARP スイッチの左の丸いボタンをクリックしてアルペジエーターをオンオフします。ARP ラベルをクリックするとアルペジエーターのパラメーターが表示されます。↑15, Smart Play – アルペジオ演奏と編集 を参照してください。

(3) **Parameter ページ: Parameter ページ**: パラメーターぺージが複数ある場合は、ページ切り替えをここで行います。

詳細は↑14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集を参照してください。

4.4 プラグインパネル

プラグインパネル で KOMPLETE KONTROL キーボードの Control セクションにマッピングしたパラメーターを、各プリセットファイルごとにカスタマイズすることができます。ページ/パラメーターの総数はロードしたインストゥルメント/エフェクトによって異なります。



プラグインパネルです。

詳細は↑13.4、プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズを参照してください。

4.5 プラグインチェーンパネル

Plug-in チェーンパネルは Plug-in エリアの上部にあります。 プラグインチェーンにインストゥルメントプラグイン (プラグインスロット 1) とエフェクトプラグイン (プラグインスロット 2 から複数設置できます) をロードでき、水平方向に配置されます。 各プラグインはプラグインチェーンを作成するプラグインスロットにロードされます。 プラグインの配置はカスタマイズ可能ですが、インストゥルメントはプラグインスロットの最初が定位置となります。



プラグインチェーンパネルの概要です。

(1) プラグインチェーン: ロードしたインストゥルメントとエフェクトを表示します。

(2) プラグインスロット: 各プラグインスロットはプラグインを収納し、プロダクトの名称と画像を表示します。 プラグインスロットを使用してプラグインの直接ロード、エフェクトのバイパス、配置の置き換えを行います。

詳細は [11. エフェクトの使用方法](#) を参照してください。

4.6 MIDI Assignment エディター

MIDI Assignment エディター で MIDI モードの KOMPLETE KONTROL の各コントロール部にどういった種類の MIDI メッセージをアサインするか決定します。これにより特定のパラメーターや機能を制御するために MIDI を備えたキーボードや MIDI メッセージを必要とする MIDI 機器を使用することができるようになります。複数のテンプレートを設定し、異なるアプリケーションや機器のコントローラーアサインメントを準備することができます。MIDI Assignment エディターでキーボードのコントロールセクションのタッチストリップ、ノブやボタン、または接続したペダルのアサインを変更することができます。



MIDI Assignment エディターの概要です。

(1) **Templates ペイン**: ここで MIDI アサインメント用いるテンプレートを作成、または管理します。

(2) **Templates ペインボタン**: Templates ペインを表示、非表示します。

(3) **KNOBS, BUTTONS, PEDALS, TOUCHSTRIP**: MIDI アサインメントを施すコントロール部の種類を選択します。

(4) **Pages / Pedal A と Pedal B**: ノブとボタンに対して複数のアサインを行う場合はそれらをページで管理します。 ここで使用できる最大ページ数は 4 ページです。 Pedal Assignments はグローバルで Template を複数扱うことはできません。 Pedals A と B は独立して設定することができます。

ペダルに対して複数のアサインを行うことはできません。

(5) **Control エレメント**: ここで MIDI アサインメントを行うコントロール部を選択します。

(6) **Definition エリア**: 選択したコントロール部の MIDI アサインメントプロパティーを設定します。

詳細は [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。

4.7 プラグインエリア

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインエリアには、ブラウザからロードしたインストゥルメントとエフェクトが表示されます。各インストゥルメントは異なるコントロール部とパラメーターを装備していますが、コンピューター画面や KOMPLETE KONTROL キーボードで簡単に操作することができます。パラメーターの変更によってキーボードの画面とプラグインエリアのインストゥルメントのユーザーインターフェイスが同調して表示内容を切り替えます。



殆どのインストゥルメントには追加設定画面があり、その他のコントロールセットにアクセスすることができます。[↑6.1, インストゥルメントビュー \(Instrument Views\)](#) を参照してください。



インストゥルメント、Form を表示しているプラグインエリアです。

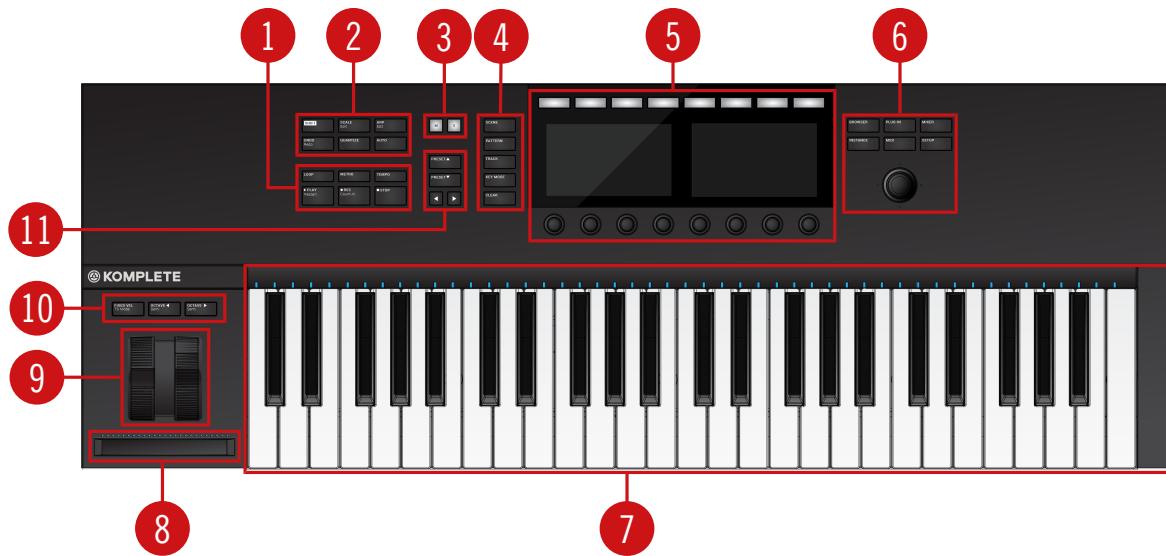
5 キーボード概観

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアはソフトウェアと密接に連動し、プロダクトのブラウズ、コントロール、演奏ができ、サポートホストのコントロールも可能です。

キーボードには 3 つのキーボードサイズがあり、S49、S61 には高品質を誇るセミウエイトアフタータッチ付き Fatar キーベッドを採用しています。S88 にはプロ仕様のフルウエイトハンマーアクション鍵盤を採用、こちらも Fatar 製です。鍵盤仕様以外は、全キーボードの各機能は同一仕様となっています。

キーボードには以下のセクションがあります。

トップビュー



KOMPLETE KONTROL S49

(1) **Transport** セクション: KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合、サポートホストのトランスポートをコントロールします。詳細は [↑5.2. トランスポートセクション](#)を参照してください。

(2) **Perform と Edit セクション**: スケール演奏、コード、アルペジオ演奏に用いる Smart Play 機能をここで制御します。 Perform と Edit セクションでの設定内容は Control セクション (5) に表示され、Light Guide とキーベッドに反映されます (7)。 詳細は [↑5.1, Perform と Edit セクション](#) を参照してください。

(3) **Solo と Mute ボタン**: サポートホストの Sound または Group をソロ、ミュートします。 詳細は [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

(4) **Arrange ボタン**: サポートホストの異なるアレンジメント画面やモードに切り替えます。 詳細は [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

(5) **Control セクション**: ロードしたプロダクト、または選択したモードに対応してノブとディスプレイに自動的にパラメーターがアサインされます。 詳細は [↑5.3, コントロールセクション](#) を参照してください。

(6) **Navigation と Mode ボタン**: KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズし、4-D エンコーダーで DAW を操作、Mixer と MIDI モードでダイレクトにアクセスすることもできます。 詳細は [↑5.5, 4-D エンコーダー](#) と [↑5.4, 各モードボタン](#) を参照してください。

(7) **Keybed と Light Guide**: LED の表示内容で Smart Play 機能の各状態を把握することができます。 Light Guide はロードしたインストゥルメントの設定内容も表示し、例えば BATTERY または KONTAKT マッピングを確認する際に便利です。 詳細は [↑5.6, キーベッドと Light Guide](#) を参照してください。

(8) **Touch Strip**: Touch Strip には MIDI ラーン機能を用いてロードしたインストゥルメントのパラメーターをアサインすることができます。 詳細は [↑5.7, Touch Strip](#) を参照してください。

(9) **Pitch と Modulation Wheels**: 左の Pitch Wheel でロードしたインストゥルメントのピッチを調節します。 右の Modulation Wheel でロードしたインストゥルメントのデフォルトパラメーターを設定します。

(10) **Transpose と Fixed Velocity ボタン**: **FIXED VEL (TS Mode)** ボタンで全鍵盤に対してノートベロシティ 127 を設定します。 **OCTAVE (Semi)** 上下ボタンで鍵盤全体の音域をオクターブ分上下させます。 **SHIFT + OCTAVE (Semi)** でキーベッド全体がセミトーン分上下します。 詳細は [↑5.8, トランスポーズと Fixed Velocity ボタン](#) を参照してください。

(11) **Preset と Page ボタン**: **PRESET** 上下ボタンでロードしたプロダクトの前後したプリセットファイルをロードします。 ページ左右ボタンで次のパラメーターページに移動し、ノブとディスプレイで他のパラメーターセットを制御できるようになります。

レビュー

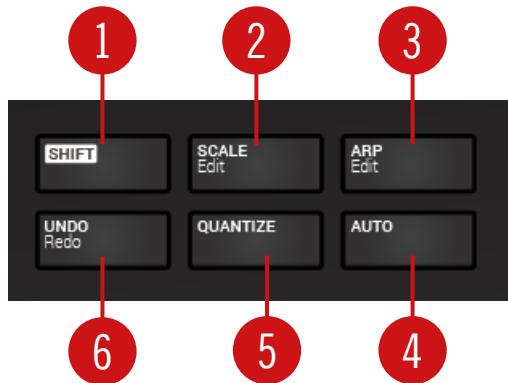


キーボードインターフェイスのリアビューです。

- (1) **Kensington Lock**: 概要: ケンジントンロックを施錠し、盗難防止に役立てます。
- (2) **MIDI IN/OUT 端子**: これらの端子を介して MIDI 機器を接続します。詳細は [↑ 3.5, キーボードに外部 MIDI 機器を接続する](#) を参照してください。
- (3) **Pedal A と Pedal B 端子**: サステイン/エクスプレッションペダルを接続します。詳細は [↑ 3.4, キーボードに各ペダルを接続する](#) を参照してください。
- (4) **PSU 端子(15V - 1.2A)**: オンラインショップで購入できる追加電源部用端子です。
- (5) **USB コネクター**: 同梱した USB ケーブルを用いることでコンピューターとキーボードを接続します。
- (6) **Power ボタン**: キーボードのオン/オフスイッチです。

5.1 Perform と Edit セクション

KOMPLETE KONTROL キーボードの左端にある Perform と Edit セクションのボタンで Scale エンジン、Arpeggiator を起動、関連するパラメーターにアクセスして編集します。パラメーターはディスプレイに表示され、Control セクションのノブで調節することができます。

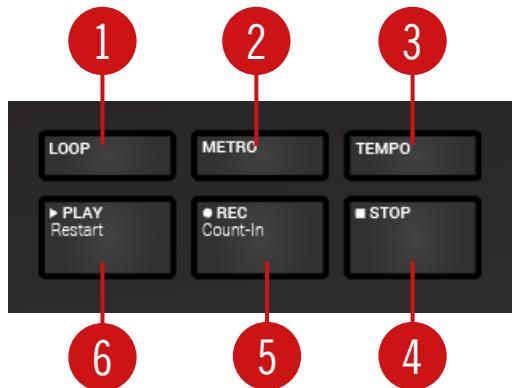


Perform と Edit セクションです。

- (1) **SHIFT**: 例えば **SCALE (Edit)** と **ARP (Edit)** ボタンの **Edit** 機能等といった各ボタンの副次機能にアクセスします。
- (2) **SCALE (Edit)**: Scale のオン/オフ、Scale エンジンパラメーターの編集はここで行います。 詳細は [↑ 14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) を参照してください。
- (3) **ARP (Edit)**: アルペジエーターのオン/オフ、Arp パラメーターの編集はここで行います。 詳細は [↑ 15, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。
- (4) **AUTO**: サポートホストのオートメーション機能のオン/オフです。 詳細は [↑ 9, ホスト連携](#) を参照してください。
- (5) **QUANTIZE**: サポートホストのステップグリッドに従ってクオントライズ処理を行います。 詳細は [↑ 9, ホスト連携](#) を参照してください。
- (6) **UNDO ()**: サポートホストでの編集内容をアンドゥー、リドゥーします。 詳細は [↑ 9, ホスト連携](#) を参照してください。

5.2 トランスポートセクション

キーボードの左端にある **TRANSPORT** セクション から簡単に再生、録音、停止、ループ等のトランスポート操作をホストに対して行うことができます。



Transport セクションです。

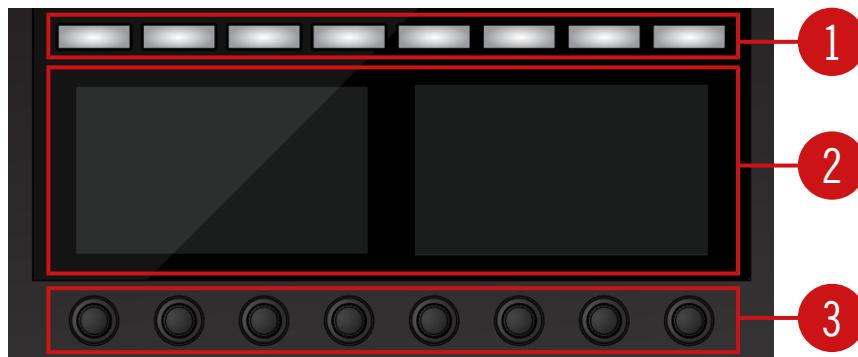
- (1) **LOOP**: 通常再生とループ再生を行います。
- (2) **METRO**: メトロノームのオン/オフです。
- (3) **TEMPO**: このボタンをタップしてテンポを設定します。
- (4) **STOP**: 再生を停止します。

(5) REC (Count-in): REC (Count-in) 録音機能のオン/オフです。SHIFT + REC (Count-in) カウントイン機能のオン/オフです。

(6) PLAY (Restart): PLAY (Restart) 再生を開始します。SHIFT + PLAY (Restart) 先頭部分から再生を再開します。

5.3 コントロールセクション

コントロールセクション は KOMPLET KONTROL キーボードの中央部に設けてあります。ノブとボタン、ディスプレイにはロードしたプロダクト、または選択したモードの各パラメーターが自動的にアサインされます。これらを用いて KOMPLET KONTROL の様々な機能を楽曲作成の各局面で活用することができます。



コントロールセクションの各コントロール部です。

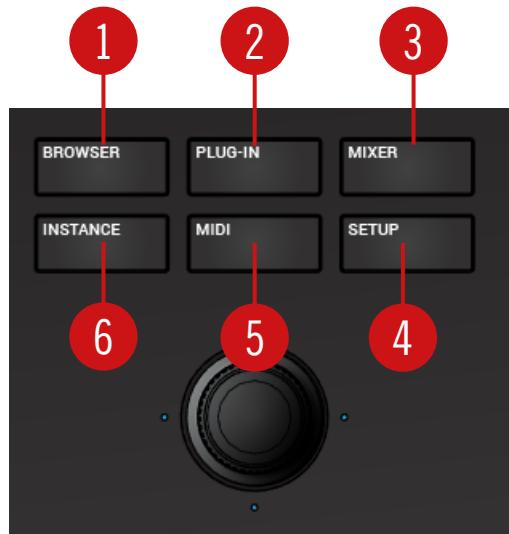
(1) ボタン 1-8: 8 個のボタンが選択したモードにより即座に反応し、ここからパラメーターとして最も重要な機能、およびサブ機能に直接アクセスします。ディスプレイでは各ボタンの下に現在のアサイン内容が表示されます。

(2) ディスプレイ: ディスプレイはロードしたプロダクト、または選択したモードの情報を表示、またボタンやノブにアサインされた機能やパラメーター内容を表示します。

(3) ノブ 1-8: 8 個のノブが選択したモードに対して素早く反応し、パラメーターに直接アクセスできる状態となります。ディスプレイでは各ノブの上に現在のアサイン内容が表示されます。ノブはタッチセンシティブで、各情報を確認するにはそれぞれをタップします。

5.4 各モードボタン

Mode ボタンで KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズし、Mixer と MIDI モードでダイレクトに各機能にアクセスすることもできます。



モードボタンです。

(1) **BROWSER** : (コントロールセクションでブラウザを表示します。 詳細は [↑10, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。

(2) **PLUG-IN** : コントロールセクションでプラグインチェーンと選択したプラグインを表示します。 詳細は [↑11, エフェクトの使用方法](#) を参照してください。

(3) **MIXER** : コントロールセクションにサポートホストのミキサーを表示します。 詳細は [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

(4) **SETUP** : ハードウェアのシリアルナンバーとファームウェアバージョンを表示、画面の明るさをここで調節します。 詳細は [↑6.6, キーボード設定](#) を参照してください。

(5) **MIDI** : MIDI モードにアクセスし、MIDI コントローラーとして KOMPLETE KONTROL キーボードを使用できる状態にします。 詳細は [↑7, MIDI コミュニケーション](#) を参照してください。

(6) **INSTANCE** : 高度連動がない状態でホストでプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する場合、このボタンで KOMPLETE KONTROL インスタンスと MIDI モードを切り替えます。 詳細は [↑6.2, インスタンスの切り替え](#) と [↑9, ホスト連携](#) を参照してください。

5.5 4-D エンコーダー

4 指向プッシュエンコーダー(4-D エンコーダーと呼ぶこともあります) には通常のジョイスティックのような機能と、ボタンとしての機能、エンコーダーとしての機能を同時に持ち合わせています。この多機能コントロール部でナビゲーション、パラメーターの調節、プロダクトのコントロールを一挙に引き受けます。動作としては前後左右に押す動きと、押す、回す動きによる操作となります。



Mode ボタンの下にある 4D エンコーダーです。

使用するメニューとコンテクストによって操作内容が変わります。

- ディスプレイでは 4-D エンコーダーを押すと 4 つの LED インジケーターが反応します。
- リスト内の各エントリー間では 4-D エンコーダーを回すことによって移動します。
- ハイライト表示された値は 4-D エンコーダーを回すことによって変更します。
- 選択肢は 4-D エンコーダーを押すことで決定されます。

詳細は [↑10, ライブラリのブラウズ](#)、[↑11, エフェクトの使用方法](#) と [↑13, インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作](#) を参照してください。

5.6 キーベッドと Light Guide

キーベッドでロードしたインストゥルメントを演奏します。キーベッドの上の Light Guide はロードしたインストゥルメントとサンプルのキーマッピングを色で視覚化します。サンプルを用いたインストゥルメントの有無は鍵盤上で LED が示します。Light Guide は Smart Play の設定内容にも対応します。これで例

えばスケール、またはコードを選択すると、スケール、またはコードに該当するキーに属する LED が点灯、無効の状態のキーは無灯となります。Light Guide はホストで MIDI ノートによるパターンを再生する際も演奏キーを表示します。



Light Guide (ライトガイド) です。

詳細は [↑13, インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作](#)、[↑14, Smart Play – スケールとコード演奏と編集](#) と [↑15, Smart Play – アルペジオ演奏と編集](#) を参照してください。

5.7 Touch Strip

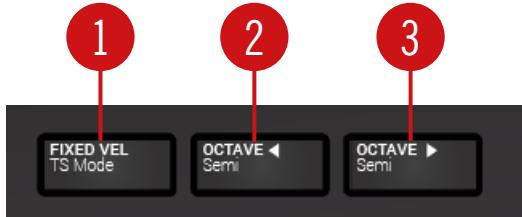
Touch Strip は直感的なコントロール部でインストゥルメントパラメーターに対して即座のコントロールを可能にします。ここから MIDI ピッチベンド、またはコントロールチェンジメッセージを送信、または MIDI Assignment エディターで編集することができます。



Touch Strip です。

詳細は [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。

5.8 トランスポーズと Fixed Velocity ボタン



トランスポーズと Fixed Velocity ボタン

(1) **FIXED VEL (TS Mode)** : 全鍵盤に対して固定ベロシティ値 127 を設定します。デフォルトで鍵盤は叩く強さによってベロシティを感知し、強く叩くほど音量が上がります。Fixed Velocity を起動すると、パッドを叩く強さを変えても一定のベロシティを保ちます。

(2 - 3) **OCTAVE (Semi) down** と **OCTAVE (Semi) up** : ボタンで鍵盤全体の音域をオクターブ分上下させます。 **SHIFT + OCTAVE (Semi)** でキーベッド全体がセミトーン分上下します。同時に両方のボタンを押すと、オクターブがセンターピッチに戻ります。

6 グローバル (Global) コントロールと環境設定 (Preferences)

このセクションでは KOMPLETE KONTROL のヘッダからアクセスできるグローバルコントロールと環境設定について解説します。

6.1 インストゥルメントビュー (Instrument Views)

Once ブラウザからインストゥルメントをロードすると、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。 インストゥルメントビューには **Default View**、**Additional View**、**Edit View** があり、KOMPLETE KONTROL メニューで直接選択できます。



KOMPLETE KONTROL メニューのインストゥルメントビューです。

- ▶ 更にヘッダの View ボタン (+ アイコン) をクリックし、Default View と Additional View を切り替えることができます。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでインストゥルメントビューを選択した状態であっても、KOMPLETE KONTROL キーボードでインストゥルメントの全インストゥルメントパラメーターを常に制御することができます。



ロードしたインストゥルメントによってビューの総数が異なります。

6.1.1 Default View

デフォルトビューは ブラウザからインストゥルメントをロードすると表示されます。 ここで各 NKS インストゥルメントの最重要制御部にアクセスします。



POLYPLEX のデフォルトビューです。

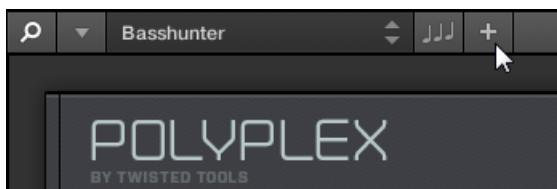
6.1.2 Additional View

殆どの NKS インストゥルメントには 2 番目のパラメーター表示部となるアディショナルビュー (Additional View) があります。ロードしたインストゥルメントによって、このアディショナルビューでは詳細コントロール部、またはまったく異なる機能用のコントロール部が用意されます。



POLYPLEX のアディショナルビューです。

KOMPLET KONTROL メニューとアプリケーションメニューでアディショナルビューを選択する代わりに、KOMPLET KONTROL のヘッダの **+** ボタンを押して表示することもできます。もう一度押すと Default View に戻ります。



+ ボタンで Additional View を表示、非表示にします。

6.1.3 Edit View



エディットビュー (Edit View) は KONTAKT または REAKTOR インストゥルメントのみで使用可能なビューです。

Edit View で KOMPLETE インストゥルメントを KONTAKT PLAYER または REAKTOR PLAYER から開くことができます。このエディットビューで、通常スタンドアローンモードの KONTAKT または REAKTOR 内で使用できる柔軟な全コントロール部と各機能にアクセスすることができます。



POLYPLEX のエディットビューです。



エディットビューで KOMPLETE KONTROL ブラウザからはロードできないファイルにアクセスします。例えば KONTAKT multis はエディットビューの KONTAKT ブラウザからロードすることとなります。

6.2 インスタンスの切り替え

複数の KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインスタンスを起動している場合（ホスト上の異なるトラックでプラグインとして複数起動している場合）、KOMPLETE KONTROL キーボードで制御するインスタンスをどれかに絞る必要があります。

ソフトウェアからインスタンスを切り替える

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンス用にキーボードを切り替えるには、使用するインスタンスのヘッダで Connect ボタン（キーボードアイコン）をクリックします。



ホストでの自動切り替え

高度連携によりホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際、選択したトラック内容によってキーボードは自動的にそのモードを KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用できる状態、または MIDI モードに切り替えます。

- ホストで KOMPLETE KONTROL プラグインを使用しているトラックを選択すると、キーボードは自動的に KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの該当インスタンスに切り替わります。これにより鍵盤で即座にプロダクトのパラメーターを制御することができます。
- ホストで KOMPLETE KONTROL プラグインを使用していないトラックを選択すると、キーボードは自動的に MIDI モードになります。これでホストのパラメーターや、MIDI ラーン機能（を使用できる場合、）で設定したインサートプラグインに対してキーボードから操作することができます。
- ▶ キーボードからサポートホストのトラックを選択するには、トラックがハイライト表示されるまで 4-D エンコーダーを上下に押します。

キーボードでインスタンスを切り替える

高度連携がない状態でホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する場合は、自動的にインスタンスが切り替わることが無くなります。ですがディスプレイと 4-D エンコーダーを使用することによってキーボードから KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンスを選択することができます。

キーボードで KOMPLETE KONTROL インスタンスを切り替える方法は以下となります。

1. **INSTANCE** を押してキーボードディスプレイ上有効なすべての KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを表示します。
 2. 4-D エンコーダーを使用してインスタンスを選択します。
 3. 4-D エンコーダーを押して選択したインスタンスに切り替えます。
- これでキーボードから KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの特定のインスタンスを選択することができます。

6.3 トランスポートとテンポ

KOMPLETE KONTROL をスタンドアロンで使用する場合、専用 Transport と Tempo コントロールを使用できます。これらはシーケンスを用いた KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントやアルペジエーターに反映されます。更にテンポの値は音楽テンポを使用したパラメーターを扱う全インストゥルメントに反映されます (例、リズミックなモジュレーションやディレイエフェクト)。

トランスポートとテンポコントロール部はヘッダーにあります。



KOMPLETE KONTROL のトランスポートとテンポコントロール部です。

- (1) **Play** ボタン: 内部クロックを起動、停止します。これらの値はシーケンスを含む KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントに適用されます。
- (2) **Reset** ボタン: リセットボタンで内部クロックをスタート位置にリセットします。KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントのシーケンサーも最初から再生されるようになります。アルペジエーターも同様に反応します。
- (3) **Tempo コントロール**: テンポを BPM (beats per minute) で設定します。



KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合、自動的にホストと同期します。これによりトランスポートとテンポ機能は使用できない状態となります。

6.3.1 クロックのリセット

ソフトウェア、または鍵盤からソフトウェアのクロックをリセットします。

ソフトウェアでクロックをリセットする

- 内部クロックを停止すると、リセットボタンをクリックすることで、内部クロックがリセットされます。プレイボタンを押すと最初から再生を開始します。
- 内部クロックが起動している場合は、リセットボタンをクリックすることで内部クロックをリセットし、最初から再生を続けます。

キーボードからクロックをリセットする

- 内部クロック停止時に **STOP** を押すと内部クロックがリセットされます。**PLAY (Restart)** ボタンを押すと最初から再生を開始します。
- 内部クロックが停止している状態で **SHIFT + PLAY (Restart)** を押すと内部クロックがリセットされた後、最初から再生されます。
- 内部クロックが起動している状態で **SHIFT + PLAY (Restart)** を押すと内部クロックがリセットされた後、最初から再生されます。

6.3.2 テンポの調節

ソフトウェア、または鍵盤からソフトウェアのテンポをリセットします。

ソフトウェアでテンポを設定する

Tempo コントロールでテンポを BPM (beats per minute) で指定します。

- ディスプレイをクリックし、マウスを上下にドラッグします。
- ディスプレイダブルクリックすることで数値を入力することもできます。
→ テンポは 1 BPM ごと変化します。

キーボードでテンポを設定する

KOMPLETE KONTROL キーボードを用いてテンポを BPM (beats per minute) で調節することもできます。

- ▶ **TEMPO** を押したままコントロールセクションのノブ 1 を回してください。
→ テンポは 1 BPM ごとで調節できます。

6.4 マスター・ボリュームの調整

マスター・ボリュームスライダーで KOMPLETE KONTROL の音量全体を設定します。ボリュームメーターはアウトプットシグナルの現在のピークレベルを表示します。



マスター・ボリュームコントロールです。

以下はアウトプットボリュームの調節方法です。

- ▶ スライダーをクリックして左右にドラッグします。
→ これでアウトプットボリュームを 0.5 dB ずつ調整できます。設定幅は -30dB から +10dB です。-30dB 以下になると、キーボードのボリュームコントロールは素早くボリュームを下げ、無音となります。

キーボードでマスター・ボリュームを調整する

以下はキーボードを使ったアウトプットボリュームの調節方法です。

- ▶ **SHIFT** を押したままノブ 1 を押します。

6.5 環境設定 (Preferences)

Preferences で KOMPLETE KONTROL の各設定を行います。

Preferences を開く方法は以下です。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューで *Edit > Preferences* をクリックします。



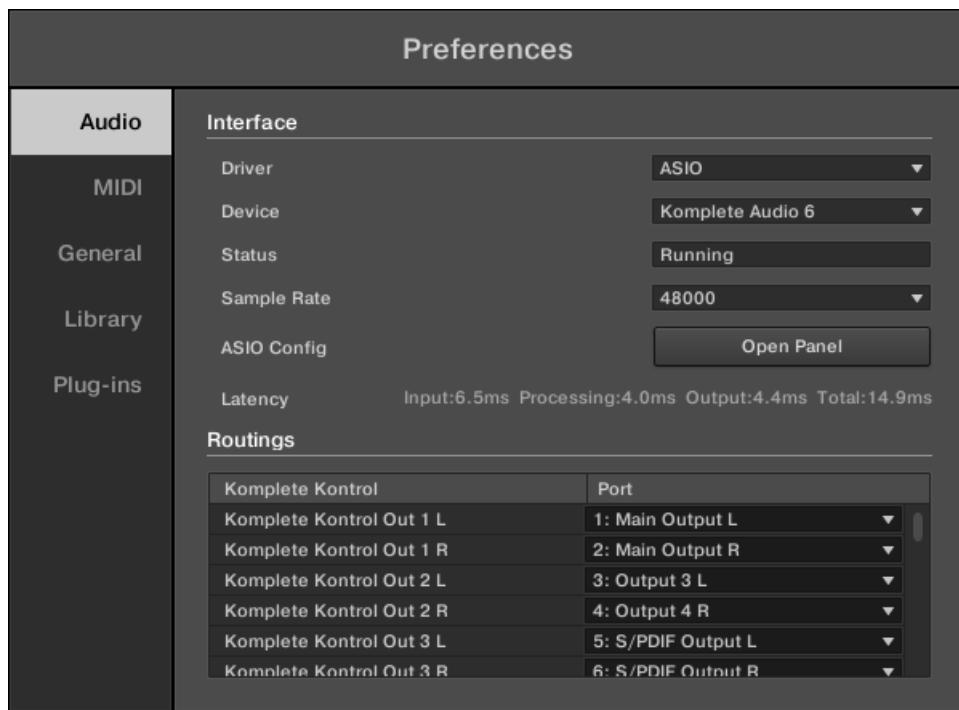
6.5.1 Preferences – Audio ページ

KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンアプリケーションとして起動している場合、[Audio ページ](#)でオーディオインターフェイスに関する各設定項目を使用できます。



プラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際オーディオ設定はホストでの設定を使用するので [Audio ページ](#)は使用できない状態となります。

[Routings](#) セクションで KOMPLETE KONTROL のバーチャルアウトプットと、オーディオインターフェイスの物理アウトプットの接続を設定します。



Preferences パネル— Audio ページ

セッティング	内容
Driver	ここで オーディオ ドライバを選択します。
Device	複数のオーディオインターフェイスを接続している場合は、ここで使用する機器を指定します。
Status	ここでオーディオインターフェイスが正常に機能しているか確認します。
Sample Rate	ここで使用しているオーディオインターフェイスのサンプルレートを表示します。サンプリングレートを変更した後は KOMPLETE KONTROL を再起動してください。

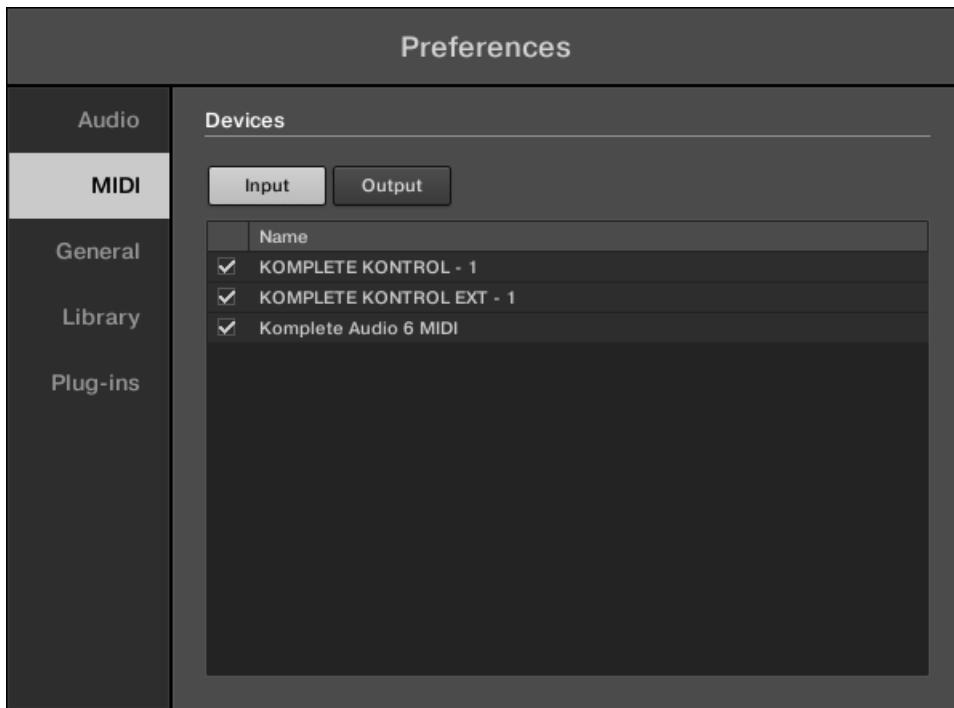
セッティング	内容
Buffer Size (バッファサイズ)	macOS: このスライダーでオーディオインターフェイスのバッファサイズをサンプル単位で調節します。低い値で反応速度は高くなりますが、CPU 負担が高くなる為、オーディオにクリックが生じる場合があります。大きな値で CPU への負担は軽減しますが、レイテンシーは大きくなります (例、パッドを叩いても音声が発音するまでに遅れが生じます)。使用頻度に合わせてクリックが生じない程度まで値を下げてください。 Windows: ASIO ドライバを使用している場合、Audio ページでは Buffer Size スライダーの代わりに ASIO Config ボタンを表示します。このボタンをクリックして選択した ASIO ウィンドウの設定ダイアログを表示します。
Latency	ここでは現在の Buffer Size 設定によるディレイを表示します。
Routings	Routings では KOMPLETE KONTROL の 16 個のステレオアウトプットをリスト表示します。右の欄で、オーディオインターフェイスのアウトプットにアサインします。右の欄のフィールドをクリックしてドロップダウンメニューで任意のアウトプットを選択します。

6.5.2 Preferences – MIDI ページ

MIDI ページで KOMPLETE KONTROL をスタンドアロンで起動する際の MIDI インプット/アウトプットの設定を行います。



プラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際 MIDI 設定はホストでの設定を使用するので [MIDI](#) ページは使用できない状態となります。



Preferences パネル— MIDI ページ (コンピューターによってエントリー内容が異なります)

要因	内容
Input	Input をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI インプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。
Output	Output をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI アウトプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。

MIDI Output 設定は KOMPLETE KONTROL の Smart Play 機能を他の MIDI インストゥルメントと使用する際に必要となります。

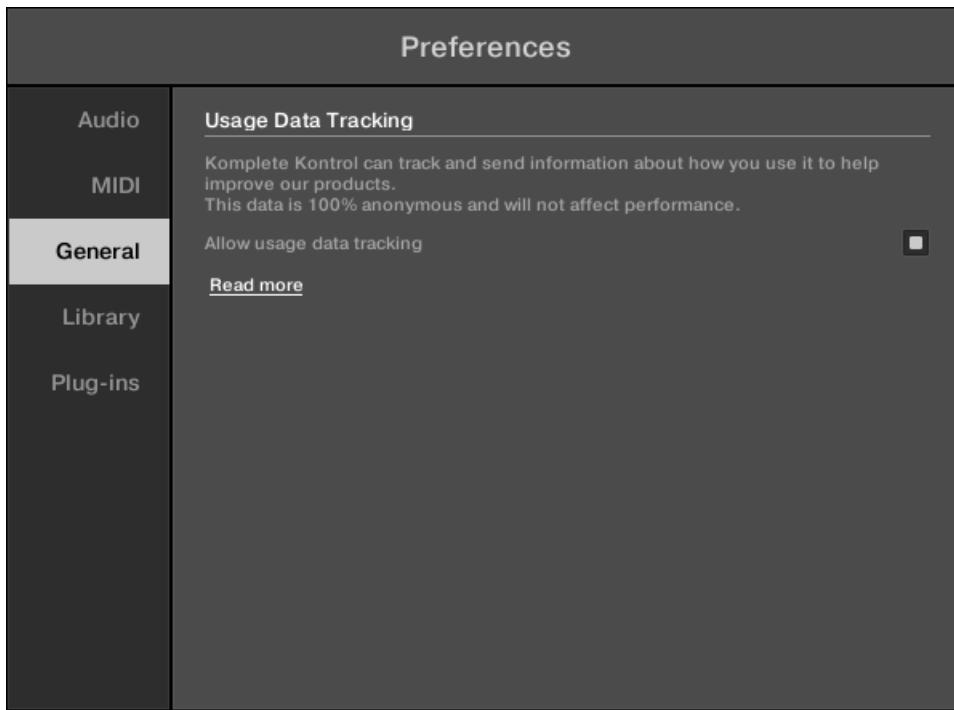
6.5.3 Preferences – General ページ

General ページには Usage Data Tracking があります。使用データトラッキング技術により KOMPLETE KONTROL は自動的に使用データを匿名情報として扱います。このデータ共有機能は許可または拒否することができます。

この使用データトラッキング (Usage Data Tracking) 機能は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの Preferences の General ページで起動、起動解除することができます。しかしこのデータトラッキングを有効にすることで Native Instruments アプリケーションが実際の環境でどのように使用されているか把握することは非常に有益であり、今後の技術向上を目的に当社はこれを推奨します。この機能を用いて Native Instruments に送信されるデータは完全に匿名情報として扱われ、操作環境に支障が生じることはありません。

使用データトラッキングに関する詳細は、Native Instruments ウェブサイトで記載しているナレッジベース記事を参照してください。

<https://support.native-instruments.com/hc/en-us/articles/209545029>



KOMPLETE KONTROL Preferences の Usage Data Tracking です。

データトラッキングの起動と起動解除

Usage Data Tracking 機能を起動/起動解除する方法は以下です。

1. KOMPLETE KONTROL メニューの [Preferences…](#) をクリックして Preferences の *General* ページを開きます。
2. [Allow usage data tracking](#) チェックボックスをクリックし、ユーザーデータトラッキング機能を起動、または起動解除します。

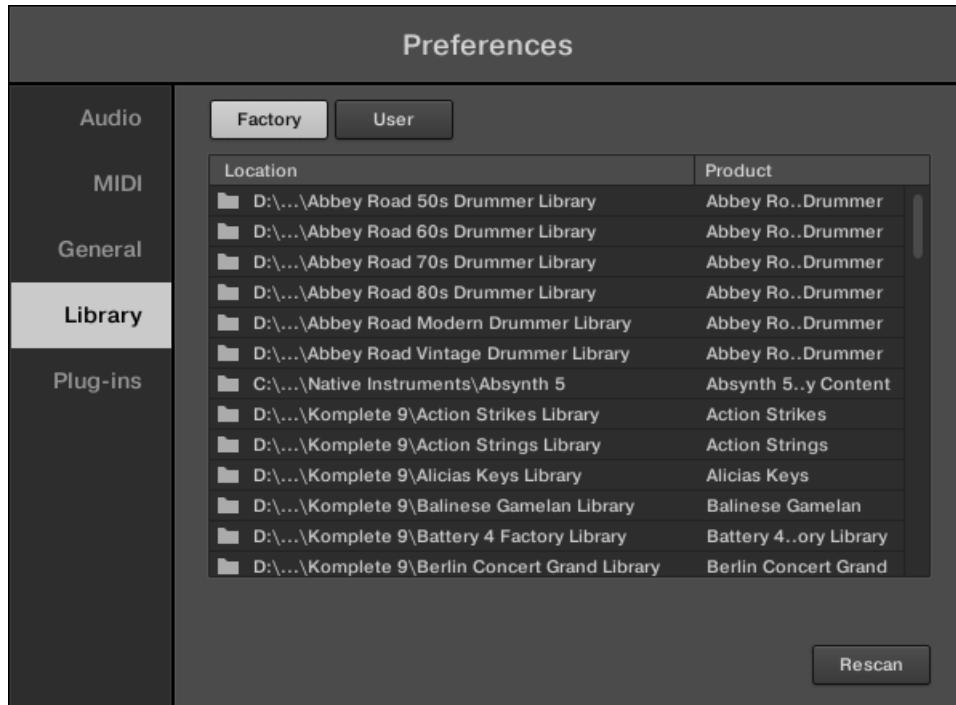
6.5.4 Preferences – Library ページ

[Library](#) ページでブラウザの [Library](#) ペインの KOMPLETE KONTROL Library ファイル (ファクトリー、ユーザー) の全ロケーションを編集します。

ページの上部にある [Factory](#) と [User](#) ボタンで [Factory](#) ペイン [User](#) ペインを切り替えます。

Factory ペイン

[Factory](#) ペインでは有効な全ファクトリーライブラリを表示します。これらのライブラリはブラウザの [Library](#) ペインの [Factory](#) ビューに表示されます。



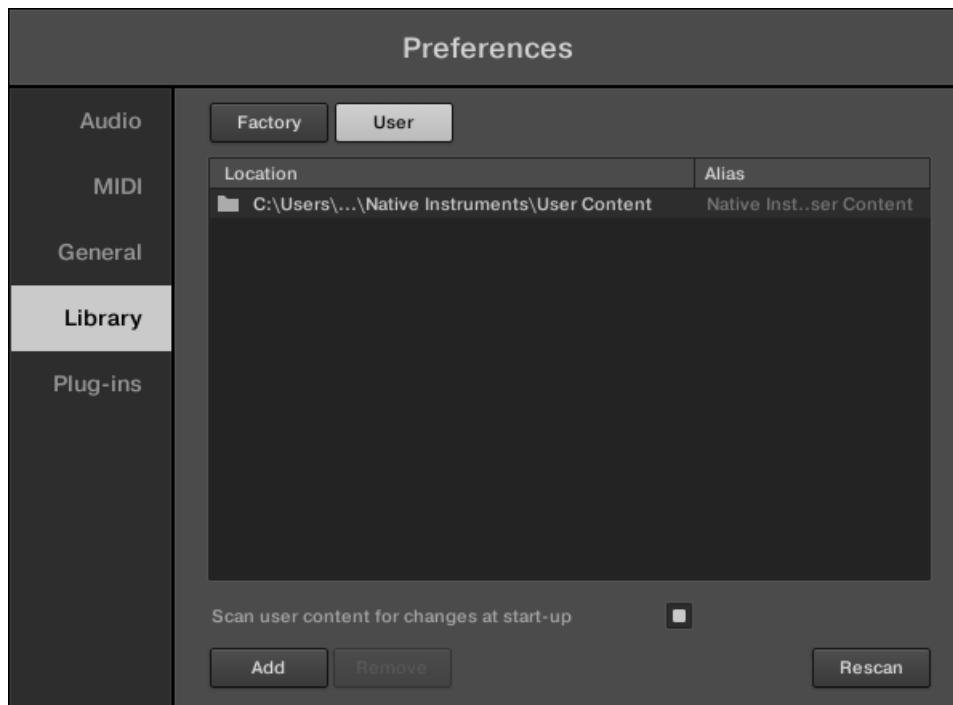
Location	Product
D:\...\Abbey Road 50s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 60s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 70s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road 80s Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road Modern Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
D:\...\Abbey Road Vintage Drummer Library	Abbey Ro..Drummer
C:\...\Native Instruments\Absynth 5	Absynth 5..y Content
D:\...\Komplete 9\Action Strikes Library	Action Strikes
D:\...\Komplete 9\Action Strings Library	Action Strings
D:\...\Komplete 9\Alicias Keys Library	Alicias Keys
D:\...\Komplete 9\Balinese Gamelan Library	Balinese Gamelan
D:\...\Komplete 9\Battery 4 Factory Library	Battery 4..ory Library
D:\...\Komplete 9\Berlin Concert Grand Library	Berlin Concert Grand

Preferences パネル - Library ページの [Factory](#) ペインです。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Product カラム	各製品名称を表示します。これらの名称は編集できません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、場所の変更) は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。

User ペイン

User ペインでは現在使用している全ユーザー・ライブラリを表示します。ここには KOMPLETE KONTROL のスタンダードユーザー・ディレクトリとその他のディレクトリが含まれます。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの User ビューに表示されます。



Preferences パネル– Library ページの User ペインです。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Alias カラム	各ライブラリ用に保存されたエイリアスを表示します。エイリアスをクリックして編集します。エイリアスをクリックして編集します。ユーザーフォルダー用にエイリアスを設定することは必須ではありませんが、異なるコンピューターを使用する際に大変便利です (以下参照)。ロケーションを追加した後 (以下 Add 参照)、新規項目欄のフィールド部をクリックし、Alias カラムで新規ロケーション用エイリアスを設定します。デフォルトユーザーフォルダエイリアスである Native Instruments User Directory は編集することができません。ここにデフォルトで全ユーザーファイルが保存されます。
Scan user content for changes at start-up	デフォルトで起動した状態となるこのオプション機能は、KOMPLETE KONTROL 起動時に追加された新規ユーザーコンテンツがあるか自動的にチェックします。
Add ボタン	Add をクリックしてユーザーライブラリにディレクトリを手動で追加します。詳細は以下を参照してください。
Remove ボタン	Remove をクリックして選択したユーザーライブラリを削除します。ファイルは KOMPLETE KONTROL ブラウザから削除されるだけで、ハードディスクから削除されることはありません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、ファイルの追加、削除後)は、リストのこの部分をクリックし、 Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。



この Preferences (環境設定) パネルのサイズは通常コンピューター上で行う方法と同様の方法で変更することができます。各項目欄の境界線をドラッグして各欄のサイズ変更を行うこともできます。

ユーザーライブラリにフォルダを追加する

Library ページの User ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツに他のフォルダを追加することができます。方法は以下となります。

1. ペインの下の [Add](#) をクリックします。
フォルダ選択ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでコンピューター上の任意のフォルダを選択、 [OK](#) をクリックします([Choose](#)、 選択、 macOS)。
→ 選択したフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL-互換ファイルが KOMPLETE KONTROL のユーザーコンテンツに追加されます。



KOMPLETE KONTROL-互換ファイルは *ens*、 *rkplr*、 *nrkt*、 *nksn*、 *nfm8*、 *nabs*、 *nki*、 *nmsv*、 *nbkt*、 *nis* となります。

更にインポートした全てのファイルのアトリビュートセット (Instrument/Bank/Sub-Bank、 Type/Sub-Type/Mode タグ、 プロパティー) も再現されます。

KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツにフォルダを追加する場合は、 ブラウザの [Library](#) ペインにファイルを作成して検索とロードがスムーズに行えるようにしてください。



ブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを介して追加したフォルダのパスもここに表示されます。ここで解説する [Preferences](#) パネルで [Add](#) ボタンを使用してフォルダを追加する方法とブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを使用してフォルダを追加する方法の相違点は、後者ではインポートしたファイルに直接タグをつけることが可能な点にあります。

フォルダ選択時に [User](#) または [Factory](#) ペインに既に表示してあるフォルダを選択、 またそのフォルダを含んだフォルダを選択することはできません。 フォルダセレクションダイアログで [OK](#) 、 ([Choose](#)、 選択、 macOS) を押した時点で KOMPLETE KONTROL が上に該当するようなフォルダを検出した場合は [Duplicate Location](#) メッセージが表示されるので、 [OK](#) をクリックしてフォルダセレクションダイアログに戻り、 コンピューターで他のフォルダを選択します。

ユーザーライブラリからフォルダを削除する

デフォルトユーザー コンテンツ ディレクトリである、 [Native Instruments User Content](#) 以外のユーザー フォルダをライブラリから削除することもできます。

6.5.5 Preferences – Plug-ins ページ

[Plug-ins](#) ページで KOMPLETE KONTROL 内の VST プラグインを管理します。

ページ上部の [Manager](#) と [Locations](#) ボタンで [Manager](#) ペインと [Locations](#) ペインを切り替えます。

Manager ペイン

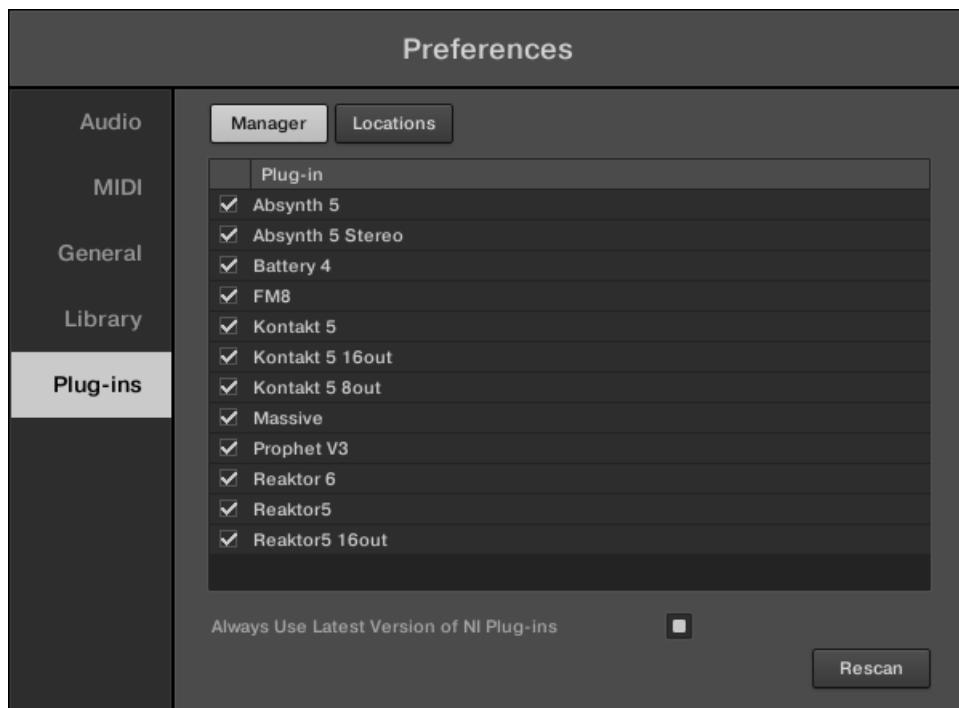
Manager ペインで KOMPLETE KONTROL の全 VST プラグインを閲覧、管理することができます。デフォルトでは全てのプラグインが KOMPLETE KONTROL 内で使用できる状態に設定しております。

- ▶ KOMPLETE KONTROL で必要としないプラグインを起動しない状態にするには、プラグイン名称横のチェックを外します。

[Always use latest version of NI Plug-ins](#) オプションでプラグインをライブラリからロードする際最新のプラグインをロードするか否かを指定します。このオプションを無効にすると、Library コンテンツはコンピューターの最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。



例えば、このオプションはフルバージョンの REAKTOR 5 と REAKTOR 6 Player が必要な KOMPLETE インストゥルメントをインストールしている場合等で使用できます。このオプションを無効にすると、フルバージョンの REAKTOR 5 をロード、REAKTOR 5 の Factory Library が使用でき、KOMPLETE インストゥルメントは REAKTOR 6 Player 内で起動します。この場合、REAKTOR 5 Factory Library を REAKTOR 6 Player で使用できない場合ため、このような状態になります。



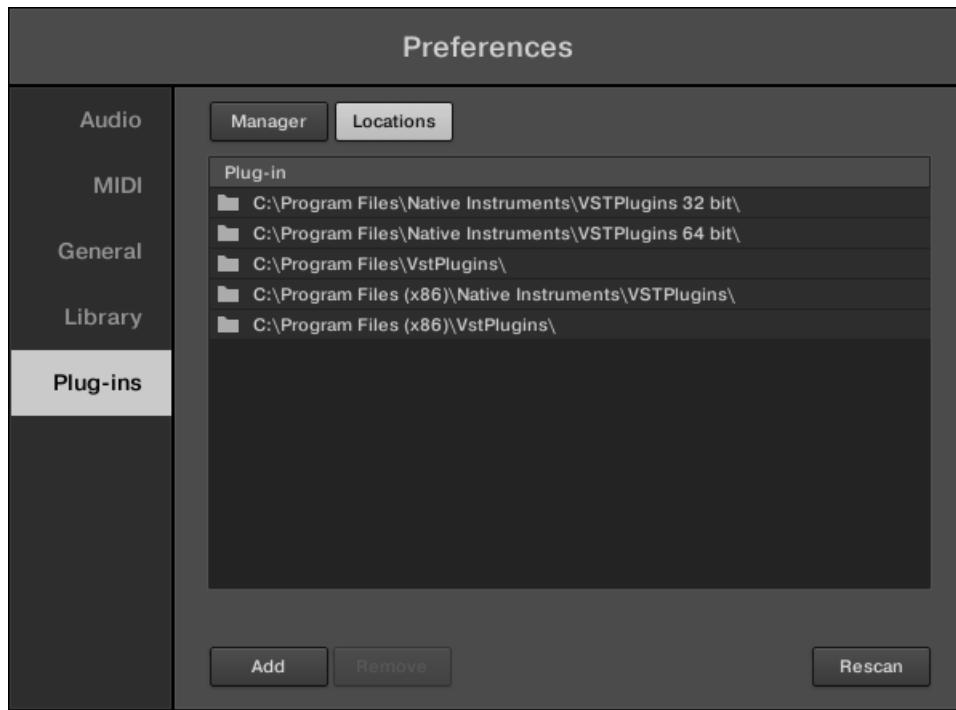
Preferences パネル—Plug-ins ページの Manager ペインです。

要因	内容
チェックボックス欄です。	KOMPLETE KONTROL で使用するプラグインをここで起動、起動しない状態にするか選択します。
Plug-in 欄	KOMPLETE KONTROL の全 VST プラグインをリスト表示します。
Always use latest version of NI Plug-ins	このオプションを有効にすると、Library コンテンツは最新バージョンのプラグインをロードします。 このオプションを無効にすると、Library コンテンツは最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。

Locations ペイン

Locations ペインでハードドライブにあるプラグインを含んだ各フォルダを管理します。KOMPLETE KONTROL がそれらのフォルダをスキャンし、VST プラグインを検索、Manager ペインに追加します。リストからフォルダを [Add](#) (追加)、[Remove](#) (削除) したり、フォルダの内容を変更した場合や更新した場合は [Rescan](#) 機能で KOMPLETE KONTROL 内のプラグインをアップデートすることもできます。

- ▶ Locations ペインを表示するには、[Plug-ins](#) ページ最上部にある [Locations](#) ボタンを押します。



Preferences パネル—Plug-ins ページの Locations ペインです。

セッティング	内容
Plug-in 欄	KOMPLETE KONTROL が VST プラグインを対称に全フォルダをスキャンします。
Add	ファイルダイアログを開き、リストに他のフォルダを追加します。

セッティング	内容
Remove	リストから選択しているフォルダを削除します。
Rescan	リストにある全フォルダをスキャンし、プラグインの更新内容にあわせて Manager ペイン内容をアップデートします。

6.6 キーボード設定

KOMPLETE KONTROL キーボード の SETUP ページでハードウェアに関連する情報や設定項目にアクセスします。

- ▶ SETUP ページを開くには、キーボードの **SETUP** ボタンを押します。



表示される情報と設定内容は以下となっています。

- **Firmware:** キーボードにインストールされているファームウェアのバージョンナンバーを示します。
- **Serial Nr.:** キーボードのハードウェアシリアルナンバーを表示します。
- **Velocity / SCALING:** キーベッドのペロシティー反応カーブを設定します。 *Soft 3*, *Soft 2*, *Soft 1* で繊細な演奏内容に対応し、*Hard 1*, *Hard 2*, *Hard 3* で、比較的に強めの演奏内容に対応します。
- **Displays / BRIGHTNESS:** キーボードディスプレイの明るさを調節します。

6.7 デフォルトの状態でプラグインをロードする

KOMPLETE KONTROL メニューからデフォルトの状態のプラグインをロードすることもできます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューで *Plug-ins > Native Instruments > Massive* と選択します。



→ プラグインがロードされます。全 パラメーターをデフォルト値にリセットします。



デフォルトの状態のプラグインのロードはソフトウェア操作のみで行えます。

7 MIDI コミュニケーション

KOMPLETE KONTROL は使用している MIDI 環境に対応する MIDI コントロールとホストオートメーションに対応しています。このセクションでは MIDI 信号とホストオートメーションについて、またキーボードを MIDI モード、スタンドアロン MIDI コントローラーモードで活用する方法を解説します。

MIDI 入力

KOMPLETE KONTROL とロードするインストゥルメントは MIDI とホスト (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合) を介して操作できます。

- **Triggering Instruments via MIDI notes:** デフォルトで受信 MIDI ノートはロードしたインストゥルメントを発音、Light Guide の対応する鍵盤上部の LED を点灯します。
- **Controlling parameters via host automation:** ホストオートメーションで KOMPLETE KONTROL とインストゥルメントのパラメーターをコントロールすることができます (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合)。

MIDI クロックの受信

KOMPLETE KONTROL は MIDI Clock を受信しません。しかし KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合、自動的にホストのテンポと同期します。KOMPLETE KONTROL ヘッダのテンポ表示部は灰色表示となり、テンポはホストテンポと同期していることを示します。

MIDI 送信

send MIDI data from KOMPLETE KONTROL で KOMPLETE KONTROL から MIDI データを送信することができます。

- **MIDI インストゥルメントのトリガーと MIDI ノートの録音:** KOMPLETE KONTROL は MIDI Note、Pitch Bend、Channel Pressure (アフタータッチ) メッセージをホスト、または MIDI アプリケーション、機器に送信します。
- **MIDI アプリケーション/機器の制御:** KOMPLETE KONTROL の MIDI モードで各 MIDI アプリケーションや機器に対してコントロールチェンジ/プログラムチェンジメッセージを送信します。
- **加工した MIDI ノートのルーティングと録音:** KOMPLETE KONTROL が MIDI アウトプットを介してスタンドアロンアプリケーション、プラグインから Scale エンジン、アルペジエーターにより生成された MIDI ノートを送信します。MIDI ノートを他の MIDI インストゥルメントにルーティング、またはホストで MIDI パターンとして録音することもできます。



MIDI アウトプットはスタンドアローンアプリケーションと VST と AAX バージョンのプラグイン使用時に使用できます。AU (Audio Unit) バージョンのプラグインで MIDI アウトプット機能は使用できません。

7.1 ホストオートメーション

ホスト上で KOMPLETE KONTROL プラグインをロードすると、インストゥルメントのパラメーター、Scale パラメーター、アルペジエーターパラメーターをホスト上でオートメーションすることができます。

7.1.1 オートメーションの録音

ホストを録音オートメーション用に設定すると、ソフトウェアとキーボードでの操作により以下の内容を反映させることができます。

- ソフトウェアで各ボタンをクリック、またはキーボードで各ボタンを押すことで Scale と Arpeggiator 機能を起動、起動解除します。
- ソフトウェア、またはハードウェアの各ノブを回すことでパラメーター値を選択します。



ホストによるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

ホストによってはプラグインの特定のパラメーターにマッピングされたオートメーション ID を用いてオートメーションを扱う場合もあります。KOMPLETE KONTROL にはあらかじめ設定が施されたオートメーション ID のリストを備えており、ホストはこれらを自動的に検知します。

7.1.2 Perform Panel 用オートメーション ID

以下のオートメーション ID は KOMPLETE KONTROL の Perform パネルのパラメーター用です。

Automation ID	パラメーター
000	インスタンス認識と自動フォーカスフォロー用のものです。
001	Scale On / Off
002	Root Note (Scale)
003	Scale Type (Scale)
004	Key Mode (Scale)

Automation ID	パラメーター
006	Chord Mode (Scale)
007	Chord Type (Scale)
026	Arp On / Off
027	Mode (Arp)
028	Type (Arp)
029	Rate (Arp)
030	Sequence (Arp)
031	Swing (Arp)
032	Octaves (Arp)
033	Dynamic (Arp)
034	Gate (Arp)
035	Retrigger (Arp)
036	Repeat (Arp)
037	Offset (Arp)
038	Inversion (Arp)
039	Min. Key (Arp)
040	Max. Key (Arp)
041	Hold (Arp)

7.2 MIDI モードでキーボードモードを使用する

KOMPLETE KONTROL キーボードで KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、キーボードを USB や DIN 規格の 5 ピン MIDI 接続を介してコンピューターに接続し、万能な MIDI コントローラーとして MIDI 使用が可能なアプリケーションや機器を操作することが可能です。

KOMPLETE KONTROL は MIDI インstrument 用に MIDI Note、Pitch Bend、Channel Pressure (アフタータッチ) メッセージを送信、また MIDI アプリケーション、または機器用に Control Change と Program Change メッセージを送信します。

- キーボードを起動するとディスプレイが PRESS BROWSE と表示、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインスタンスをコントロールしていることを示します。
- キーボードを起動するとディスプレイが MIDI CC ナンバーを表示している場合、キーボードは MIDI モードであることを意味します。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動していない状態でキーボードは直接 MIDI モードを起動します。

MIDI モードへの切り替え

キーボードの KOMPLETE KONTROL ソフトウェアモードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。

1. キーボードで **MIDI** を押します。
2. MIDI モードを解除するには、ボタンのどれかを押し他のモードに切り替えます。



サポートホスト内でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を使用する際、選択したトラック内容によってキーボードは自動的にそのモードを KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用できる状態、または MIDI モードに切り替えます。

MIDI アサイン

MIDI モードの多様性は MIDI アサインエディターによるものです。このアプリケーションによってキーボード制御に必要な正確な MIDI アサインが設定できます。詳細は [↑8, MIDI Assignment エディターの使用](#) を参照してください。

1. キーボードの左右ページボタンで MIDI Assignment エディターで作成した各ページに移動します。
2. キーボードの **RESET** 上下ボタンで MIDI Assignment エディターで作成した各テンプレートに移動します。

7.3 スタンドアロン MIDI コントローラーとしてキーボードを使用する

USB 接続を介さずに（電源のみを用いて）KOMPLETE KONTROL キーボードを起動すると、キーボードのリアパネルにある DIN 規格の 5 ピン MIDI 端子を用いて MIDI 機器を接続してスタンドアロン MIDI キーボードとして使用することができます。

キーベッドとキーボードの各コントロール部は以下の MIDI メッセージを送信します。

コントロール部	メッセージタイプ	CC#	モード/タイプ	レンジ/値	コントロール機能
ペダル A	コントローラー	ティップ 64 リング 65	ゲート	0-127	ダンパーペダルオン/オフ (サステイン)
ペダル B	コントローラー	11	-	0-127	エクスプレッションコントローラー
ピッチホイール	ピッチベンド	-	-	0-16384	ピッチベンド
モジュレーションホイール	コントローラー	1	-	0-127	モジュレーションホイールまたはレバー
Touch Strip	コントローラー	11	モード: Standard ディスプレイ: Unipolar LED モード: Bar	0-127	エクスプレッションコントローラー
ノブ 1	コントローラー	14	Absolute	0-127	Undefined
ノブ 2	コントローラー	15	Absolute	0-127	Undefined
ノブ 3	コントローラー	16	Absolute	0-127	多目的コントローラー 1
ノブ 4	コントローラー	17	Absolute	0-127	多目的コントローラー 2
ノブ 5	コントローラー	18	Absolute	0-127	多目的コントローラー 3
ノブ 6	コントローラー	19	Absolute	0-127	多目的コントローラー 4
ノブ 7	コントローラー	20	Absolute	0-127	Undefined
ノブ 8	コントローラー	21	Absolute	0-127	Undefined

コントロール部	メッセージタイプ	CC#	モード/タイプ	レンジ/値	コントロール機能
ボタン 1	コントローラー	112	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 2	コントローラー	113	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 3	コントローラー	114	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 4	コントローラー	115	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 5	コントローラー	116	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 6	コントローラー	117	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 7	コントローラー	118	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined
Button 8	コントローラー	119	トグル (Action on Down)	Off 0 / On 127	Undefined

8 MIDI Assignment エディターの使用

このセクションでは MIDI Assignment エディターを用いてコントロール部に MIDI メッセージをアサイン、またはキーゾーンを作成する方法を解説します。マッピングシステムについても詳しく解説し、MIDI メッセージタイプやアサイン内容についても紹介します。



MIDI Assignment 絵でい \times たーを使用する場合、すべてのキーボード操作 (例、ナビゲーション、トランスポート等) はブロックされます。

8.1 マッピングシステム

キーボードを使用すると、MIDI Assignment エディターが MIDI メッセージを USB を介してコンピューターに送信します。MIDI Assignment エディターの役割はハードウェアへの動作を、MIDI イベントに変換することです。

MIDI Assignment エディターのマッピングシステムで、アサインを効率よく管理します。これにより、マッピング作業を簡単にし、キーボードの状態を把握することが可能です。次でそれらの基本的な内容を解説します。

アサイン可能なコントロール部

アサイン可能なコントロール部はノブ、ボタン、鍵盤、ペダル、タッチストリップです。その他のコントロール部とボタンはアサインできません。

アサイン

アサインで特定のコントロール部でどの MIDI イベントをトリガーするのかを決定します。有効な MIDI イベントタイプは コントロールチェンジや プログラムチェンジ等の MIDI メッセージとなります。コントローラー要素での各動作は 1 つの MIDI イベントに変換され、対応するアサインでその内容を定義します。

コントロール要素（ボタン、ノブ、鍵盤、ペダル入力、Touch Strip 等）により、使用可能なアサイン内容は異なります。詳細は [↑8.8, MIDI メッセージタイプとアサイン](#) を参照してください。

ページ

複数のアサインをページで管理することができます。ページにはハードウェアに対応する 8 のボタンと 8 個のノブがそれぞれあります。同時に選択（ロードも含む）できるページは 1 ページです。使用できるページは最大 4 ページで、MIDI Assignment エディター、またはキーボードから直接選択することができます。

他のページを選択すると、ページエリアにあるコントロール部の全てのアサインは、それに従って更新されます。

MIDI テンプレート

MIDI テンプレートは有効な全ページを含むキーボード上のノブ、ボタン、鍵盤のマッピング設定情報を含んでいます。テンプレートの複数を同時に選択することはできません。MIDI テンプレートの切り替えは、例えば使用しているコンピューター内の異なるアプリケーションの認識や異なる MIDI インstrumentment を対応させる為に使用します。



Touch Strips とペダルの設定はグローバルに保存され、テンプレートごとに異なる設定を保存できるわけではありません。テンプレートを切り替えると **TOUCHSTRIP** と **PEDALS** の全設定内容が維持されます。

8.2 MIDI Assignment エディターを開く

MIDI Assignment エディターを開くには MIDI Assignment エディターボタンを押します。

- ▶ ヘッダの MIDI Assignment エディターボタンをクリックします。



- MIDI Assignment エディターが開きます。これでキーボードの MIDI モードに関連するすべての設定項目にアクセスできるようになります。



MIDI Assignment エディターボタンは KOMPLETE KONTROL キーボードがコンピューターに接続されており、スイッチをオンにすることで初めて使用できるようになるボタンです。

8.3 コントロール部に MIDI Messages をアサインする

この チュートリアルでは各ノブとボタン、ペダル、タッチストリップに MIDI メッセージをアサインする方法を紹介します。新規 Key Zones を作成する場合は [8.7, Key Zones の作成](#) を参照してください。

コントロール部に MIDI Messages をアサインする方法は以下です。

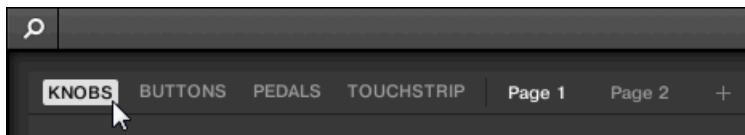
1. MIDI Assignment エディターボタンをクリックし、MIDI Assignment エディターを開きます。



2. Templates ペインで MIDI テンプレートを選択します。



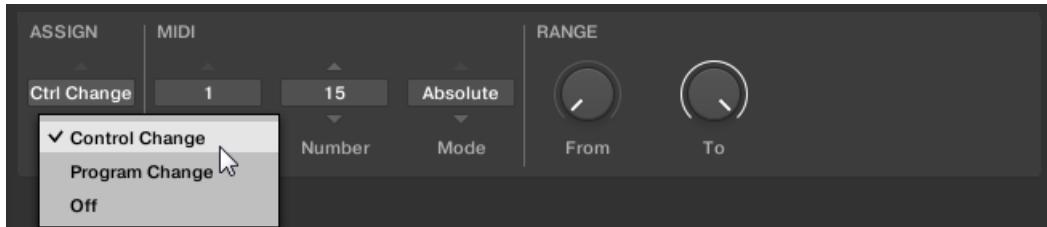
3. コントロール部の種類を選択します。



4. MIDI メッセージをアサインするコントロール部を選択します。



5. Definition エリアでドロップダウンメニューとオプションを用いて MIDI メッセージを選択します。



- Definition エリアで表示されるドロップダウンメニューとオプションの内容はコントロール部の種類と Definition エリアでの選択内容によって異なります。

- 必要であれば複数のアサインを行う為に他のページを選択、または作成します。



- MIDI メッセージのアサインを終えたら、MIDI Assignment エディターを閉じます。

- 編集内容が MIDI Template に保存されます。

MIDI メッセージと各アサインの詳細は [↑8.8, MIDI メッセージタイプとアサイン](#) を参照してください。

8.4 コントロール部の名称設定

デフォルト名称ではアサインしたパラメーターが不明な場合があるので名称を変更します。

- コントロール部の名称部分をダブルクリックします。



- 7 文字以内で名称を設定します。



- エンターキーを押して名称を適用します。

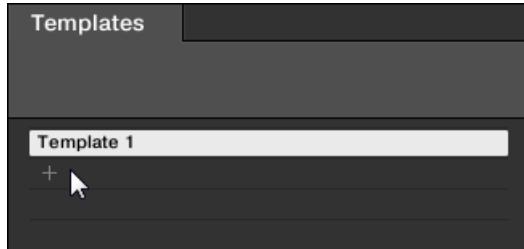
- これでコントロール部の名称が設定されます。

8.5 新規 MIDI テンプレートの作成

キーボードを異なるライブ環境やスタジオ環境で使い分けたい場合、複数の MIDI Template を作っておくと便利です。

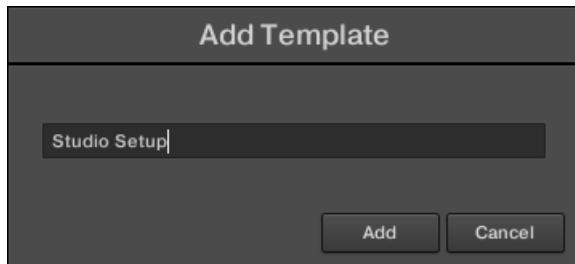
新規テンプレートを作成する方法は以下です。

1. Templates ペインで  アイコンをクリックします。



→ Add Template ダイアログが表示されます。

2. 新規 MIDI Template 名称を入力します。



3. Add をクリックします。

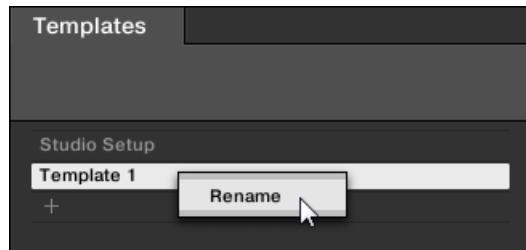
→ 新規 MIDI Template が作成されます。MIDI Templates はアルファベット順に表示されます。



8.6 MIDI テンプレートの名称変更

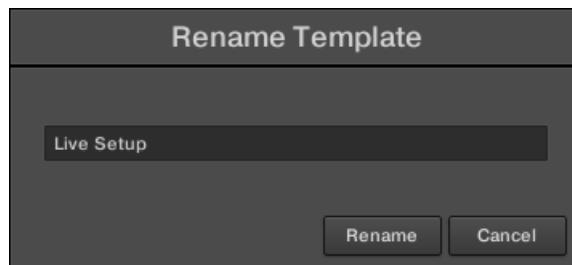
既にある MIDI Template の名称も以下の方法で変更することができます。

1. MIDI Template を右クリックし、コンテキストメニューで *Rename* を選択します。



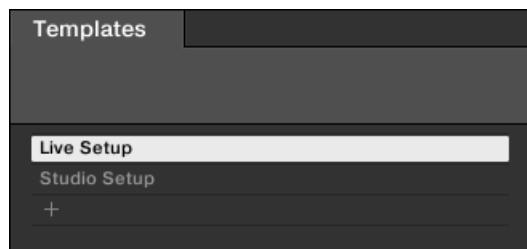
→ 現在の MIDI Template 名称とともに *Rename Template* ダイアログが表示されます。

2. 任意の MIDI Template 名称を入力します。



3. *Rename* をクリックして適用します。

→ これで MIDI Template 名称が変更されます。



8.7 Key Zones の作成

MIDI Assignment エディターで **Key Zones** を管理できるようになりました。Key Zones を設定することで、特定の鍵盤に異なる MIDI チャンネルをアサインできるようになります。このセクションでは Key Zones に関する各内容（作成方法、MIDI チャンネルの設定方法、Light Guide への配色、キーのピッチのトランスポーズ方法）を解説します。

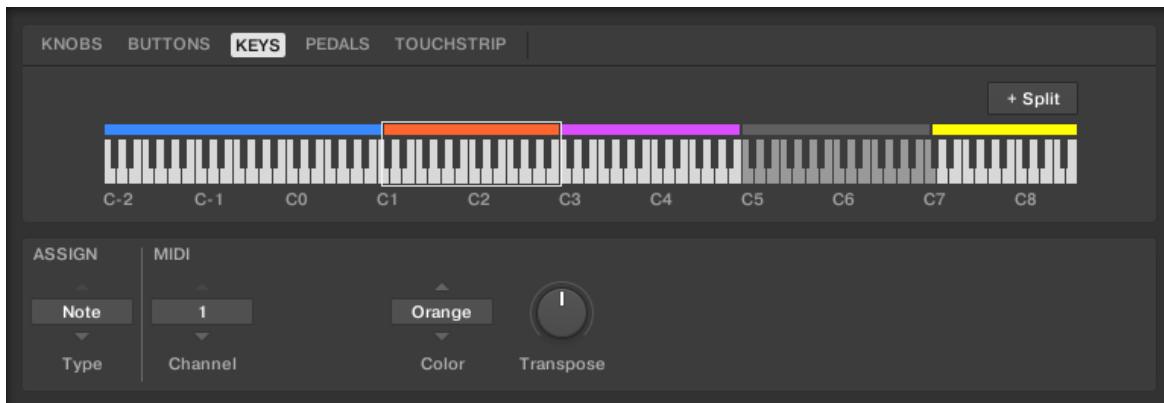
8.7.1 Key Zone について

Key Zone は特定の MIDI チャンネルをアサインできる連続した鍵盤区分です。Key Zones は柔軟で便利なツールで、複雑なキーマッピングを簡単に行うことができます。

- 鍵盤ごとにアサイン設定を行う必要はありません。代わりに Key Zone にキーレンジをアサインすることで自動的に設定域に含まれている鍵盤に自動的に正確なアサインを施します。
- 各 Key Zone には独自の MIDI チャンネル、色設定が行えます。ここでの設定内容は Key Zone の全鍵盤に適用されます。
- Key Zones は全 MIDI ノートレンジとなります。使用できる Key Zone は 16 ゾーンまでとなります。Key Zones を重ねることはできません。また、ゾーン間に間を空けることもできません。特定の Key Zones を無効の状態にすることもできます。その場合、該当キーは MIDI Note メッセージを送信しなくなります。
- Key Zone のアサイン内容は各 MIDI テンプレートごとに適用されます。

KEYS タブの Key Zone

KEYS タブ最上部の **Keybed** エリア で Key Zones を管理します。



Keybed エリアで Key Zones を作成、変更します。

Keybed エリアでは 128-鍵盤といいくつかの追加部を表示します。

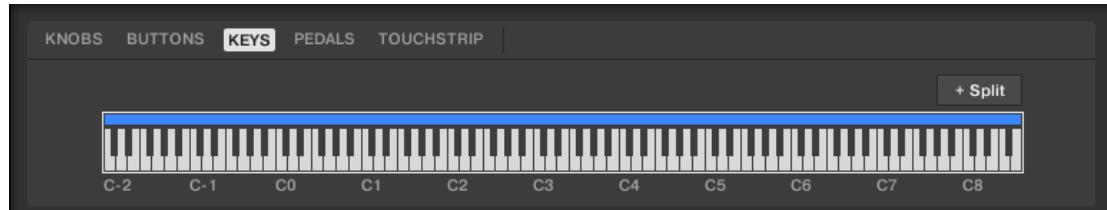
- 各 Key Zone はキーベッド上で各色と境界線を用いて表示されます。
- キーベッドの下のオクターブマーカーは各オクターブの始まりを示します。
- 白枠は選択している Key Zone を示します。
- 無効の状態の Key Zones は灰色表示となります。

8.7.2 Key Zone の分割

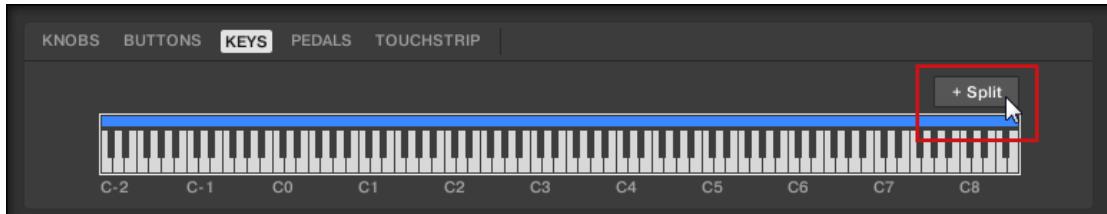
新規 Key Zone の作成方法はいたって単純で、既存の Key Zone を選択、または分割することで作成することもできます。

Key Zone の分割方法は以下となります。

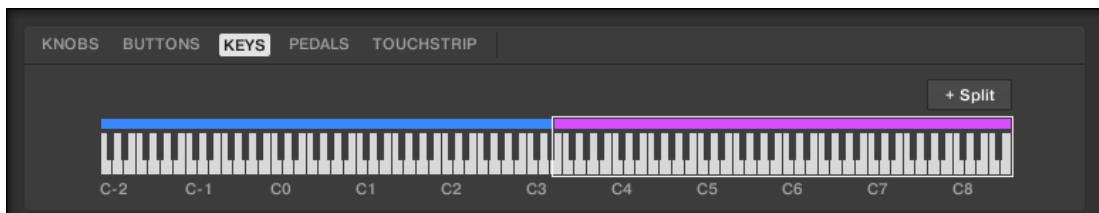
- 既存の Key Zone を選択します。Key Zone が一つしかない場合はデフォルトで Key Zone が選択された状態となります。



2. キーベッドエリアの真上にある [+Split](#) ボタンをクリックします。



- Key Zone が分割されます。右半分の色は異なりますが、左半分と同じ MIDI チャンネルを使用する状態となります。



16 の Key Zones を既に使い切っている場合は、[+Split](#) ボタンは無効の状態となります。



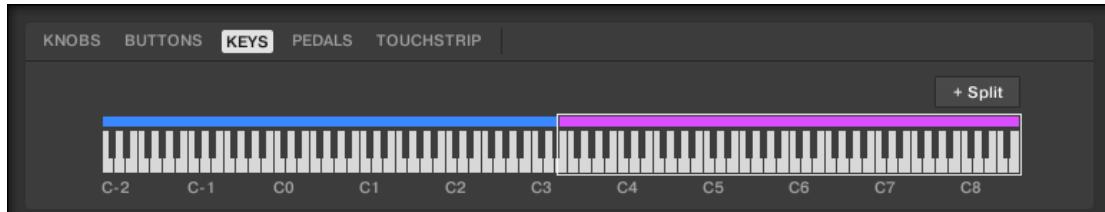
Key Zone が鍵盤一つ分の場合は、[+Split](#) ボタンは無効の状態になります。

8.7.3 Key Zone に別の MIDI チャンネルを設定する

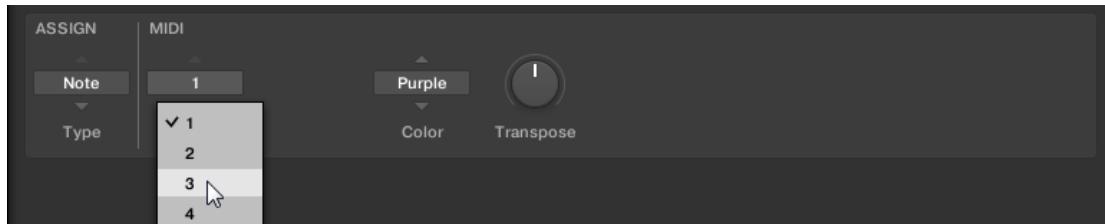
新規 Key Zone を選択した後 Key Zone 用に別の MIDI チャンネルを設定することで別のインストゥルメントを使用できる状態にします。

Key Zone に別の MIDI チャンネルを設定する方法は以下です。

- 別の MIDI チャンネルを設定したい Key Zone を選択します。



- Channel ドロップダウンメニューで MIDI チャンネルを選択します。

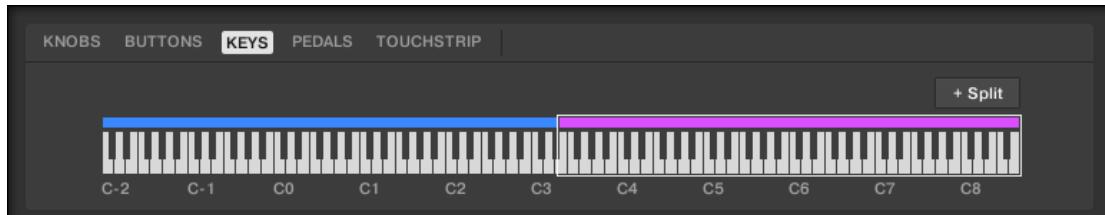


→ これで Key Zone の MIDI チャンネルが変更されました。

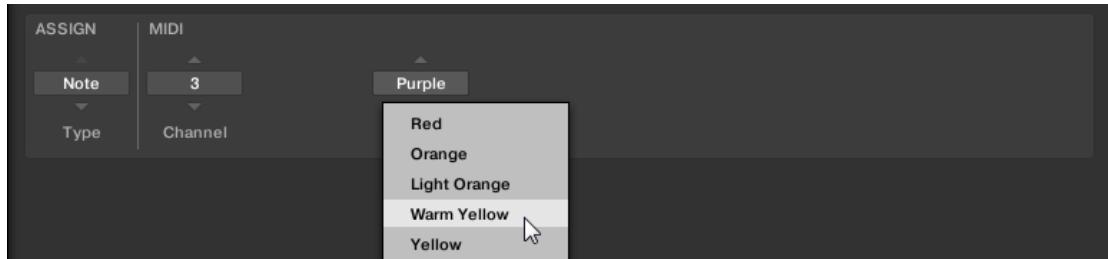
8.7.4 Key Zone の色を変更する

Key Zones を分割すると、新規作成された Key Zone の色は自動的に 16 色のうちのどれかに設定されます。Key Zone の色を任意に変更する方法は以下です。

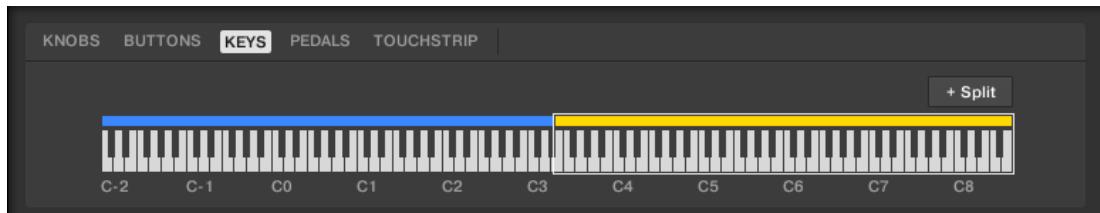
- 色を変更したい Key Zone を選択します。



2. Color ドロップダウンメニューで色を選択します。



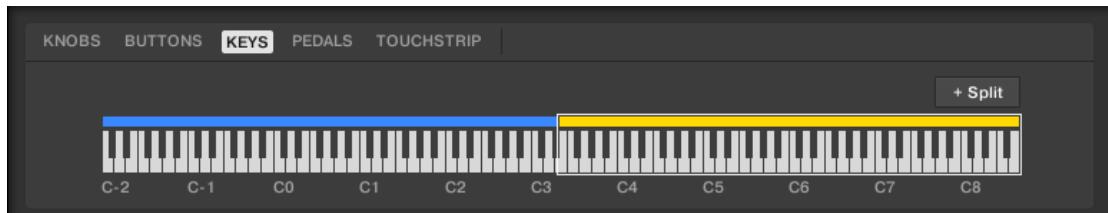
- Key Zone の色が変わり、Light Guide も変更に対応します。他の Key Zones も同様の方法で変更します。



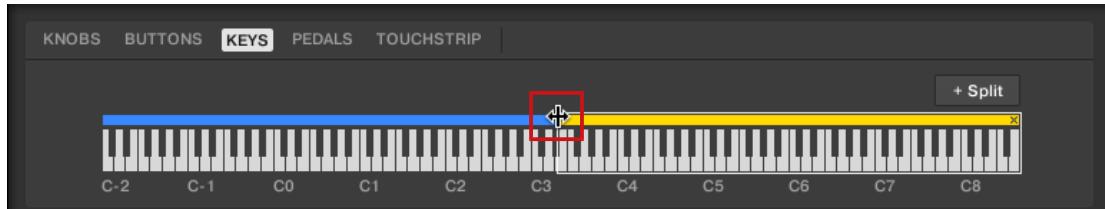
8.7.5 Key Zone のサイズ変更

Key Zone のサイズを変更する方法は以下となります。

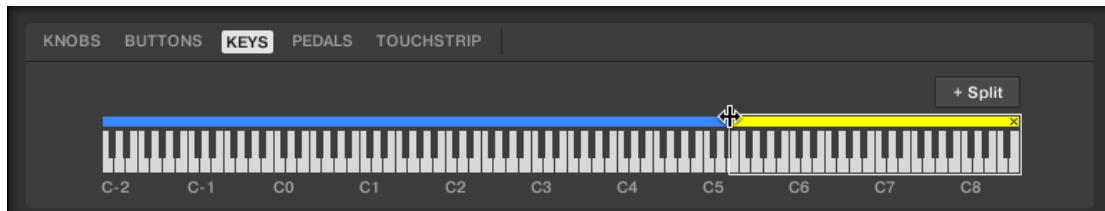
1. サイズ変更したい Key Zone を選択します。



- 選択した Key Zone の上下境界線のどちらかにマウスカーソルを当てます。



- 任意のサイズになるまでマウスを水平方向にドラッグして放します。



→ Key Zone のサイズはこれで変更されます。Key Zones を重ねることはできないので、Key Zone の境界線をドラッグすることで隣接する他のキーゾーンのサイズも対応して変更されます。

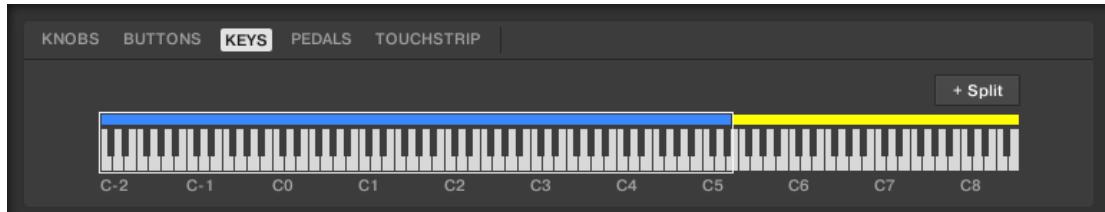
Key Zone のサイズ変更時に、左下端、右上端の境界線はドラッグすることはできません。Key Zone のサイズを鍵盤ひとつ分以下に変更することはできません。変更時に対応して変化するキーゾーンにも同じことが言えます。

8.7.6 Key Zone の無効化 (Disabling a Key Zone)

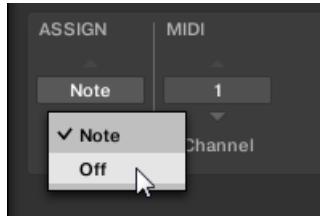
で全鍵盤に対する Key Zone 設定内容が無効化され、鍵盤がノートをトリガーしない状態となります。例えば隣り合う Key Zones の演奏時に不必要的 MIDI メッセージのトリガーを事前阻止する、と言った場合に有効な機能です。

Key Zone を無効にする方法は以下です。

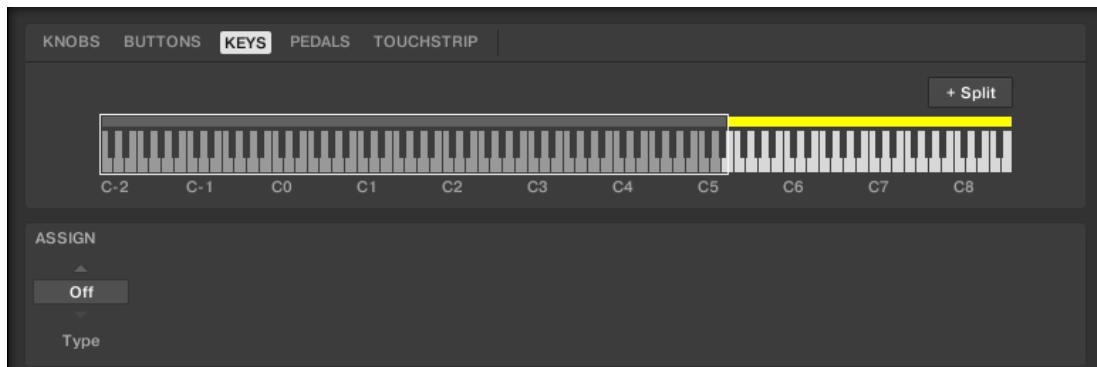
- 無効にしたい Key Zone を選択します。



2. Type ドロップダウンメニューで Off を選択します。



- キーベッドエリアで Key Zone と MIDI アサイン内容が無効となり灰色表示されます。他の Key Zones も同様の方法で無効にします。

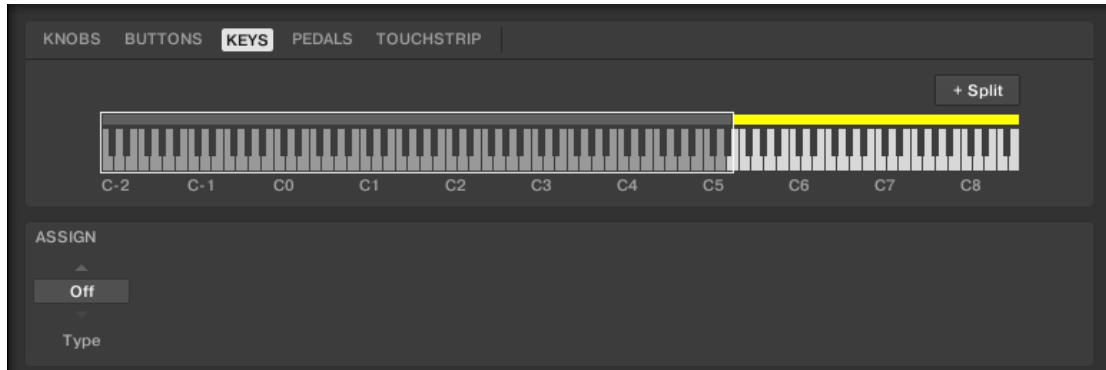


KOMPLET KONTROL キーボードでも、無効となった Key Zone の対応する鍵盤 LED は無灯火の状態となります。

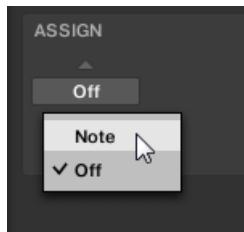
無効にした Key Zone はいつでも有効な状態に戻すことができます。

以下は無効にした Key Zone を再度有効にする方法です。

- 再び有効にしたい Key Zone を選択します。



- Type ドロップダウンメニューで Note を選択します。

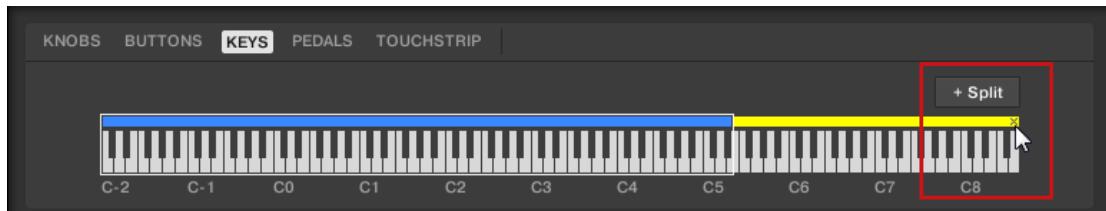


→ これで Key Zone と MIDI アサイン内容が再度有効な状態となります。他の Key Zones も同様の方法で再び有効にします。

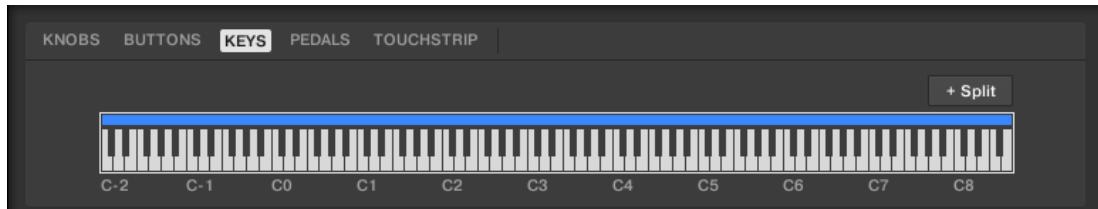
8.7.7 Key Zone の削除

Key Zone を削除する方法は以下です。

- 削除したい Key Zone にマウスカーソルを当てます。
- Key Zone にマウスカーソルを当てることで表示される小さな x マークをクリックします。



- Key Zone が削除され、該当鍵盤はその左の Key Zone に吸収されます。一番左の Key Zone を削除すると、鍵盤はその右の Key Zone に吸収されます。



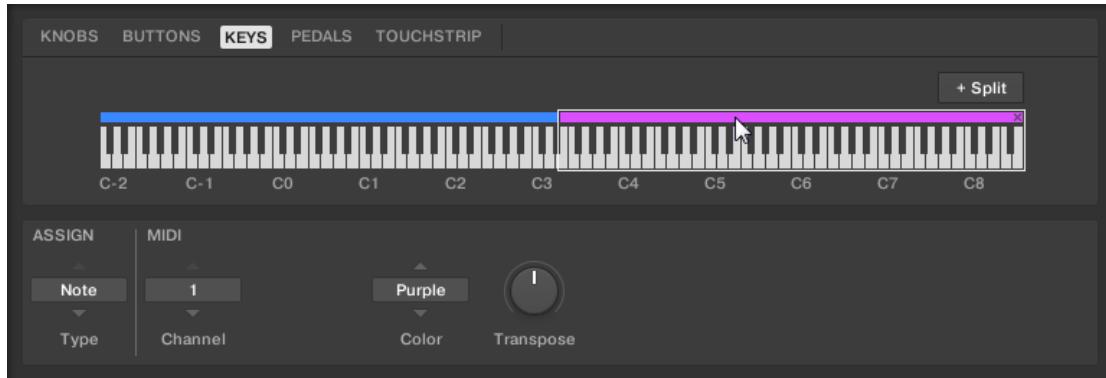
Key Zone が一つしかない場合は、Key Zone にマウスカーソルを当てても X マークは表示されません。

8.7.8 Key Zone のトランスポーズ

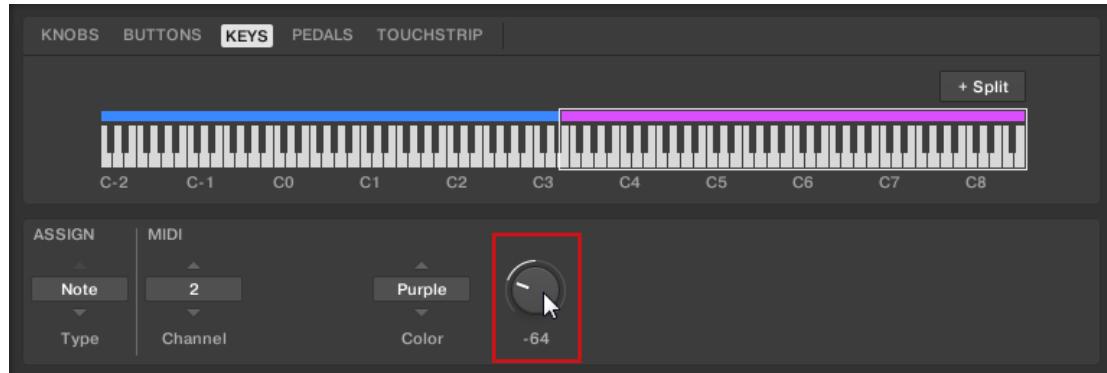
Key Zone のトランスポーズにより全鍵盤にアサインされた Key Zone 内の MIDI ノートを等間隔に上下にトランスポーズすることができ、この方法は例えば同じ MIDI ノートを別の Key Zones を用いてトリガーすることができ便利です。Transpose ノブを使用することで -127 から 127 MIDI ノート全般にわたってトランスポーズすることができます。Key Zone をトランスポーズしていない場合、Transpose ノブはデフォルト値の 0 となります。

Key Zone をトランスポーズする方法は以下です。

1. トランスポーズしたい Key Zone を選択します。

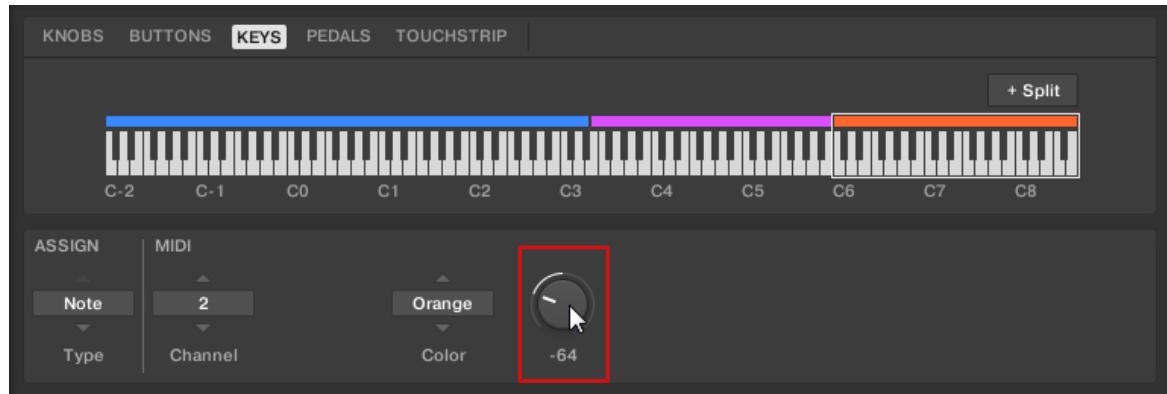


2. [Transpose](#) を回して任意の値で MIDI ノートをトランスポーズします。



→ Key Zone はこれでトランスポーズされます。

トランスポーズした Key Zone を分割すると、新規作成される Key Zone には元のトランスポーズ値が適用されます。



新規作成される Key Zone には元のトランスポーズ値が適用されます。



鍵盤一つ分の Key Zones をトランスポーズする場合は、ワンショットサンプルのピッチを設定することになります。

8.8 MIDI メッセージタイプとアサイン

このセクションでは [Type](#) メニューの MIDI メッセージタイプの解説と、コントロール部と Key Zone 用各アサインに関して解説します。

8.8.1 MIDI メッセージタイプ- Type メニュー

全コントロール部において、アサインの定義は同じメニューから開始します。 Type メニューがそれです。

この [Type](#) ドロップダウンメニューではコントロール部の操作で送信する MIDI メッセージのタイプを指定します。コントロール部のタイプにより、このメニューのエントリーは異なります（例えば、「Play」コマンドをノブから送信するのはあまり意味のないことです）。

定義エリアに表示される他の全てのパラメータは現在作業をしているコントロール要素のタイプと、この [Type](#) メニューで選択された MIDI メッセージのタイプによります。

以下には、[Type](#) メニューにある全ての MIDI メッセージのタイプのリストです。

- **Control Change:** MIDI Control Change メッセージをチャンネル (Channel) パラメーターで設定した MIDI チャンネル(全 16 チャンネル、デフォルト設定は 1 です)に送信します。 このメッセージで対象となる MIDI ディスティネーションのコンティニュアスコントローラーの値を変更し、例えば音楽ソフトのエフェクトの設定値をコントロールします。 コンティニュアスコントローラー (CC) ナンバーは [Number](#) パラメーター (設定値範囲は 0 から 127 です)で設定します。 コントローラーに送信される値は、選択するコントロール部の種類によって設定することができます(次セクション参照)。
- **Program Change:** MIDI Program Change メッセージをチャンネル (Channel) パラメーターで設定した MIDI チャンネル(全 16 チャンネル、デフォルト設定は 1 です)に送信します。 このメッセージで MIDI ディスティネーションの他のプログラム (パッチ、プリセット等) に切り替えます。 プログラムナンバーは、選択するコントロール部の種類によって設定することができます (次セクション参照)。
- **Note:** MIDI Note On/Off メッセージをチャンネル (Channel) パラメーターで設定した MIDI チャンネル(全 16 チャンネル、デフォルト設定は 1 です)に送信します。このメッセージで [Note](#) パラメーター (C-2 から G8) と [Value](#) パラメーター (0-127) で設定した内容により MIDI ノートをトリガー、トリガ一停止します。
- **Pitchbend:** MIDI ピッチベンドメッセージをチャンネル (Channel) パラメーターで設定した MIDI チャンネル(全 16 チャンネル、デフォルト設定は 1 です)に送信します。 このメッセージで同じ MIDI チャンネルに送信した MIDI ノートのピッチを変更します。 MIDI ディスティネーションによって他のパラメーター制御にも使用できます。
- **Off:** コントロール部用 MIDI を無効にします。このエントリーを選択してコントロール部、またはその動作を無効にします。このコントロール部/動作は MIDI メッセージを送信しなくなり、パラメーターも表示されなくなります。

8.8.2 ノブのアサイン

ノブに対して **Type** メニューは *Control Change* と *Program Change* のエントリーを表示します。選択したエントリーによって以下の追加パラメーターセットが表示されます。

Type	Mode	RANGE	番号	ステップ
コントロールチェンジ	<i>Absolute</i>	From 0-126 / To 1-127	0-127	
	<i>Relative</i>			-32 から 31
	<i>Relative (Offset)</i>			-32 から 31
<i>Program Change</i> (プログラムチェンジ)		From 0-126 / To 1-127		

ノブのモードメニュー値

Control Change には **Mode** メニューがあり、3 つの操作モードから選択できます。

- **Absolute:** このモードでコントロール部は絶対値を送信します。 **From**、**To**、**Resolution** パラメーターは他のメッセージタイプと同様です (上記参照)。
- **Relative:** このモードで送信されるメッセージは $+1/-1$ 方式(実際は $1/127$ 方式ですが、ターゲットソフトウェアでは $+1/-1$ 数値情報として認識、処理されます) で送信されます。ここでコントロール部が現在の値に基づいて新規コントロールチェンジバリューを設定します。使用するパラメーターは 2 つです。
 - **Step:** で増加値を設定します。 **Step** 値を大きくしてターゲットパラメーターの値を大きく変更することもできます。 **Step** でマイナス値を設定するとコントロール値が反転します。
 - **Resolution:** 動作に対する各コントロール部の感度を調節します。高い **Resolution** 値で、コントロール部に軽く触れただけでもトリガーされるメッセージは大きくなります。低い **Resolution** 値でコントロール部を強く操作することでメッセージがトリガーされます。
- **Relative (Offset):** このモードは上記に説明した **Relative** モードと似ていますが、「 $+1$ 」と「 -1 」メッセージで送信される実際の数値はそれぞれ「65」と「63」です。言い換えれば、これらは 0 の代わりに 64 を中心にしています。これは特定のソフトウェアを実行する際に適しています。リレティブモードの **Step** パラメーターで使用するインクリメントを指定し、**Resolution** パラメーターでコントロール部の感度を調節します。

8.8.3 ボタンのアサイン

ボタンでは [Type](#) メニューには *Control Change*、*Program Change*、*Note* のエントリーがあります。選択したエントリーによって以下の追加パラメーターセットが表示されます。

Type	Mode	設定値	番号	メモ
コントロールチェンジ	<i>Toggle</i>	Off/On 0-127	0-127	
	<i>Trigger</i>	0 - 127		
<i>Program Change</i> (プログラムチェンジ)	<i>Toggle</i>	Off/On 0-127		
	<i>Trigger</i>	0 - 127		
メモ	<i>Toggle</i>	0 - 127		C-2 - G8
	ゲート	0 - 127		C-2 - G8

ボタンのモードメニュー値

上の表で示したようなボタンを持つコントロール部で使用可能な MIDI メッセージの種類は限られており、データを送信する方式を設定することでそのコントロール部の性質を変更します。この設定は [Mode](#) メニューで行います。このメニューには、[Type](#) メニューで選択したメッセージタイプにより、最大 4 種の選択肢を選択することができます。全てのエントリのリストは以下になります。

- **Toggle:** このモードでコントロール部は 2 つの状態オン/オフを備えます。一度押すと、オンの状態となり、もう一度押すと、オフの状態となります。例えばこれでエフェクトをオンオフ切り替えしてその効果を確認することができます。このモードには 2 つの [VALUE](#) 設定があり、[Off](#) でオフ値を設定 (0 から 127、デフォルトは 0)、[On](#) でオン値を設定 (0 から 127、デフォルトで 127) します。*Note* メッセージの種類によっては、Off の状態があらかじめ設定される (MIDI Note Off メッセージ) ので、代わりに MIDI Note On メッセージのベロシティーを設定する単一の [VALUE](#) が設けられます。

- **Trigger:** このモードでは、コントロール部を叩くことで 1 つのメッセージを送信します。例えば、これは他のプログラム（プリセット、パッチ等）へ切り換える場合や一回限りのサンプル（例えば、ドラム・サウンドや他のエンベロープを操作するサウンド）をトリガーするのに便利でしょう。そのためこのモードで設定項目は、[VALUE](#) しかなく、このコントロール部を叩いた時に送信される数値を定義します。設定値は 0-127 です（デフォルトでは 127 です）。
- **Gate:** このモードは *Note* メッセージタイプ用の項目で、コントロール部が MIDI Note メッセージを送信します。コントロール部を押すと、MIDI Note On メッセージを送信、コントロール部を放すと MIDI Note Off メッセージを送信します。例えばこれで演奏中に一時的にエフェクトを起動することができます。Note メッセージに Off の状態があらかじめ設定される（MIDI Note Off メッセージ）ので、代わりに MIDI Note On メッセージのベロシティーを設定する単一の [VALUE](#) が設けられます。

8.8.4 キーゾーンのアサイン

ここで紹介するアサインは Key Zone に対して有効です。

Type

キーゾーンの [Type](#) メニューには *Note*、*Off* のエントリーがあります。

- **Note:** MIDI ノート On/Off メッセージを送信します。このメッセージは [Channel](#) パラメーターで設定した MIDI チャンネルに送信されます。ここでキーボードを演奏/演奏停止することで再生/停止するターゲットノートを設定します。
- **Off:** MIDI アサインを含めた Key Zone を無効にします。Key Zone を再び有効にすると以前の MIDI アサインがリコールされます。

Channel(チャンネル)

[Channel](#) メニューで選択した値が選択した Key Zone の MIDI チャンネルの値となります。

- 設定値幅は 1 から 16 です。
- デフォルト値は 1 です。

COLOR(カラー)

[Color](#) セッティングで選択したキーゾーンに対して色を設定、この色が Light Guide (鍵盤の上の LED 部) で使用する色となります。

- レッド、オレンジ、ライトオレンジ、ウォームイエロー、イエロー、ライム、グリーン、ミント、ターコイズ、シアン、ブルー、プラム、バイオレット、パープル、マゼンタ、フクシヤ（赤紫）

Transpose

Transpose ノブで Key Zone の MIDI ノートを上下させます。

- 選択値は **-127** から **127** です。
- デフォルト値は **0** です。

8.8.5 Touch Strip のアサイン

Touch Strip に対して Type メニューでは *Control Change* と *Pitchbend* のエントリーを表示します。選択したエントリーによって以下の追加パラメーターセットが表示されます。

Type	Range	番号	Strength
コントロールチェンジ	From 0-126/To 1-127	0-127	
<i>Pitchbend</i>			0-100%



Type を選択し、Touch Strip の性質を設定します。 *Control Change* を選択すると、Touch Strip はフェーダーのように機能します。 *Pitchbend* を選択すると、Touch Strip は指を放すと値が即座に 0 値に戻るようになります。

Control Change で Touch Strip をスワイプしたときの値の Range を設定、コントロールチェンジメッセージ Number を設定します。 *Pitchbend* では Touch Strip の値が戻るときの Strength を設定します。この値を大きくするほど、Touch Strip の値が 0 に戻るまでの反応速度が速くなります。



Touch Strips とペダルの設定はグローバルに保存され、テンプレートごとに異なる設定を保存できるわけではありません。テンプレートを切り替えても **TOUCHSTRIP** と **PEDALS** の全設定内容が維持されます。

8.8.6 ペダル（スイッチ）のアサイン

スイッチとして使用するペダルに対して Type メニューは *Control Change* と *Program Change* のエントリーを表示します。選択したエントリーによって以下の追加パラメーターセットが表示されます。

Type 値	Mode 値	Range	設定値	番号	ステップ	Wrap
コントロール チェンジ	<i>Toggle/Gate</i>		Off/On 0-127	0-127		
	<i>Trigger</i>		0 - 127	0-127		

Type 値	Mode 値	Range	設定値	番号	ステップ	Wrap
	<i>Inc</i>	Min/Max (0-127)			-128 から 127	On/Off
Program Change(プログラムチェンジ)	Toggle/ Gate		Off/On 0-127			
	Trigger		0 - 127			
	<i>Inc</i>	Min/Max 0-127			-128 から 127	On/Off

ペダル (スイッチ) のモードメニュー値

上の表で示したようなボタン形状を持つコントロール部で使用可能な MIDI メッセージの種類は限られています。データを送信する方式を設定することでそのコントロール部の性質を変更します。この設定は [Mode](#) メニューで行います。このメニューには、[Type](#) メニューで選択したメッセージタイプにより、最大 4 種の選択肢を選択することができます。全てのエントリのリストは以下になります。

- **Toggle:** このモードでコントロール部は 2 つの状態オン/オフを備えます。一度押すと、オンの状態となり、もう一度押すと、オフの状態となります。これは例えば、いくつかのエフェクトを有効にして、後で無効にする際に便利でしょう。これが通常デフォルトモードです。このモードには 2 つの数値フィールドがあり、[Off Value](#) でオフの状態の数値を設定し (0 から 127、0 がデフォルト数値です)、[On Value](#) でオンの状態の数値を設定します (0 から 127、127 がデフォルト数値です)。Note メッセージの種類によっては、Off の状態があらかじめ設定される (MIDI Note Off メッセージ) ので、代わりに MIDI Note On メッセージのペロシティーを設定する単一の [Value](#) パラメーターが設けられます。
- **Gate:** このモードはトグルと同じ役割を果たしますが、ペダルが押されていない状態で機能します。Toggle モードではペダルをもう一度押すまで起動したままとなります。
- **Trigger:** このモードでは、コントロール部を叩くことで 1 つのメッセージを送信します。このモードにはオンとオフの状態がありません。例えば、これは他のプログラム (プリセット、パッチ等) へ切り換える場合や一回限りのサンプル (例えば、ドラム・サウンドや他のエンベロープを操作するサウンド) をトリガーするのに便利でしょう。そのためこのモードでは、[Value](#) という数値フィールドしかなく、このコントロール部を叩いた時に送信される数値を定義します。設定値は 0-127 です (デフォルトでは 127 です)。

- **Inc:** このモードでペダルを押すことで段階を踏まえて値が変化 (例 1-2-3-4-5, 2-4-6-8-10 or 3-6-9-12-15) します。

8.8.7 ペダル (連続値用) のアサイン

連続値を用いるペダルに対して **Type** メニューは *Control Change* と *Program Change* のエントリーを表示します。選択したエントリーによって以下の追加パラメーターセットが表示されます。

Type	Mode	Range	音号
コントロールチェンジ		From 0-126 / To 1-127	0-127
<i>Program Change</i> (プログラムチェンジ)		From 0-126 / To 1-127	

Control Change でペダルを押したときの値の **Range** を設定、コントロールチェンジメッセージ **Number** を設定します。 *Program Change* ではペダルを押したときに送信される値の **Range** を設定します。

9 ホスト連携

に対応したホストを使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードがスタジオセットアップの中核となります。KOMPLETE KONTROL にロードしたインストゥルメントまたはエフェクトの操作のみならず、サポートホストの主要機能も制御できます。



高度連携機能を使用する前に、必要な設定を施す必要があります。詳細は [↑3.3, ホスト連携用設定](#) を参照してください。

KOMPLETE KONTROL は以下のホストに対して高度連携します。

- MASCHINE 2
- Apple Logic Pro X
- Apple GarageBand
- Ableton Live 9
- Steinberg Cubase Artist 8.5/9/9.5
- Steinberg Cubase Pro 8.5/9/9.5
- Steinberg Nuendo 7/8

サポートホストの連携に関しては各ホストの関連セクションを参照してください。

- [↑9.1, MASCHINE との使用](#)
- [↑9.2, Apple Logic Pro X と GarageBand との連携](#)
- [↑9.3, Ableton Link との連携](#)
- [↑9.4, Steinberg Cubase/Nuendo サポート](#)

9.1 MASCHINE との使用

MASCHINE を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードで MASCHINE の多くの機能をハードウェアから直接操作することができます。更にキーボードディスプレイの左にある Arrange ボタンから MASCHINE ソフトウェアの特定のモードと画面にアクセスし、KOMPLETE KONTROL で MASCHINE を直接コントロールすることができます。このセクションでは基本的なコントロール機能と Arrange ボタンを用いた高度コントロールについて解説します。

ソフトウェアを使用して MASCHINE を接続する

KOMPLETE KONTROL キーボードと MASCHINE ソフトウェアを接続する方法は以下です。

- ▶ ヘッダのキーボードアイコンをクリックします。



キーボードを使用して MASCHINE を接続する

1. キーボードで **INSTANCE** を押します。
2. ディスプレイで MASCHINE インスタンスを選択します。
3. ボタン 8 (SELECT) を押して MASCHINE とキーボードを接続します。

9.1.1 基本コントロール機能

キーボードのコントロール部にマッピングされた MASCHINE の基本コントロール機能を以下の表で示します。

トランスポートコントロール

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生を開始、停止します。	PLAY
ループレンジの最初から再生を開始します。	SHIFT + PLAY (RESTART)
録音を開始、停止します。	REC (COUNT-IN)
カウントしてから録音を開始します。	SHIFT + REC (COUNT-IN)
再生/録音停止	STOP
メトロノームを起動/起動解除します。	METRO
テンポ調整	TEMPO + Knob 1
ループを起動、停止します。	LOOP

Perform コントロール

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
選択したグループの Scale エンジンを起動、起動解除します。	SCALE (Edit)
選択したグループのアルペジエーターを起動、起動解除します。	ARP (Edit)
選択したグループの Scale エンジンを編集します。	SHIFT + SCALE (Edit)
選択したグループのアルペジエーターを編集します。	SHIFT + ARP (Edit)
クオントライズ設定の表示	QUANTIZE
クオントライズグリッドの起動、起動解除	QUANTIZE + Knob 1
クオントライズ値の設定	QUANTIZE + Knob 2
オートメーションの起動/起動解除	AUTO
アンドゥー操作	UNDO (Redo)
リドゥー操作	SHIFT + UNDO (Redo)

Navigation

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
前のプリセットファイルの選択	PRESET 上
次のプリセットファイルの選択	PRESET 下
前のプラグインページの選択	ページ左
次のプラグインページの選択	ページ右

各モードボタン

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
ブラウザを開く	BROWSER
プラグインビューを開く	PLUG-IN

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
Mix モードを開く	MIXER
MASCHINE と KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替えを行います。	INSTANCE
MIDI モードへの切り替え	MIDI
ハードウェアのシリアルナンバーとファームウェアバージョンを表示、画面の明るさの調節	SETUP

9.1.2 高度連動用コントロール機能

KOMPLETE KONTROL キーボードのディスプレイ左にある Arrange ボタンと MIXER ボタンを用いた高度連動用コントロール機能内容は以下となります。

アイディアビュー (Ideas View)

KOMPLETE KONTROL S-シリーズの SCENE ボタンを押すとディスプレイにアイディアビューが表示されます。この画面は MASCHINE ソフトウェアのアイディアビューと同等で、シーンとパターンを即座にコントロールできる状態となります。



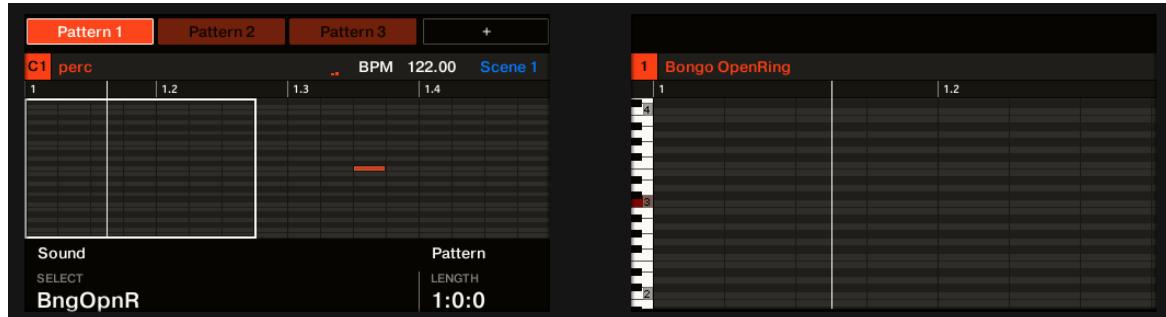
KOMPLETE KONTROL キーボードの MASCHINE 用アイディアビューです。

アイディアビューでは以下の操作を行うことができます。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
シーンの選択、シーンの新規作成	ボタン 1-8
シーンで他のパターンを選択し、対応するグループをタッチ動作で選択	ノブ 1-8
選択したシーンのコピーをインサートする	SHIFT + ボタン 4 (DUPLICATE)
空のシーンをインサートする	SHIFT + ボタン 5 (INSERT)
選択したノートを削除する	SHIFT + ボタン 6 (DELETE)
起動後、選択した次のシーンを強制的に最初から演奏します。	SHIFT + ボタン 8 (RETRIGGER)
選択したパターンを削除する	CLEAR

Pattern ビュー

キーボードで **PATTERN** を押すとディスプレイにパターンビューが表示されます。録音時にはパターンビューの使用がお薦めです。



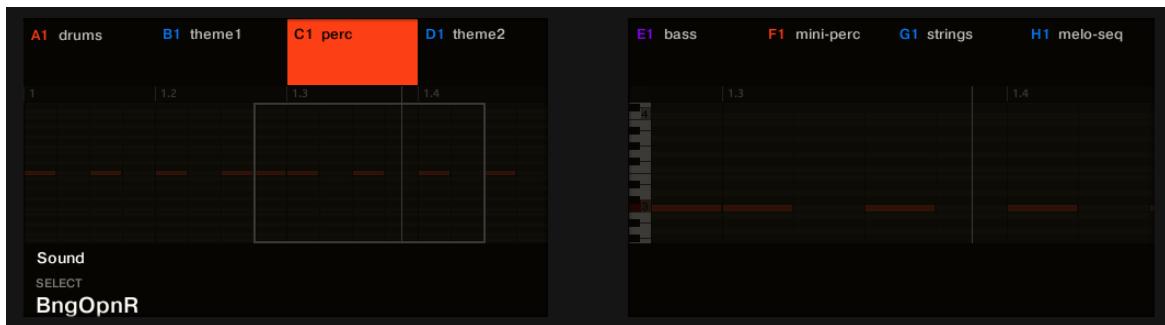
KOMPLETE KONTROL キーボードの MASCHINE 用パターンビューです。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
選択したシーンでパターンを選択、または新規パターンを作成する	ボタン 1-8
パターンで他のサウンドを選択する	ノブ 1

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
パターンの他のイベント（ノート）を選択する	4-D エンコーダーを回します。
選択したイベントを上下に移動する	4-D エンコーダーを上下に押す
選択したイベントを上下にオクターブ移動する	SHIFT + 4-D エンコーダー上下を押します。
選択したイベントをナッジ移動する	4-D エンコーダー左右を押す
選択したイベントの長さを調整する	4-D エンコーダーを押したまま回します。
他のグループを選択する	4-D エンコーダーを左右に押す
パターンレンジスを等倍する	SHIFT + ボタン 3 (DOUBLE)
選択したパターンのコピーをインサートする	SHIFT + ボタン 4 (DUPLICATE)
空のパターンをインサートする	SHIFT + ボタン 5 (INSERT)
選択したパターンを削除する	SHIFT + ボタン 6 (DELETE)
パターンレンジスを調節する	ノブ 4
パターンビューをズームイン/アウトする	ノブ 5
ディスプレイで表示エリアを水平移動する	ノブ 6
パターンの現在表示しているエリアの外にノートがある場合、ディスプレイを垂直移動する	ノブ 7
パターン内容を削除する	CLEAR

TRACK ビュー（トラックビュー）

キーボードで **TRACK** を押したままにすると、画面にトラックビューが表示されます。トラックビューはすべてのビューで使用でき、素早くグループとサウンドを選択することができます。言い換えるとこの機能はショートカット機能としての使用に対応します。**TRACK** ボタンを押している間トラックビューを使用することができます。



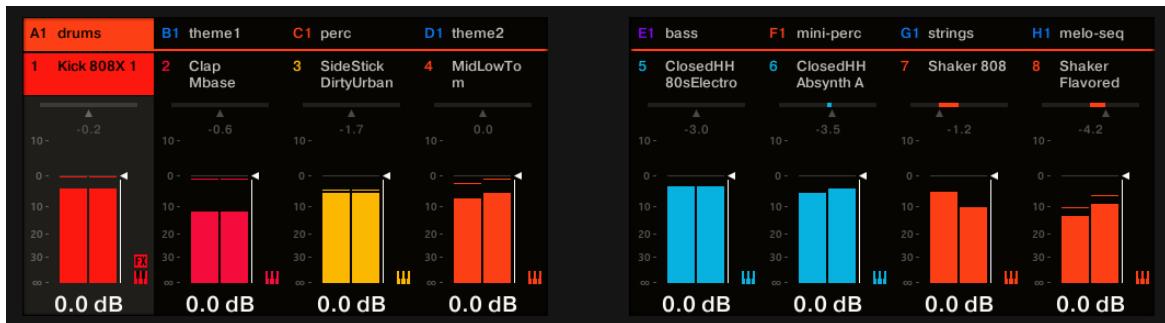
KOMPLETE KONTROL S-シリーズキーボードの トラックビューです。

トラックビューでは以下の操作を行うことができます。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
他のグループにジャンプする	TRACK + ボタン 1-8
グループ内の他のサウンドを選択する	TRACK + ノブ 1-8
前後するシーンのグループを選択する	TRACK + 4-D エンコーダーを左右に押す
選択したグループの他のサウンドをブラウズ/選択する	TRACK + 4-D エンコーダーを回す
選択したグループを削除する	CLEAR

Mix Mode

キーボードで **MIXER** を押すとディスプレイに Mix モードが表示されます。Mix モードはサウンドとグループを備えた 16 のチャンネルトリップを表示します。続く 8 個のサウンドはページボタンを押すことで表示させます。



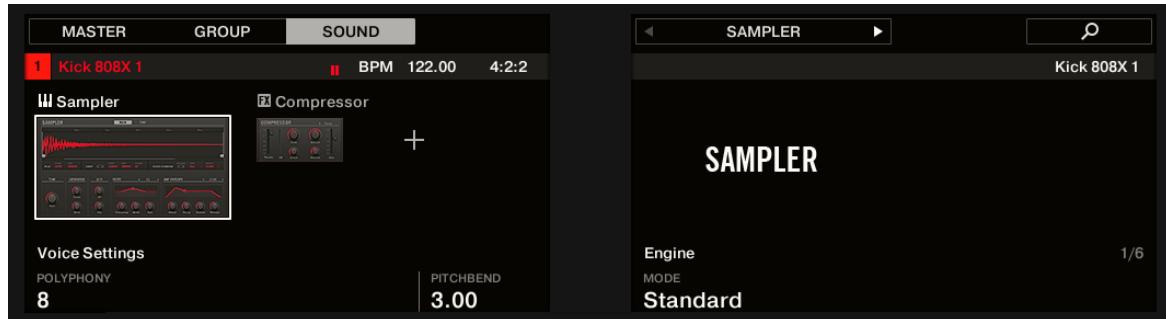
KOMPLETE KONTROL キーボードのミックスモードです。

ミックスモードでは以下の操作を行うことができます。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
ノブ 1-8 用ポリューム、パン切り替え	4-D エンコーダーを押す
ボタン 1-8 をグループモード用コントロールに設定する	4-D エンコーダー上を押す
ボタン 1-8 をサウンドモード用コントロールに設定する	4-D エンコーダー下を押す
グループモードで他のグループに移動する	ボタン 1-8
サウンドモードで他のサウンドに移動する	ボタン 1-8
各グループ/サウンドのアウトプットポリュームを大きく調節する	ノブ 1-8
各グループ/サウンドのアウトプットポリュームを詳細調節する	SHIFT + ノブ 1-8
前後するサウンド、またはグループを選択する	4-D エンコーダーを左右に押す
選択したグループ/サウンドのアウトプットポリュームを大きく調節する	4-D エンコーダーを回します。
選択したグループ/サウンドのアウトプットポリュームを詳細調節する	SHIFT + 4-D エンコーダーを回す

プラグインビュー

キーボードで **PLUG-IN** を押すとディスプレイにプラグインビューが表示されます。ページボタンでキーボードからプラグインを操作できるコントロールを備えた各ページにアクセスします。



KOMPLETE KONTROL キーボードのプラグインビューです。

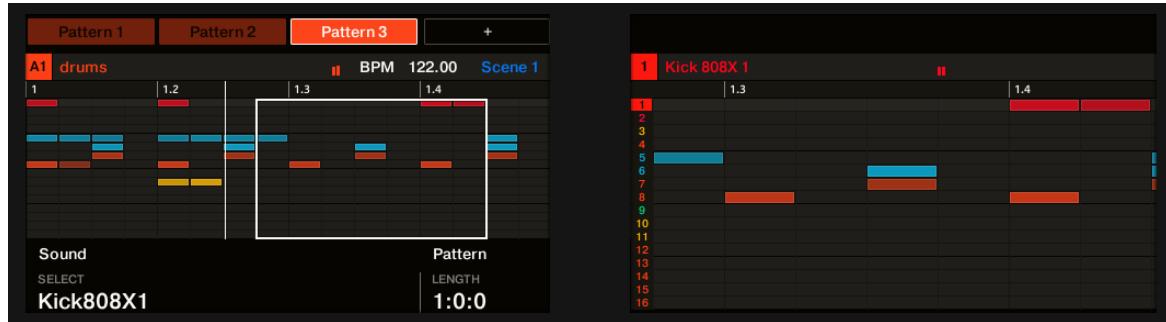
プラグインビューでは以下の操作を行うことができます。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
MASTER チャンネルを選択する	ボタン 1 (MASTER)
GROUP チャンネルの選択	ボタン 2 (GROUP)
SOUND チャンネルの選択	ボタン 3 (SOUND)
プラグインチェーンまたはプラグインブラウザの前後する プラグインを選択する	ボタン 5 と 6
選択したプラグインのプリセットファイルを素早くブラウ ズする	Button 8
クリックブラウズ機能内でプリセットファイルを選択する	4-D エンコーダーを押す
前後するパラメーターページを選択する	左右ページ切り替え
パラメーターの調節	ノブ 1-8
プラグインチェーンの他のプラグインを選択する	4-D エンコーダー左右を押す
プラグインブラウザを開く	4-D エンコーダーを押す
プラグインの選択	4-D エンコーダーを回します。

MASCHINE に対する操作内容	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
プラグインを挿入	4-D エンコーダーを押す
プラグインチェーンからプラグインを削除する	CLEAR

Key Mode

キーボードで **KEY MODE** を押すと画面にキーモードが表示されます。キーモードを起動すると、キーベッドと Light Guide が MASCHINE コントローラーの PAD の性質と色に対応します。



KOMPLETE KONTROL S-シリーズキーボードのキーモードです。

9.2 Apple Logic Pro X と GarageBand との連携

Apple Logic Pro X または GarageBand を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードからこれらの多くの機能をハードウェアから直接操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Apple Logic Pro X、GarageBand のホスト統合に関しては [↑3.3.1, Apple Logic Pro X と GarageBand の設定](#) を参照してください。

Transport Control

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (Restart)
再生の再開	SHIFT + PLAY (Restart)

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
録音を開始します。	REC (Count-In)
録音時のパンチアウト	PLAY (Restart)
再生時のパンチイン	REC (Count-In)
現在の位置で再生/録音を停止	STOP
停止時に再生ヘッドを曲の先頭に戻す	STOP
再生ヘッドのスクロール	4-D エンコーダーを回します。
カウントインの起動/起動解除	SHIFT + REC (Count-In)
メトロノームの起動、起動解除	METRO
ループモードの起動、起動解除	LOOP
指定した長さによるループの移動	LOOP + 4-D エンコーダーを回す
タップテンポ	TEMPO

エディットコントロール

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
アンドゥー操作	UNDO (Redo)
リドゥー操作	SHIFT + UNDO (Redo)
グリッド値に合わせてクオンタイズする	QUANTIZE
Read モードと Touch モードをオートメーションで切り替える	AUTO
Scale エンジンを起動/起動解除する	SCALE (Edit)
Scale エンジンパラメーターの切り替え	SHIFT + SCALE (Edit)
アルペジエーターを起動/起動解除する	ARP (Edit)

ミュートとソロ

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
選択したトラックをミュート/ミュート解除する	M
選択したトラックをソロ/ソロ解除する	S

トラックナビゲーション

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
前後トラックの選択	4-D エンコーダー左右を押す
前後リージョンの選択	4-D エンコーダー上下を押す

ミキサーコントロール

Logic Pro X と GarageBand での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
トラックのミュート/ミュート解除	M + ボタン 1-8
トラックのソロ/ソロ解除	S + ボタン 1-8
トラックへのジャンプ	ボタン 1-8
パンクの切り替え	左右ページ切り替え
パノラマコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー上を押す
ボリュームコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー下を押す
前のトラックを選択する	4-D エンコーダー左を押す
後のトラックを選択する	4-D エンコーダー右を押す
選択したトラックのパノラマ/ボリュームを大きく設定する	ノブ 1-8
選択したトラックのパノラマ/ボリュームを詳細設定する	SHIFT + ノブ 1-8

9.3 Ableton Link との連携

Ableton Live を使用している場合は、KOMPLETE KONTROL キーボードから直接各機能を操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Ableton Live のホスト統合に関しては [↑3.3.3, Ableton Live の設定 \(macOS\)](#) と [↑3.3.4, Ableton Live の設定 \(Windows\)](#) を参照してください。



以下の機能解説はデフォルトの Ableton Live 設定に基づいて進めています。例えば異なる再生設定を用いている場合、各機能は選択した設定内容を踏まえます。

Transport Control

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (Restart)
録音を開始します。	REC (Count-In)
再生/録音の再開	PLAY (Restart)
現在の位置で再生/録音を停止	STOP
停止時に再生ヘッドを曲の先頭に戻す	STOP
アレンジャーでの録音開始	SHIFT + REC (Count-In)
再生ヘッドのスクロール	4-D エンコーダーを回します。
ループモードの起動、起動解除	LOOP
メトロノームの起動、起動解除	METRO
タップテンポ	TEMPO

エディットコントロール

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
アンドゥー操作	UNDO (Redo)
リドゥー操作	SHIFT + UNDO (Redo)

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
グリッド値に合わせてクオントライズする	QUANTIZE
選択しているトラックのオートメーションの起動/起動解除	AUTO
Scale エンジンを起動/起動解除する	SCALE (Edit)
Scale エンジンパラメーターの切り替え	SHIFT + SCALE (Edit)
アルペジエーターを起動/起動解除する	ARP (Edit)
各アルペジエーターパラメーターの変更	SHIFT + ARP (Edit)

アレンジャーコントロール

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
前後トラックの選択	4-D エンコーダー左右を押す
トラックの前後クリップスロットの選択	4-D エンコーダーを上下に動かす
選択したクリップの再生/停止	4-D エンコーダーを押す
選択したトラックをミュート/ミュート解除する	M
選択したトラックをソロ/ソロ解除する	S

ミキサーコントロール

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
チャンネルのミュート/ミュート解除	M + ボタン 1-8
ソロ/ソロ解除チャンネル	S + ボタン 1-8
トラックへのジャンプ	ボタン 1-8
前後トラックの選択	4-D エンコーダー左右を押す
パンクの切り替え	左右ページ切り替え
パノラマコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー上を押す
ボリュームコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー下を押す

Ableton Live での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
マスターアウトプットポリュームチャンネルの表示	SHIFT + ページ左/ページ右ボタン
選択したトラックのパノラマ/ポリュームを大きく設定する	ノブ 1-8
選択したトラックのパノラマ/ポリュームを詳細設定する	SHIFT + ノブ 1-8

9.4 Steinberg Cubase/Nuendo サポート

Steinberg Cubase または Nuendo を使用する際、KOMPLETE KONTROL キーボードからこれらの多くの機能を直接操作することができます。キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

Cubase/Nuendo のホスト統合に関しては [↑3.3.2, Steinberg Cubase / Nuendo 設定](#) を参照してください。

Transport Control

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
再生開始	PLAY (Restart)
録音を開始します。	REC (Count-In)
録音時のパンチアウト	PLAY (Restart)
再生時のパンチイン	REC (Count-In)
現在の位置で再生/録音を停止	STOP
停止時に再生ヘッドを曲の先頭に戻す	STOP
再生ヘッドのスクロール	4-D エンコーダーを回します。
カウントインの起動/起動解除	SHIFT + REC (Count-In)
メトロノームの起動、起動解除	METRO
ループモードの起動、起動解除	LOOP
指定した長さによるループの移動	LOOP + 4-D エンコーダーを回す
タップテンポ	TEMPO

編集

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
アンドゥー操作	UNDO (Redo)
リドゥー操作	SHIFT + UNDO (Redo)
グリッド値に合わせてクオンタイズする	QUANTIZE
オートメーションの起動/起動解除	AUTO
Scale エンジンを起動/起動解除する	SCALE (Edit)
Scale エンジンパラメーターの編集	SHIFT + SCALE (Edit)
アルペジエーターを起動/起動解除する	ARP (Edit)
アルペジエーターパラメーターの編集	SHIFT + ARP (Edit)

ミュートとソロ

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
選択したトラックをミュート/ミュート解除する	M
選択したトラックをソロ/ソロ解除する	S

トラックナビゲーション

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
前後トラックの選択	4-D エンコーダー上下を押す
前後リージョンの選択	4-D エンコーダー左右を押す

ミキサーコントロール

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
トラックのミュート/ミュート解除	M + ボタン 1-8
トラックのソロ/ソロ解除	S + ボタン 1-8

Cubase/Nuendo での動作	KOMPLETE KONTROL S-シリーズのボタン
トラックへのジャンプ	ボタン 1-8
前後トラックの選択	4-D エンコーダー左右を押す
バンクの切り替え	左右ページ切り替え
パノラマコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー上を押す
ボリュームコントロール用にノブ 1-8 を設定する	SHIFT + 4-D エンコーダー下を押す
選択したトラックのパノラマ/ボリュームを大きく設定する	ノブ 1-8
選択したトラックのパノラマ/ボリュームを詳細設定する	SHIFT + ノブ 1-8

10 ライブラリのブラウズ

ブラウザで KOMPLETE KONTROL ライブラリにアクセス、内包するインストゥルメントとエフェクトにアクセスします。 Instrument と Effect プリセットファイルの検索、絞込み検索、ロード、または KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでは各プリセットファイルを Favorites として登録でき、 KOMPLETE KONTROL キーボードを用いることでもブラウザにアクセスすることができます。 この方法でハードウェアのみを用いてプリセットファイルをブラウズできるようになります。

KOMPLETE KONTROL でプリセットファイルとタグを保存することもでき、ユーザーコンテンツを自分用にカスタマイズ、自身のサウンドライブラリを作成することができます。 追加項目は自動的に KOMPLETE KONTROL ライブラリペインのユーザーセクションに追加されます。 タグの追加と編集はソフトウェアのみで使用できます。 詳細はセクション [↑12.1, ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する](#)、[↑12.3, ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する](#) を参照してください。

Instruments または Effects をブラウズする代わりに Products をブラウズする

Instruments と Effects に対する方法と同じなので、このセクションでは各プロダクトタイプを Products と呼びます。 ブラウザはプラグインチェーンで選択した内容に合わせて自動的にプロダクトタイプを Instrument または Effect に切り替えます。 Product Types の情報と各 Product Types の切り替えに関しては [↑10.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。

ブラウザ各部の詳細は [↑4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

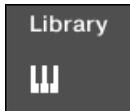
10.1 ブラウザの基本

このセクションではブラウザの基本的な内容を解説します。

10.1.1 Product Types: Instrument と Effect

ライブラリにはインストゥルメントとエフェクトを備えていますが同時にこれら 2 種類の Product Types をブラウズすることはできません。 ブラウザのプロダクトタイプで選択したプラグインスロットによって「Instrument」、「Effect」に切り変わります。

- KOMPLETE KONTROL を起動、またはプラグインチェーンの最初のプラグインスロットの Product Type は「Instrument」となり、ブラウザの該当するアイコンも反応します。



- それ以降のプラグインスロットを選択すると、Product Type は「Effect」となり、この場合もブラウザの該当するアイコンが反応します。



プラグインチェーンとその使用方法に関しては [↑4.5, プラグインチェーンパネル](#) と [↑11, エフェクトの使用方法](#) を参照してください。

10.1.2 ライブラリとメタインフォメーションについて

プリセットファイル の管理、検索、場所の特定、ロード等の KOMPLETE KONTROL プリセットファイルに関する項目を **ライブラリ** でこなします。ライブラリは KOMPLETE インストゥルメントのファクトリー・コンテンツと NKS インストゥルメント、エフェクト、ユーザー・コンテンツを含んでいます。

タグ

迅速、かつ効率よく正確にプリセットファイル 検索を行うには、通常のオペレーションシステムのフォルダ構造の上を行くシステムであるタグを駆使する必要があります。例えばライブラリ に含まれる各プリセットファイルは以下の特徴を踏まえたタグ情報を含んでいます。

- プリセットファイルのコンテンツタイプ、プロダクトのファクトリー・ライブラリ内にあるのか、ユーザーによって作成されたものか、といった内容による分類です。
- プリセットファイルが含まれている **Product** — この分類では製品カテゴリー、特定の製品、製品のバンクによって分類されます。
- 各プリセットファイルの特徴で分類するにはタグが用いられ、例えばエフェクトの種類、音声の特徴、使用コンテンツ等でファイルを分類します。

ライブラリに含まれるプリセットファイルについて

ライブラリに含まれるプリセットファイルは、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにリスト表示されるフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL 関連ファイルとなります。

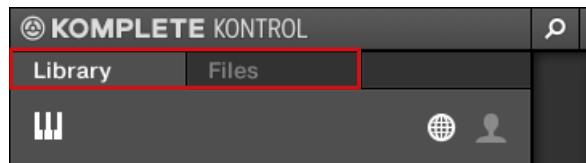
KOMPLETE KONTROL で作成したサウンドは [Library pane](#) のユーザー・コンテンツ・セクションに保存することができます。

10.1.3 ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧

更にブラウザでは KOMPLETE KONTROL ライブラリをブラウズする他にも一般的な方法でファイルシステム内を閲覧することもできます。各方法でブラウザでは各ツールを備えた専用ペインを用意しています。

- [Library](#) ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリ内をブラウズします。この検索方法で、音楽の用途に合わせてファイルを検索することができます。このペインでプリセットファイルに自由にタグ付けすることができます。
- [files](#) ペインでオペレーションシステムの階層構造を用いてハードディスク内をブラウズすることができます。例えばこのブラウズ方法で KOMPLETE KONTROL ライブラリにインポートしていない KOMPLETE KONTROL 関連ファイルを検索し、インポートすることができます。

ブラウザ上部の対応するタブをクリックして [Library](#) ペインと [Files](#) ペインにアクセスすることができます。



任意のタブをクリックしてブラウザの対応するペインを表示します。

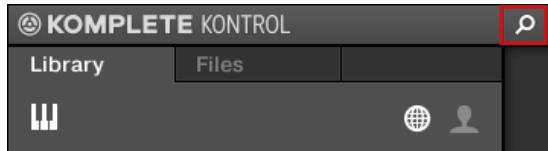


KOMPLETE KONTROL キーボードを使用してファイルシステムからファイルをブラウズ、ロードすることはできません。キーボードのブラウザからはライブラリにすでに追加してあるファイルのみをロードすることができます。新規ファイルはソフトウェアブラウザを用いて常にライブラリにタグとともにインポートする習慣をつけることを推奨します。

10.2 ブラウザを開く

ブラウザを開く方法は以下となります。

- ▶ ヘッダのブラウザボタン (虫眼鏡のシンボル) をクリックすると、ブラウザを表示、または閉じることができます。



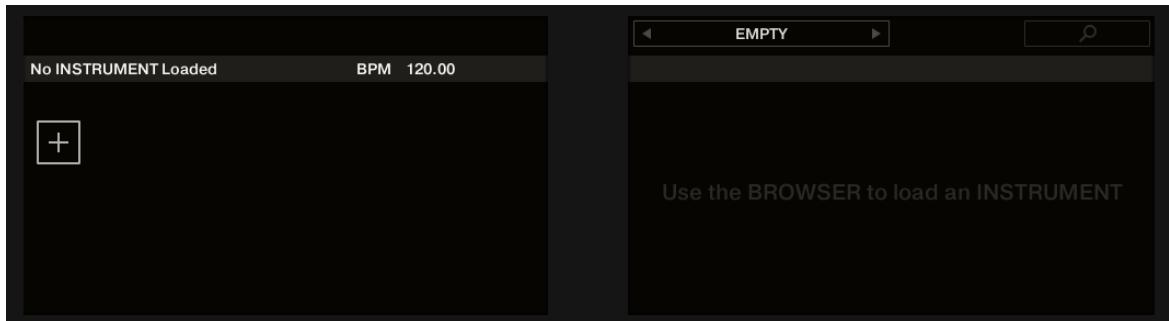
KOMPLETE KONTROL メニューで *View > Browser* と選択することでブラウザを開くこともできます。



スタンダードモードでは、[B] キーを使用して、コンピューターのキーボードからブラウザを表示/非表示することができます。

キーボードでブラウザを呼び出す

プラグインチェーンに何もない場合は、プラグインページでは **No INSTRUMENT Loaded** と表示されます。



No Instrument loaded と表示されます。

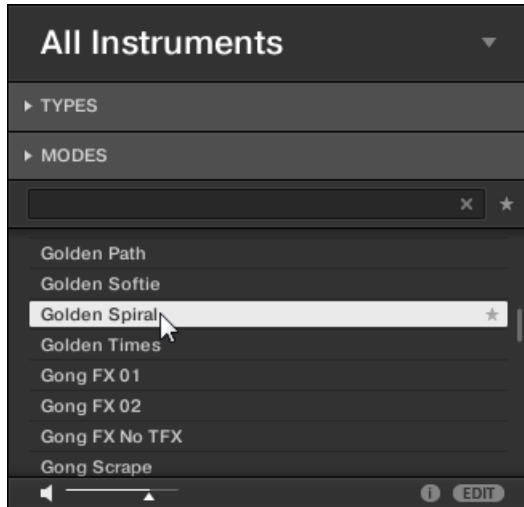
キーボードのディスプレイでブラウザを表示する方法は以下となります。

- ▶ **BROWSE** ボタンを押します。

10.3 プリセットファイルのロード

ブラウザからはリザルトリストのプリセットファイルをロードすることができます。プリセットファイルをロードする際、関連するプロダクトがプラグインエリアで自動的に開きます。

- ▶ プリセットファイルをロードするには、リザルトリストの任意のプリセットファイルをダブルクリックします。



→ プリセットファイルと関連するプロダクトがプラグインエリアで開きます。

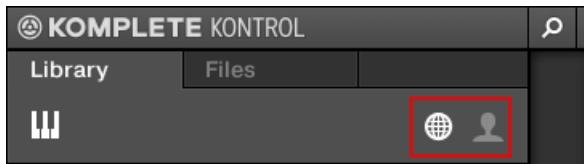
キーボードを使用してプリセットファイルをロードする

キーボードを使用してプリセットファイルをロードする

1. **BROWSER** ボタンをクリックしてブラウザを開きます。
 2. コントロールセクションのノブ 8 を回す、あるいは 4-D エンコーダーを回してリザルトリストでプリセットファイルを選択します。
 3. コントロールセクションのノブ 8 を押す(LOAD)、または 4-D エンコーダーを押すことで選択したプリセットファイルをロードします。
- プロダクトを含むプリセットファイルがロードされ、キーボードが **PLUG-IN** ページに切り替わり、コントロールセクションでプロダクトのパラメーターを表示するようになります。

10.4 ファクトリーコンテンツ、ユーザーコンテンツの選択

コンテンツセレクターには 2 つのアイコンがあり、左がファクトリーコンテンツ、右がユーザーコンテンツとなります。



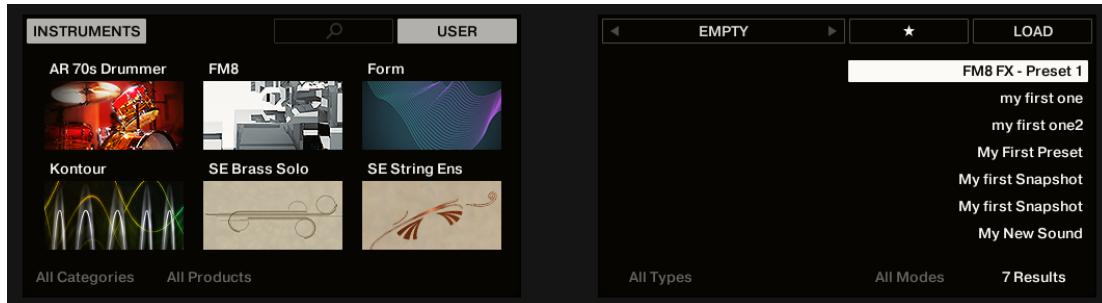
コンテンツセレクターです。

- ▶ NI アイコンをクリックしてファクトリーコンテンツ、ユーザーアイコンをクリックしてユーザーコンテンツを検索します。

キーボードでファクトリー、ユーザーコンテンツを選択する

キーボードでファクトリー/ユーザーコンテンツを選択する方法は以下です。

- ▶ ボタン 4 を押して Factory コンテンツ(USER オフ) と User コンテンツ(USER オン) を選択します。デフォルトではファクトリーコンテンツが選択されます。



キーボードでファクトリー、ユーザーコンテンツを選択する

キーボードでファクトリー/ユーザーコンテンツを選択する方法は以下です。

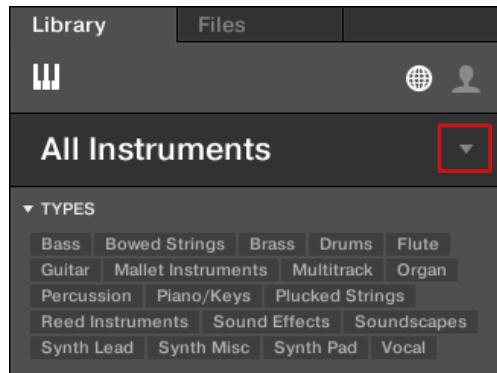
- ▶ Page Left (M) または Page Right (S) ボタンを押して FACTORY コンテンツと USER コンテンツを選択します。デフォルトでは FACTORY コンテンツが選択されます。

10.5 プロダクトによるプリセットファイルの絞り込み検索

プロダクトセレクターで特定のプロダクトに関連するプリセットファイルを絞り込みます。

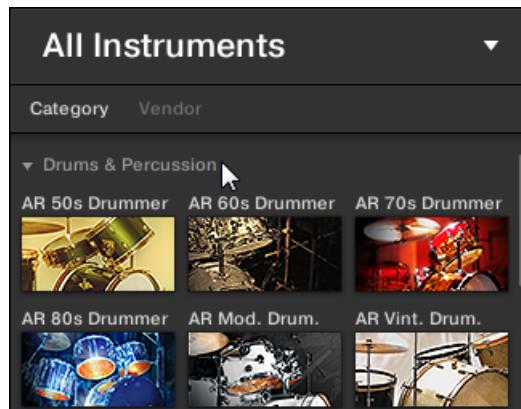
デフォルトでプロダクトセレクターへッダが [All Instruments](#) または [All Effects](#) を表示します。この状態ではまだ特定のプロダクトは選択されていません。リザルトリストで特定のプロダクトのプリセットファイルを絞り込むには、プロダクトセレクターでプロダクトを選択してください。

1. Product セレクターへッダの矢印をクリックします。

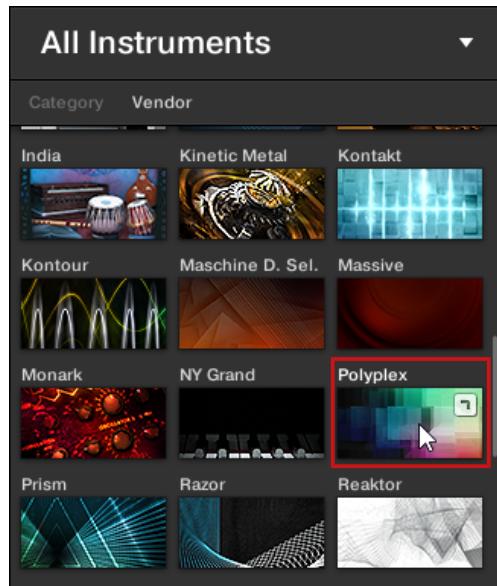


→ プロダクトセレクターが開き、KOMPLETE KONTROL ライブラリの全インストゥルメントとエフェクトのプロダクトリストを表示します。

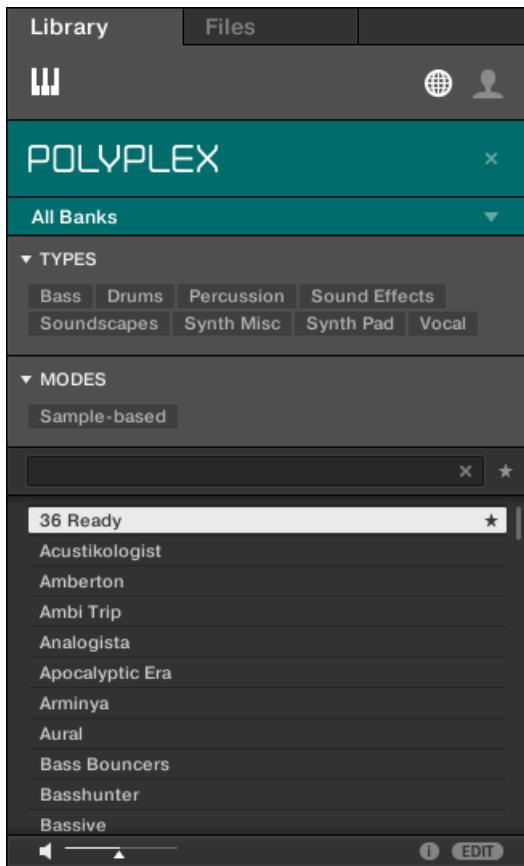
2. **Category / Vendor selector** で [Category](#) または [Vendor](#) を選択し、プロダクトを絞り込みます。
3. プロダクトグループをスクロールし、任意のプロダクトを見つけます。



4. プロダクト画像をクリックして選択します。



- プロダクトセレクターへッダが製品名称を表示します。これでリザルトリストで選択した製品に関連する全プリセットファイルを表示します。

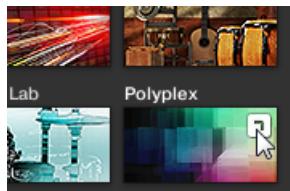


デフォルトプリセットファイルを備えたプロダクトをロードする

デフォルトプリセットファイルを含んだプロダクトがロードされます。

1. プロダクトセレクターでインストゥルメントエントリーにマウスカーソルを当てます。

- インストゥルメントエントリーの右上隅に現れる矢印をクリックします。

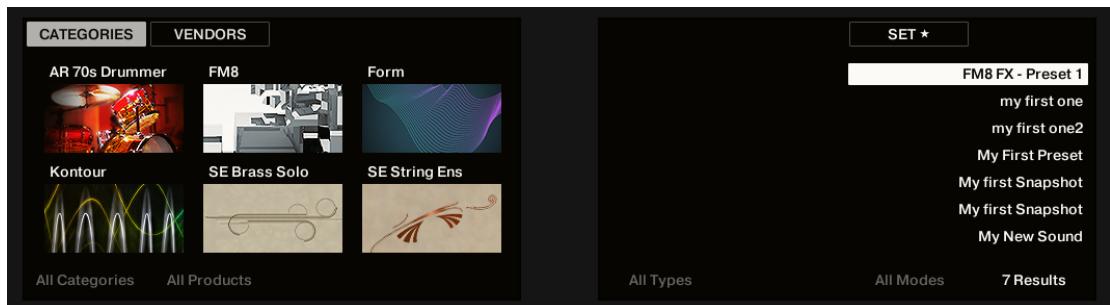


→ デフォルトプリセットファイルを備えたプロダクトをロードします。

キーボードを使用してプロダクトのプリセットファイルを絞り込む

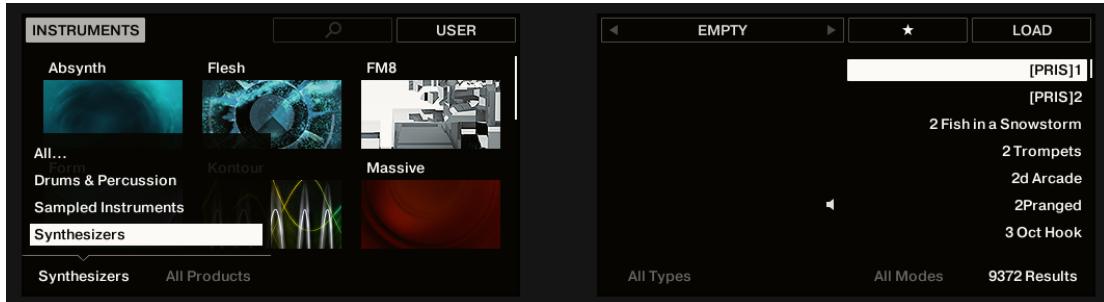
キーボードでプロダクトのプリセットファイルを絞り込む方法は以下となります。

- SHIFT を押したままにしてブラウザの二次機能にアクセスします。

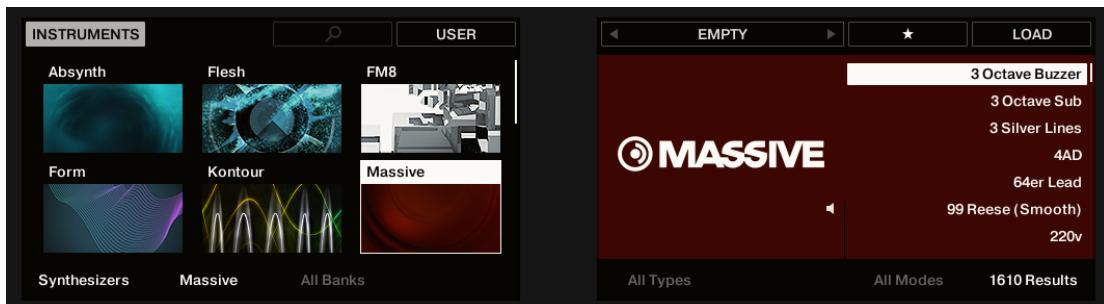


- SHIFT を押したままボタン 1 を押すことで CATEGORY でプロダクトリストを整理、またはボタン 2 を押すことで VENDOR によってプロダクトリストを整理します。デフォルトでプロダクトリストは全インストゥルメント/エフェクトを表示します。
- SHIFT を放します。

4. ノブ 1 を回して、カテゴリー、またはベンダーを選択します。



5. ノブ 2 を回してプロダクトリストをスクロール移動し、任意のインストゥルメントを検索します。

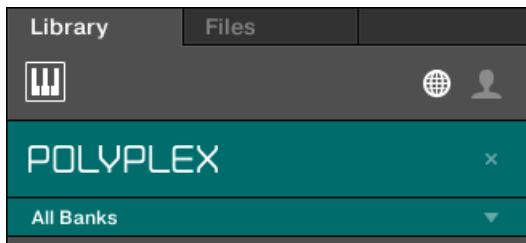


→ これでリストで選択内容に沿ったすべてのプリセットファイルをブラウズできるようになります。

10.6 バンクによるプリセットファイルのプロダクトの絞り込み検索

Banks には追加ライブラリ (EXPANSIONS 等)、オリジナルファクトリー・ライブラリの異なるバージョン、または特定のプロダクトのその他のコンテンツ等が含まれます。

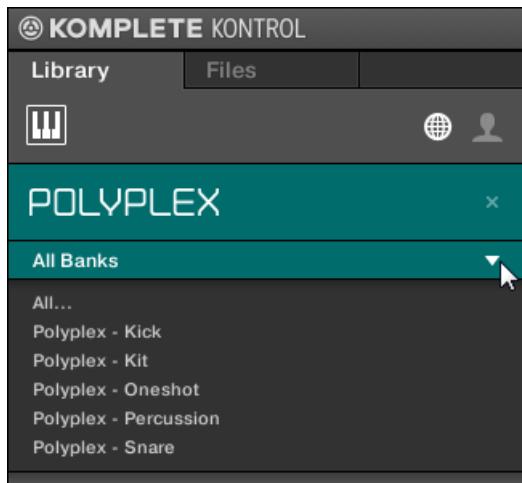
プロダクトリストで特定のプロダクトを選択すると、閉じられたプロダクトセレクターの下に **Bank** ドロップダウンメニュー が表示されます。このバンクドロップダウンメニューで選択したプロダクトのプリセットファイルの特定バンクを選択します。



Bank メニューで POLYPLEX 用の [All Banks](#) を表示しています。

選択したプロダクトのプリセットファイルの特定バンクを選択する方法は以下となります。

1. [Banks](#) メニューで矢印をクリックして開きます。
2. 各エントリーからバンクを選択します。



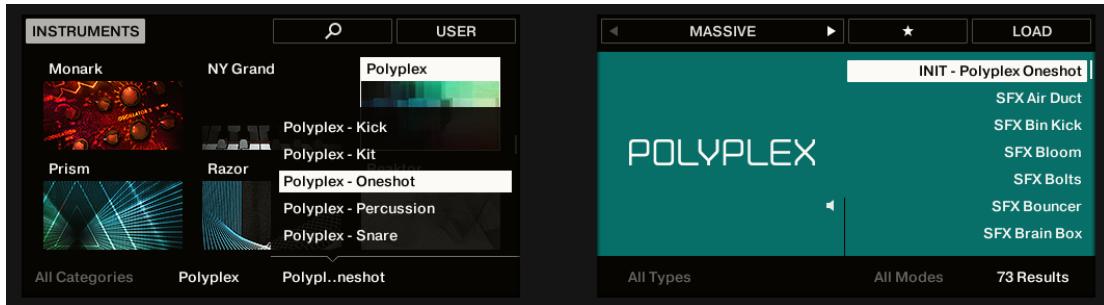
→ 選択すると [バンク](#) メニューが閉じ、選択したバンクが表示されます。 リザルトリストで更に内容を絞り込みます。

閉じたバンクメニューの小さな x をクリックして選択したバンクを削除することができます。

キーボードを使用してバンクの製品プリセットファイルを絞り込む

選択したプロダクトの特定プリセットファイルバンクを選択する方法は以下となります。

- ▶ ノブ 3 を回して、任意のプロダクトのバンクを選択してください。



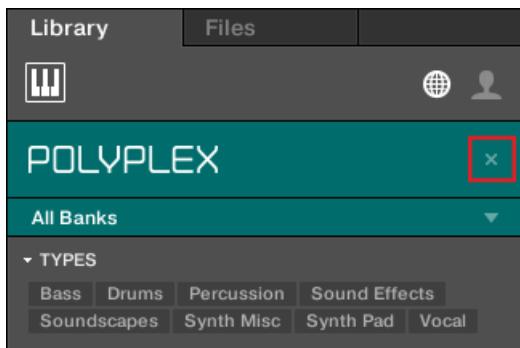
→ リザルトリストでは関連するプリセットファイルのみを表示します。

10.7 プロダクトセレクションのリセット

その他の製品を選択、または KOMPLETE KONTROL ライブラリ内の全製品用プリセットファイルを表示するには、選択内容をリセットする必要があります。

プロダクトセレクターでの選択内容をリセットする方法は以下です。

- ▶ プロダクト名称の右にある小さな x をクリックしてください。



→ ここでここまで選択内容がリセットされます。プロダクトセレクターは [All Instruments](#) または [All Effects](#) と表示されます。TYPES と MODES フィルターとプロダクトセレクターの下のリザルトリストは全インストゥルメントとエフェクト用プリセットファイルをすべて含むようになります。

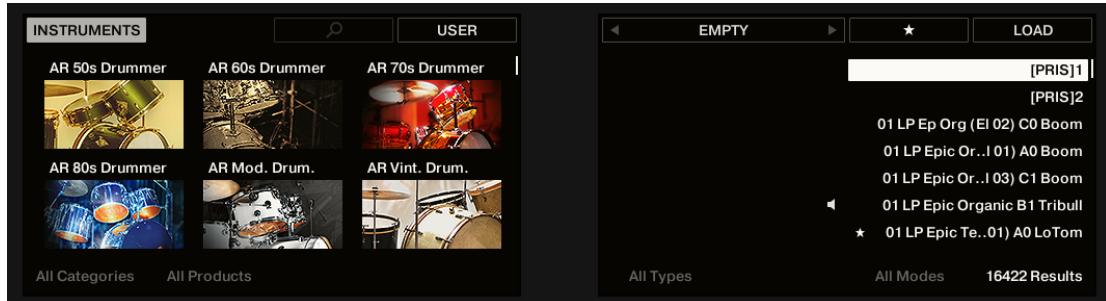


ライブラリ内に関連ファイルがある場合、プロダクトセレクターに製品が表示されます。特定のインストゥルメントが表示されない場合は、製品が正しくインストールされているか確認し、最新のバージョン内容にしておく必要があります。

キーボードでプロダクトセレクションをリセットする

プロダクトでの選択内容をリセットする方法は以下です。

- ▶ ディスプレイで **ALL PRODUCTS** と示すまでノブ 2 を反時計回りに回します。



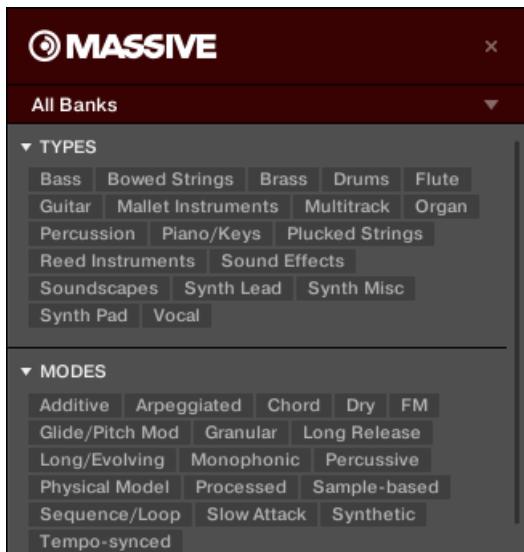
→ プロダクトでの選択内容がリセットされます。

10.8 Types と Modes タグフィルター



エフェクトに対して **MODES** タグフィルターはありません。

TYPES と **MODES** フィルターメニューはプロダクトセレクターの下に表示され、これらでサウンドの特性によってプリセットファイルを検索できます。**TYPES** と **MODES** タグフィルターは常に使う必要はありませんが、選択したプロダクト内容をさらに絞り込む場合に特に便利な機能となります。



MASSIVE 用 [TYPES](#) と [MODES](#) フィルターです。

タグフィルターで任意のタグを選択すると即座にタグによってプリセットファイルが絞り込まれます。検索内容を広範表示させるにはこれらのタグ選択を解除します。

TYPES

[TYPE](#) のタグは 2 つの階層構造（タグとサブタグ）を持っています。

- まず [TYPES](#) フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部のタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグを備えた下部階層が表示されます。
- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

MODES

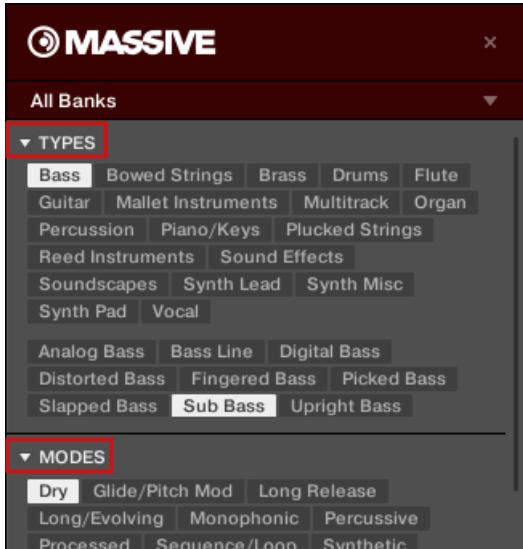
[MODES](#) フィルターには Type レベルとは独立した追加レベルを備えています。

- 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています(例、Arpeggiated、Percussive、Synthetic 等)。
- [MODES](#) フィルターは常に表示されます。[TYPES](#) フィルターを使用する前に [MODES](#) フィルター（あるいは [MODES](#) フィルターのみを用いて）を用いて検索を開始することができます。

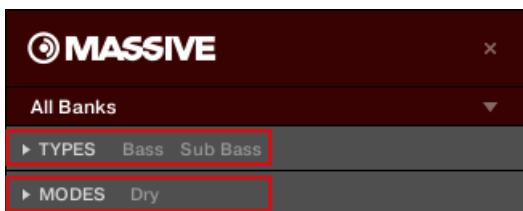
- MODES フィルター内の有効なタグのリストは TYPES フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。

TYPES または MODES フィルターでタグを何も選択しないと、リザルトリストでは選択したプロダクトの全タグに関連するファイルが全て表示されます。

Types と Modes フィルターメニューは矢印をクリックすることで最大化/縮小することができます。



最大化した TYPES と MODES タグフィルターメニューです。



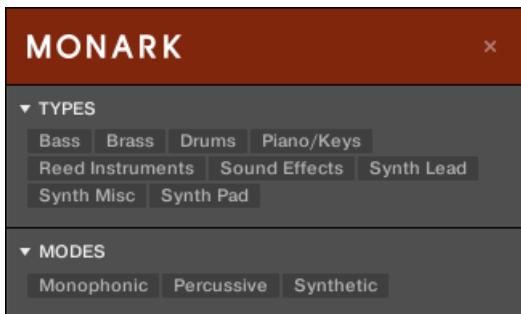
縮小した TYPES と MODES タグフィルターメニューです。

10.8.1 Types と Modes でプリセットファイルを絞り込む



エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

ここでは例として Types フィルターを用いて MONARK インストゥルメントからベースライン用プリセットファイルを絞り込んでみます。ここではプロダクトセレクターで MONARK インストゥルメントを選択してある前提で説明を進めます。現時点では TYPES フィルターは上層タグのみを表示しているはずです。



プロダクトセレクターで MONARK インストゥルメントが選択された状態です。

ベースサウンドを検索する方法は以下となります。

1. TYPES フィルターで Bass タグを選択します。

- 選択すると、タグの次の階層に [Analog Bass](#)、[Fingered Bass](#) 等があるサブタイプが表示されます。



2. ベースラインとして合いそうなサブタイプを選択します。ここでは [Distorted Bass](#) を選択することにし、これでベースのサブタイプによる絞り込み検索ができます。



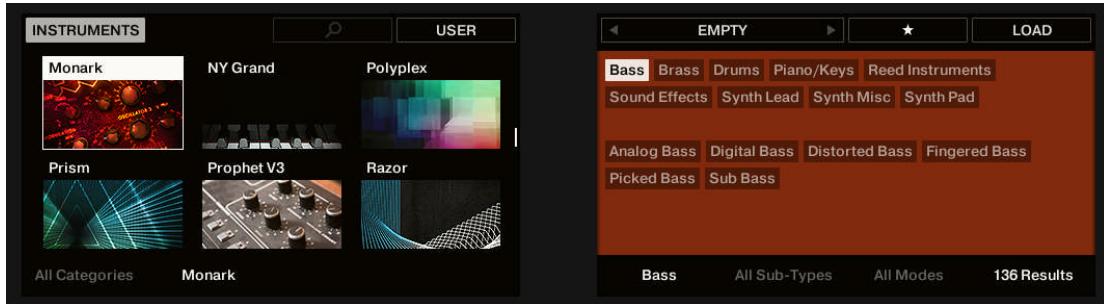
3. MODES フィルターで [Synthetic](#) タグを選択します。

→ Types と Modes フィルターによってリザルトリスト内容が絞り込まれます。

この方法で似たような特徴を持つインストゥルメントのプリセットファイルをいくつか候補として検索することができます。

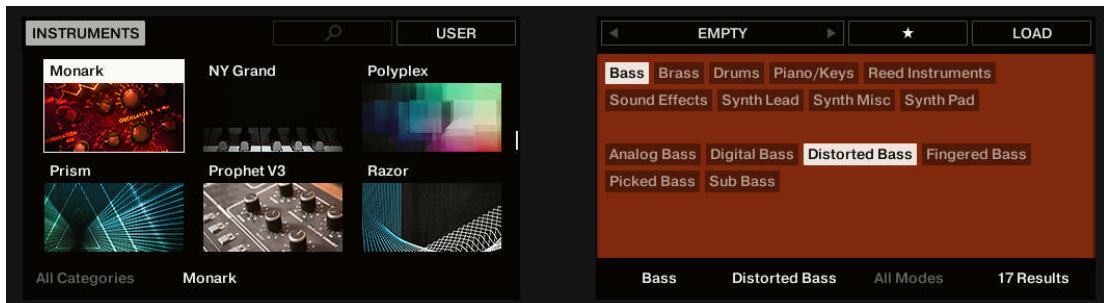
キーボードで Types と Modes を用いてプリセットファイルを絞り込む
ベースサウンドを検索する方法は以下となります。

- ノブ 5 (All Types) を回して Types フィルターから Bass タグを選択します。

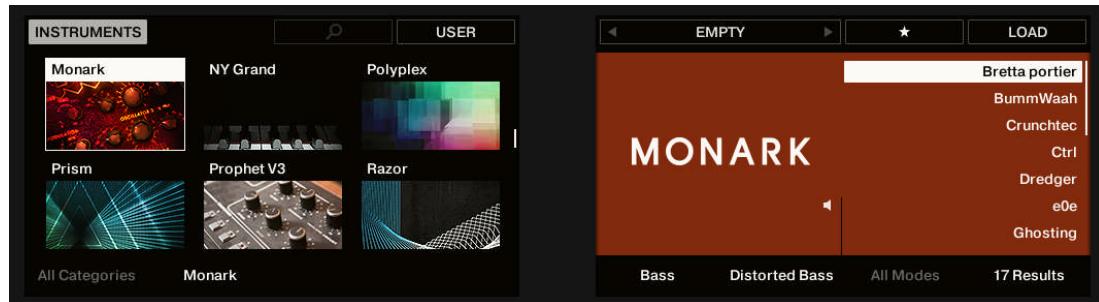


→ ノブ 6 の上に All Sub-Types と表示された 2 次階層が表示されます。

- ノブ 6 を回し、ベースラインとして合いそうなサブタイプ、Distorted Bass を選択します。



→ Types と Modes フィルターによってリザルトリスト内容が絞り込まれます。



10.8.2 同じレベルで複数のタグを選択する



エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

TYPES と MODES フィルターのどちらでも同じレベルで **複数のタグ** を選択することができます。

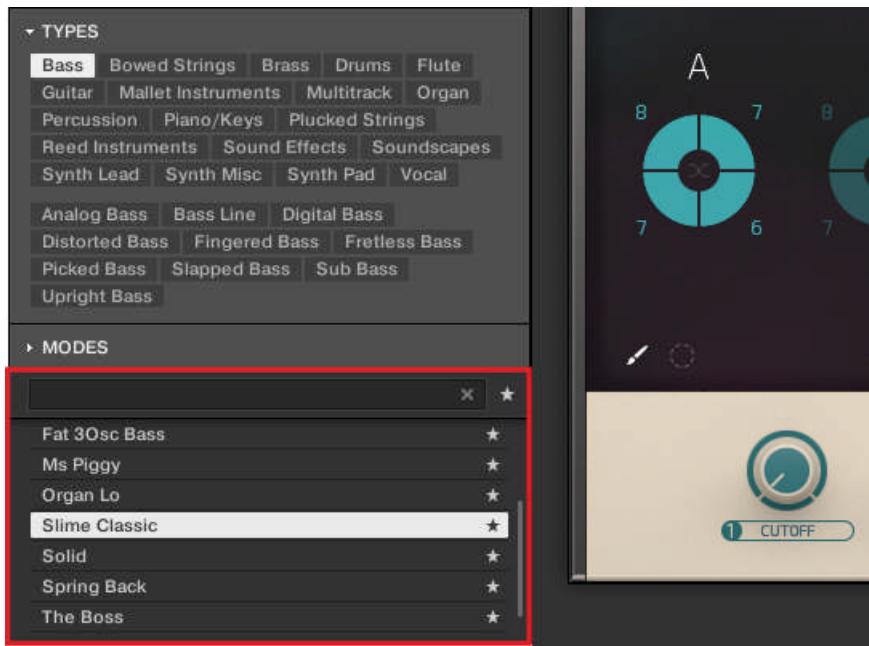
1. コンピューターーキーボードの [Shift] を押したままクリックすることで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。
2. コンピューターーキーボードの [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS) を押しながら同一レベルのタグをクリックすることで各タグを選択することができます。
→ Result リストにはタグ選択内容に関連する全ファイルが表示されます。



キーボードを用いて同じレベルにある複数のタグを選択することはできません。ソフトウェアで複数のタグを選択した場合は、キーボードのディスプレイは (multi) と表示されます。

10.9 お気に入りの活用 (Favorites)

KOMPLETE KONTROL ブラウザの Favorites で自分が頻繁に使用、お気に入りとして登録しているインストゥルメントプリセットファイルをすばやく閲覧、ロードすることができます。Favorite に登録するプリセットファイルは自由に選ぶことができます。Favorites は Library ペインの追加フィルターとして機能します。この機能を起動すると、リザルトリストでは Favorite 内の検索内容に見合うプリセットファイルを表示します。



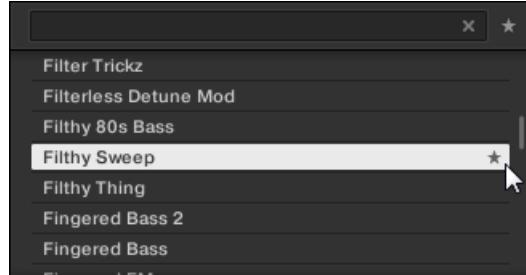
KOMPLETE KONTROL ブラウザで Type Bass のタグが付いた全 Favorites を表示しています。

10.9.1 Favorites にプリセットファイルを追加する

Favorites にプリセットファイルを追加する方法は以下となります。

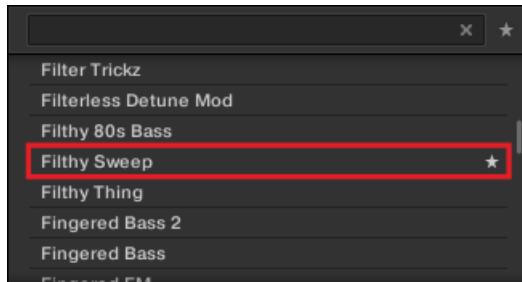
1. リザルトリストの選択、または選択していないエントリーにマウスカーソルを当てます。

→ エントリーがハイライト表示され、右にお気に入りアイコンが表示されます。



2. Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites に該当するプリセットファイルを追加します。

- プリセットファイルが Favorites に追加されると、名称横に Set Favorite アイコンが表示されるようになります。

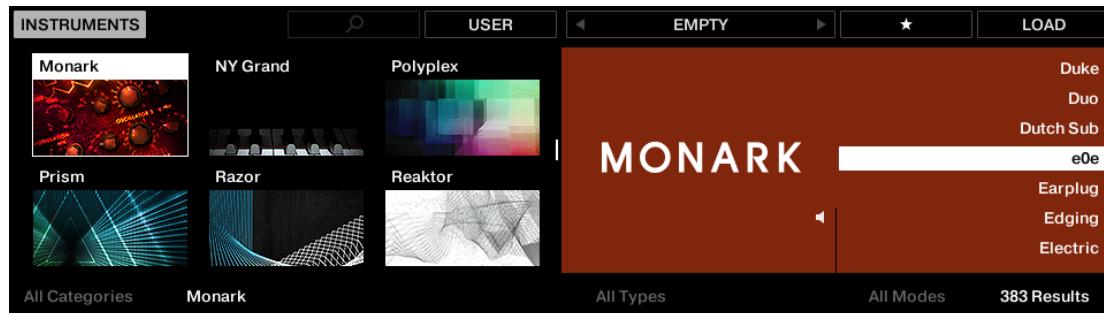


選択している、していないに関わらず、Favorites に追加するリザルトリストのプリセットファイルを任意に選択することができます。

キーボードで Favorites にプリセットファイルを追加する

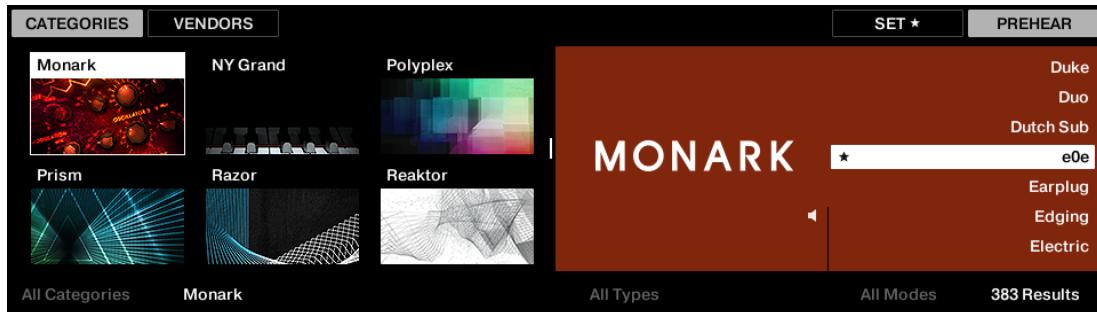
キーボードで Favorites にプリセットファイルを追加する方法は以下となります。

1. ノブ 8 を回してリザルトリストのお気に入りに追加したいプリセットファイルを選択します。



2. SHIFT を押したままにして二次機能にアクセスします。
3. SHIFT を押しながらボタン 7 を押します。

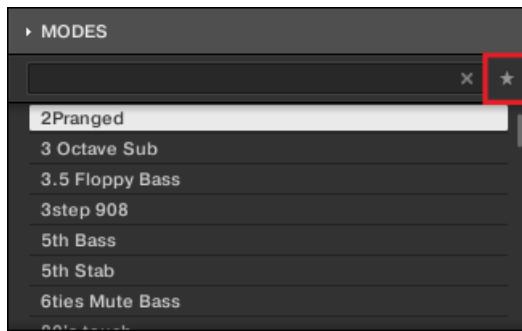
- プリセットファイルが Favorites に追加されると、名称横に Set Favorite アイコンが表示されるようになります。



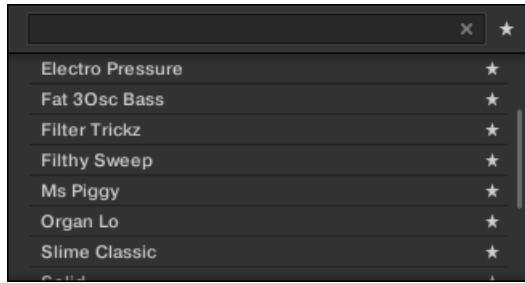
10.9.2 リザルトリストでお気に入りを表示する

Favorites フィルターを起動する方法は以下です。

- ▶ 検索フィールドの隣にある Favorites アイコンをクリックして Favorites 内のプリセットを表示します。



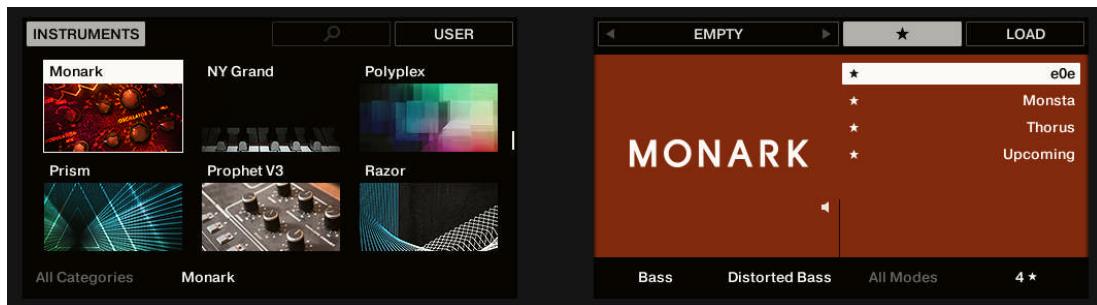
- Favorites アイコンが点灯し、リザルトリストでお気に入りとして追加した全プリセットファイルを表示します。



キーボードでリザルトリストにすべてのお気に入りを表示する

キーボードでリザルトリストにすべてのお気に入りを表示する方法は以下となります。

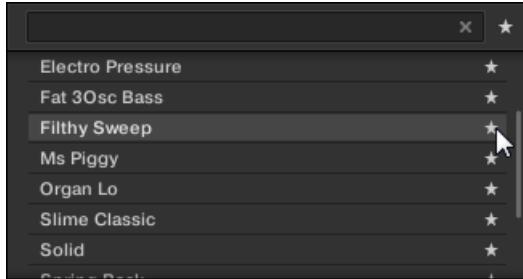
- ▶ ボタン 7 を押します。
- Favorites アイコンがディスプレイでハイライト表示され、リザルトリストでお気に入りとして追加した全プリセットファイルを表示します。



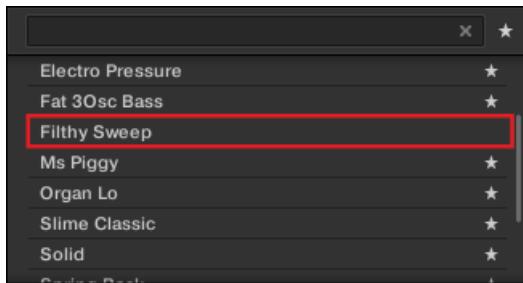
10.9.3 Favorites からプリセットファイルを削除する

Favorites からプリセットファイルを削除する方法は以下となります。

- ▶ 点灯している Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites から削除対称となるプリセットファイルを追加します。



- プリセットファイルが Favorites から削除されると、Set Favorite アイコンが消えます。次回 Favorites フィルターを選択すると、リザルトリストにこのプリセットファイルが表示されなくなります。



リザルトリストを Favorites でフィルターしていない場合は、Favorites からプリセットファイルを削除することができます。

キーボードで Favorites からプリセットファイルを削除する

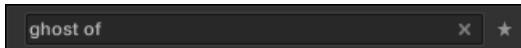
キーボードで Favorites からプリセットファイルを削除する方法は以下となります。

1. お気に入りプリセットファイルの選択
2. ボタン 7 をクリックし、Favorites からプリセットファイルを削除します。

- プリセットファイルが Favorites から削除されると、Set Favorite アイコンが消えます。

10.10 テキスト検索の方法

サーチ フィールドに検索内容を入力します。検索対象はプリセットファイル名称、インストゥルメント、バンク、タイプ、モードタグ等で、文字入力に対して全プロパティーで検索が実行されます。



サーチフィールドです。

1. サーチフィールドをクリックします。
2. 任意のテキストを入力することでこのテキストを含んだファイルが絞り込み検索されます。
→ 入力を始めるとすぐに、下のリザルトリストで絞り込み表示が始まります。

Types と Mode タグを活用してさらに絞り込み検索を行うことができます。

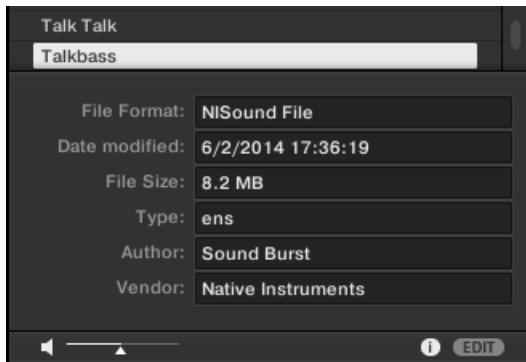
文字検索とタグ検索の両方をリセットするには、サーチフィールドの右にある **Reset button** (小さな x です) を使用します。このリセットではインストゥルメントの選択内容に影響はありません。

10.11 プリセットファイル情報の表示

- ▶ コントロールバーの右の **EDIT** ボタンの隣にある **Info** ボタン (小さな「i」です) を押してリザルトリストで選択したファイルの情報を表示します。



- 選択したファイルの各情報を示すボックスが表示されます。その内容は [File Format](#)、[Date modified](#)、[File Size](#)、[Type](#)、[Author](#)、[Manufacturer](#) プロパティーとなります。



情報ボックスには選択したファイルの各情報が表示されます。

選択したファイルに異なる特徴がある場合は、情報ボックスの該当表示部分が [multi](#) と表記されます。

10.12 プリセットファイルのオーディション (Prehear)

プリセットファイルはブラウザ下部にある試聴機能を使ってオーディションを行うことができます。この機能を用いるには試聴機能を起動する必要があります。



Prehear コントロールです。

1. 試聴ボタン（小さなスピーカーアイコンです）を押して試聴機能を有効/無効にします。
→ Prehear を有効にすると、[Library](#) ペイン、または [Files](#) ペインのリザルトリストで選択したイ
プリセットファイルを試聴できるようになります。
2. Prehear ボタンの隣の Prehear Volume スライダーをドラッグして試聴プリセットファイルの音量を
調節します。
3. リザルトリストでエントリーをクリックします。



試聴機能による音声を確認できる状態にするには、KOMPLETE KONTROL の環境設定 (Preferences) でオ
ーディオインターフェイスを設定する必要があります。

キーボードでプリセットファイルをオーディションする (Prehear)

キーボードで試聴機能を起動/起動解除することもできます。

1. **SHIFT** を押したままにします。

2. ボタン 8 (PREHEAR) を押して Prehear 機能を起動/起動解除します。
3. **SHIFT** を放します。
4. ノブ 8 を回してリザルトリストで他のプリセットファイルを選択します。
→ このプリセットファイルを選択すると、以前のプリセットファイルに変わってこのプリセットファイルが再生されます。

Prehear を起動解除すると、試聴中のプリセットファイルの再生が止みます。

11 エフェクトの使用方法

このセクションではプラグインチェーンにエフェクトを追加する方法とプラグインチェーンで管理する方法について解説します。このセクションはブラウザの使用方法とインストゥルメントのロード方法について理解していることを前提に解説を進めます。

ブラウザの使用方法に関しては [↑10, ライブラリのブラウズ](#) を参照してください。

11.1 プラグインチェーンパネルを開く

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでプラグインチェーンを使用するにはプラグインチェーンパネルを開く必要があります。

プラグインチェーンを開く方法は以下です。

- ▶ ヘッダのプラグインチェーンパネルボタンをクリックします。



- プラグインチェーンパネルとロードしたインストゥルメントが表示されます。これでプラグインチェーンにエフェクトを追加できるようになります。



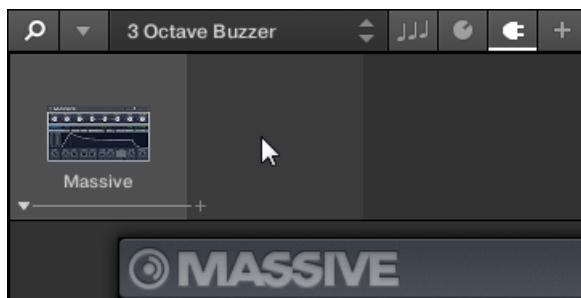
KOMPLET KONTROL キーボードではプラグインページにプラグインチェーンが表示されます。

11.2 エフェクトの追加

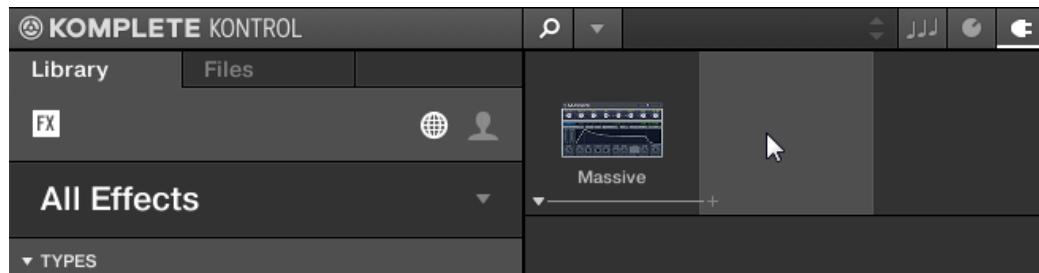
最初のプラグインスロットにインストゥルメントがロードされているはずなので、プラグインにエフェクトを追加します。

プラグインチェーンにエフェクトを追加する方法は以下となります。

1. 空のプラグインスロットをクリックして選択します。

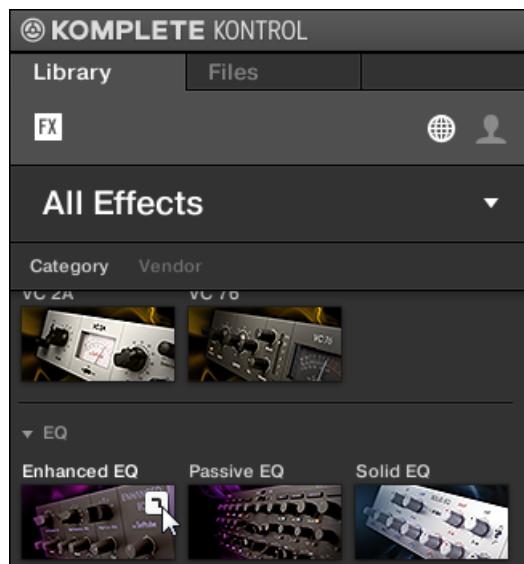


→ プラウザのプロダクトタイプアイコンがインストゥルメントからエフェクトに切り替わります。



→ プロダクトセレクターにエフェクトがリスト表示されます。

2. 任意のエフェクトをブラウズします。



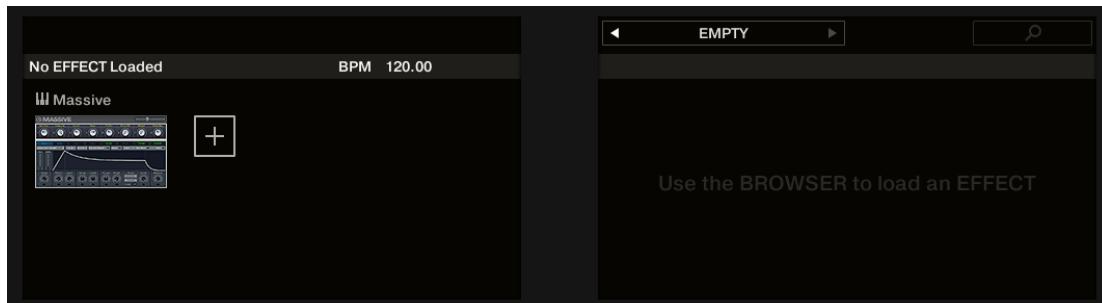
- これでエフェクトがロードされました。画像 (非 NKS プラグインではジェネリックアイコン) と名称が 2 番目のプラグインスロットに表示されるようになります。プラグインスロットにさらにエフェクトを追加するには同様の操作を繰り返します。



キーボードを使用してエフェクトを追加する

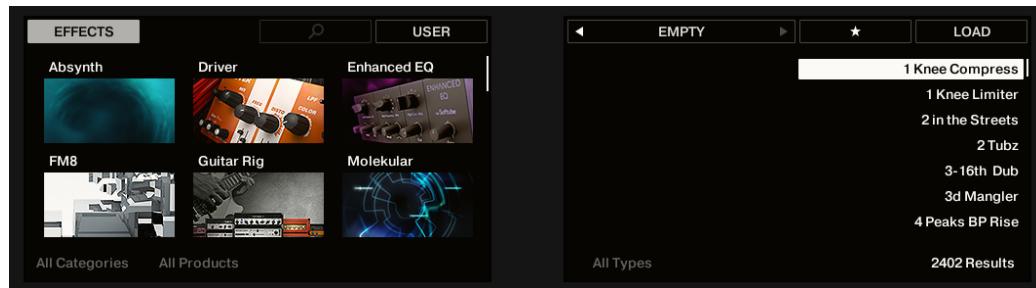
最初のプラグインスロットにインストゥルメントがロードされているはずなので、以下の方法でプラグインチェーンにエフェクトを追加します。

1. **PLUG-IN** ボタンを押して Plug-in ページを表示します。
2. ボタン 6 を押して空いているプラグインスロットを選択します。

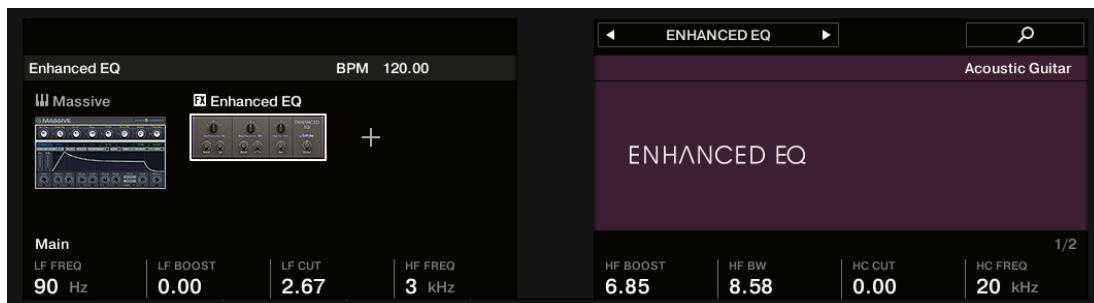


3. **BROWSE** ボタンを押してブラウザを開きます。

→ ボタン 1 の下のラベルが Product Type EFFECTS と表示されます。



4. プリセットファイルとともにエフェクトを選択します。
 5. ボタン 8 または 4-D を押して選択した内容をロードします。
- これでプラグインチェーンの二番目のプラグインスロットにエフェクトが追加されました。 プラグインスロットにさらにエフェクトを追加するには同様の操作を繰り返します。



11.3 プラグインスロットの選択

プラグインチェーンにいくつかのエフェクトを追加すると、プラグインスロットに直接ジャンプ移動してエフェクトを調整できます。

他のプラグインスロットに直接移動してエフェクトの各コントロールを表示する方法は以下となります。

- ▶ プラグインスロットをクリックして選択します。

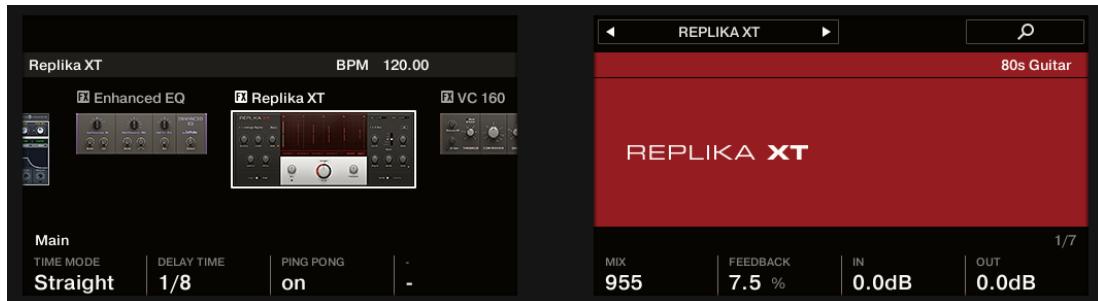
キーボードを使用して他のプラグインスロットを選択する

キーボードを用いてプラグインチェーンの他のプラグインスロットを選択する方法は以下となります。

1. PLUG-IN を押して Plug-in ページを表示します。

2. ボタン 5 または 6 を押し、プラグインチェーンの各プラグインスロットを選択します。

→ プラグインのコントロール部は各ノブにマッピングされます。



ボタン 5 と 6 を用いてブラウザから直接他のプラグインスロットを選択することもできます。

11.4 エフェクトの配置を変える

ドラッグアンドドロップでプラグインチェーンのエフェクトの配置を変えます。

プラグインチェーンでエフェクトの配置を変える方法は以下です。

1. 移動したいプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。
2. 左マウスボタンを押したままマウスポインターをプラグインチェーンの任意の位置に移動させます。
→ プラグインスロット同士の境界線が白く表示され、プラグインスロットでの移動先として表示されます。



3. エフェクトチェーンの任意の位置にエフェクトをドロップします。

- これでエフェクトがプラグインチェーン内の新しい位置に配置され、他のプラグインスロットも対応して配置がかわります。



キーボードを使用してエフェクトの配置を変える

プラグインチェーンでエフェクトの配置を変える方法は以下です。

1. **PLUG-IN** ボタンを押します。
2. ボタン 5 または 6 を押し移動したいエフェクトがあるプラグインスロットを選択します。
3. 追加コントロールにアクセスするには **SHIFT** を押したままにします。
4. **SHIFT** を押しながらボタン 5 またはボタン 6 を押すことで選択したエフェクトをプラグインチェーン内で移動させます。

11.5 プラグインチェーンのスクロール

理論上 プラグインチェーンには無制限にエフェクトを追加することができます。複数のエフェクトを追加し、プラグインチェーンが GUI 用のスペースよりも多くのエフェクトを収納した場合、左右の境界線のどちらかに大きなスクロール用の矢印が表示されるようになります。



右スクロール矢印

プラグインチェーンをスクロールする方法は以下です。

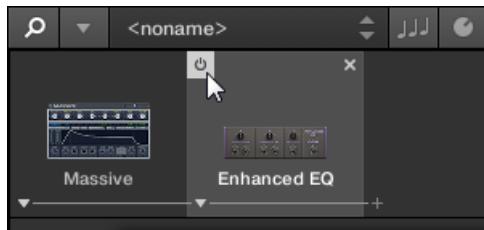
- ▶ 任意の方向の矢印をクリックします。

11.6 エフェクトのバイパス

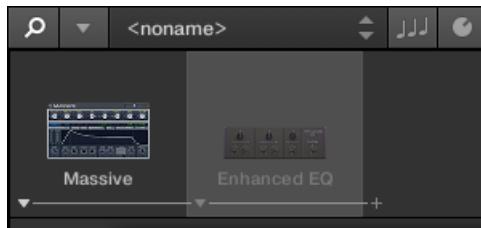
元音を比較するために一時的にエフェクトを停止する場合はエフェクトをバイパスします。

以下はエフェクトをバイパスする方法です。

1. エフェクトをバイパスしたいプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。
→ 追加コントロールが表示されます。
2. プラグインスロットの左上のバイパスボタンをクリックします。



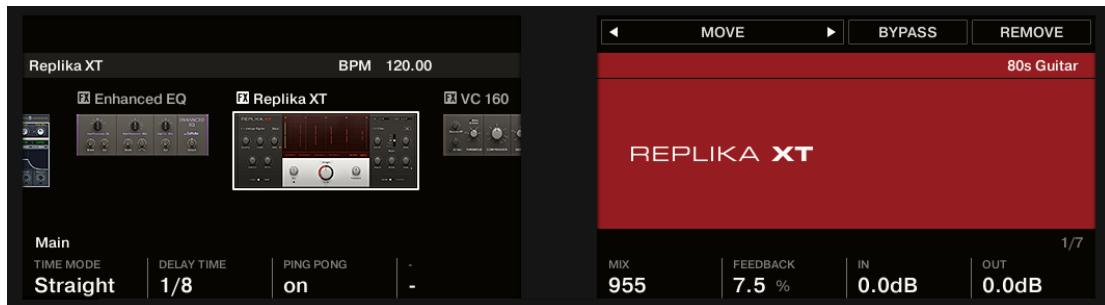
→ エフェクトがバイパスされそのエフェクト効果がなくなり、画像が灰色表示となります。



キーボードを使用してエフェクトをバイパスする

1. **PLUG-IN** ボタンを押して Plug-in ページを表示します。
2. プラグインチェーンでエフェクトをバイパスしたいプラグインスロットを選択します。

- 追加コントロールにアクセスするには **SHIFT** を押したままにします。



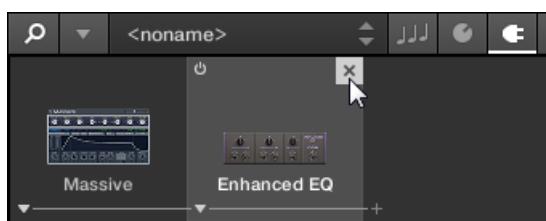
- SHIFT** を押しながらボタン 7 (BYPASS) を押します。
- エフェクトがバイパスされそのエフェクト効果がなくなり、その名称が灰色表示となります。



11.7 エフェクトの削除

プラグインチェーンからエフェクトを削除する方法は以下です。

- 削除したいエフェクトがあるプラグインスロットにマウスカーソルを当てます。
⇒ 追加コントロールが表示されます。
- プラグインスロットの右上の削除ボタンをクリックします。

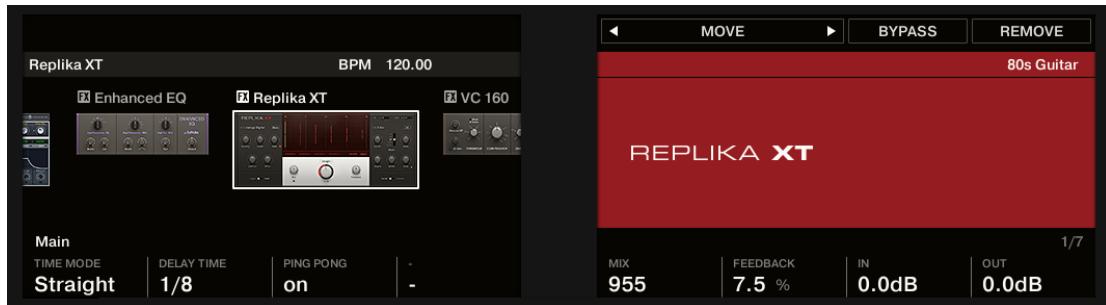


→ これでプラグインチェーンからエフェクトが削除されます。

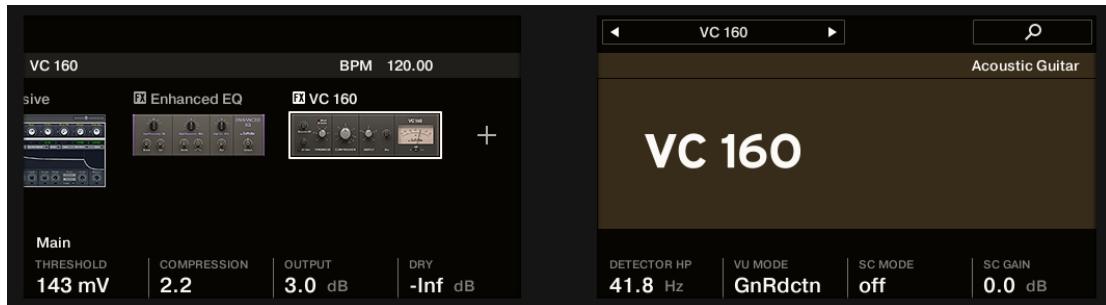
キーボードを使用してプラグインチェーンからエフェクトを削除する

プラグインチェーンからエフェクトを削除する方法は以下となります。

1. **PLUG-IN** を押して Plug-in ページを表示します。
2. 追加コントロールにアクセスするには **SHIFT** を押したままにします。



3. **SHIFT** を押しながらボタン 8 (REMOVE) を押します。
4. これでプラグインチェーンからエフェクトが削除されます。



12 ライブラリの管理

ブラウザでプリセットファイルを管理することができます。このセクションではユーザー ライブラリにプリセットファイルを保存、管理する方法と KOMPLETE KONTROL で使用できるユーザーファイルのインポート方法を解説します。

インストゥルメントプリセットファイル管理のワークフローとエフェクトプリセットファイル管理のワークフローは同じです。 Product Type Instrument またはエフェクトはブラウザでは選択できません（プラグインチェーンで選択します）。 Product Types の情報と各 Product Types の切り替えに関しては [↑ 10.1.1, Product Types: Instrument と Effect](#) を参照してください。

ブラウザ各部の詳細は [↑ 4.2, ブラウザ](#) を参照してください。

12.1 ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する

KOMPLETE KONTROL ではインストゥルメントで作成したサウンドを簡単にユーザープリセットファイルとして保存することができます。保存したプリセットファイルは自動的に Library ペインのユーザーコンテンツに追加され、KOMPLETE KONTROL ライブラリのその外のプリセットファイルと同様に、検索等を行うことができます。ハードドライブにはユーザープリセットファイルは以下のフォルダに保存されます。

- **Windows:** *C:\Users\<your user name>\Documents\Native Instruments\User Content*
- **macOS:** *Macintosh HD/Users/<your user name>/Documents/Native Instruments/User Content/*

KOMPLETE KONTROL で保存した KOMPLETE インストゥルメント用プリセットファイルは、スタンドアローン、プラグイン各バージョン内で使用できます。例えば、KOMPLETE KONTROL を用いて保存した KONTAKT ファイルを、上記したユーザーコンテンツフォルダから KONTAKT スタンドアローン、またはプラグイン上で開くことができます。



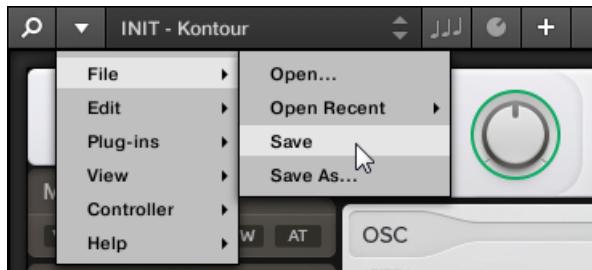
KOMPLETE KONTROL で保存したプリセットファイルは MASCHINE で使用することもできます。 MASCHINE の Library ペインのユーザーコンテンツセクションに追加するには、MASCHINE Preferences の Library ページの User ペインの Rescan をクリックします。

プリセットファイルの保存

新規プリセットファイルのサウンドを保存する方法は以下です。

1. プリセットファイルを保存したいインストゥルメントまたはエフェクト プラグインスロットを選択します。

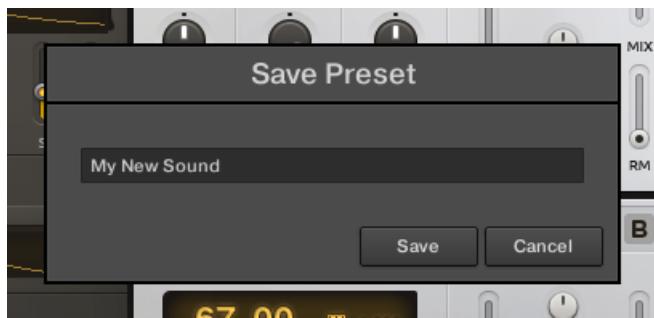
2. KOMPLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save* をクリックします。



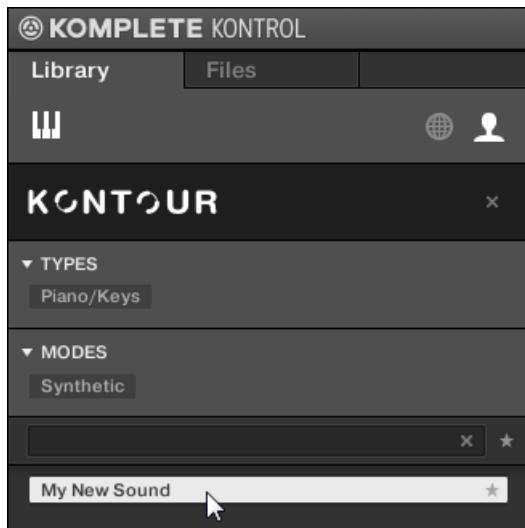
また、編集しているプリセットファイルを別名で保存する場合は、KOMPLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save As...* をクリックします。



3. プリセットファイルの新規名称を入力して *Save Preset* ダイアログで *Save* をクリック、プリセットファイルを保存します。



→ Library ペインのユーザーコンテンツに新しいプリセットファイルが表示されるようになります。



12.2 ユーザーライブラリからプリセットファイルを削除する

リザルトリストで直接プリセットファイルを削除することができます。

1. 任意のプリセットファイルを右クリックし、コンテキストメニューで *Delete* を選択します。複数のユーザープリセットファイルを同時に削除する場合は、上記したように選択してから右クリックします。
→ 警告ダイアログが表示され、この削除によって KOMPLETE KONTROL ライブラリのみではなくハードウェアからも選択しているプリセットファイルを削除する、といった趣旨のメッセージが表示されます。
2. **OK** をクリックして削除します(または **Cancel** をクリックして削除をキャンセルします)。
→ プリセットファイルは KOMPLETE KONTROL ライブラリとハードディスクから削除されます。



ファクトリーコンテンツを使用する場合は、コンテキストメニューに *Delete* エントリーは表示されません。

12.3 ユーザープリセットファイルのタグとプロパティーを編集する

KOMPLETE KONTROL にユーザープリセットファイルを保存する際、使用しているインストゥルメント内容に沿って各インストゥルメントとバンクにも自動アサインされます。ユーザープリセットファイルの属性を設定するには、ファイルの Type 、 Mode タグとプロパティーを編集します。これにより [Library](#) ペインでの Type と Mode フィルターを使用する際の検索を効率よく行うことができるようになります。



Type と Mode タグは MASCHINE ブラウザでも認識されます。これで MASCHINE の [Library](#) ペインのユーザーコンテンツセクションでも容易に KOMPLETE KONTROL 使用時に保存したユーザープリセットファイルを検索することができます。



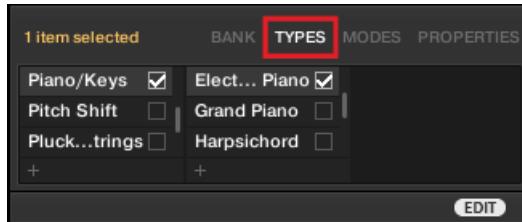
エフェクトに対して MODES タグフィルターはありません。

以下の方法でプリセットファイルのタグをアサイン、プロパティーを編集します。

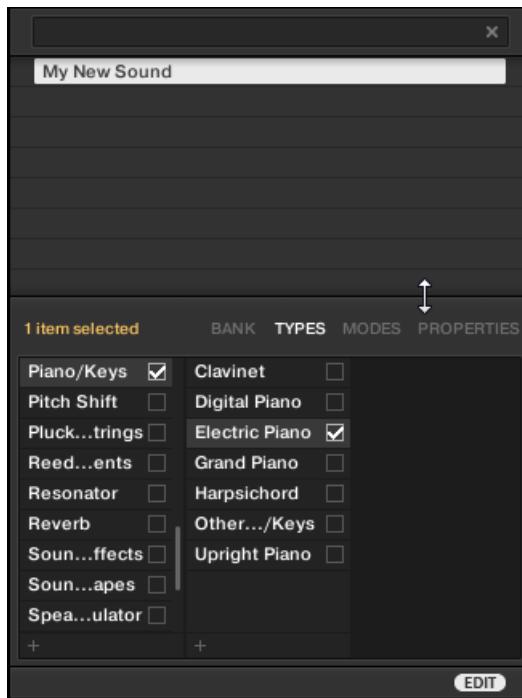
1. リザルトリストでプリセットファイルを選択し、Control バーで [EDIT](#) をクリックして Attribute Editor を開きます。



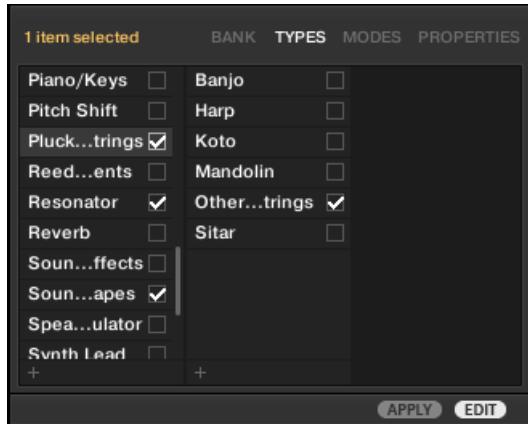
2. TYPES をクリックしてプリセット ファイルの Type タグを編集します。



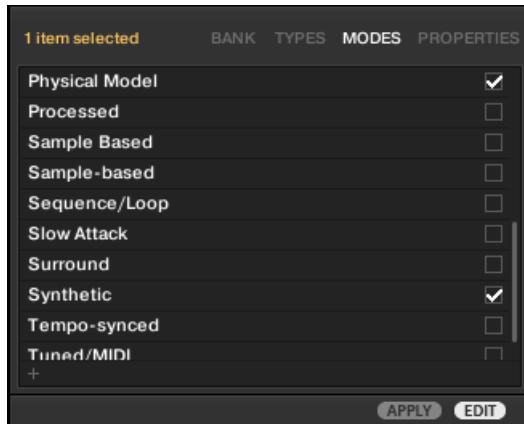
3. Attribute Editor の上にある境界線部分を上方向にドラッグしてサイズを変更します。これでタグ付け作業を効率よく行えます。



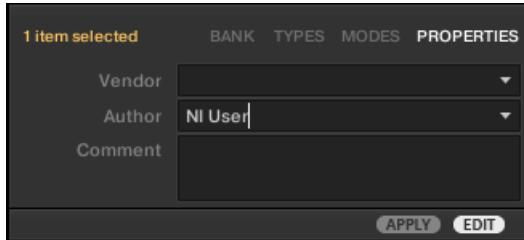
4. 各名称の横にあるチェックボックスをクリックしてプリセットファイルに任意のタグをアサインします。



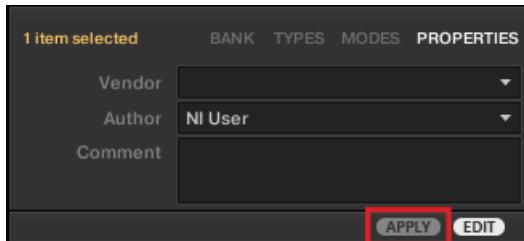
5. MODES をクリックしてプリセットファイルの Mode タグを編集します。アサイン方法は Type タグのときと同じで、各名称の横にあるチェックボックスをクリックします。



6. **PROPERTIES** をクリックしてプリセットファイルの追加情報を編集します。 **Author** フィールドに自分の名前を入力したり、そのプリセットファイルを共有するのであれば、**Comment** にメモを残すのも良いでしょう。



7. Attribute Editor での編集内容を適用するには、**APPLY** をクリックします。



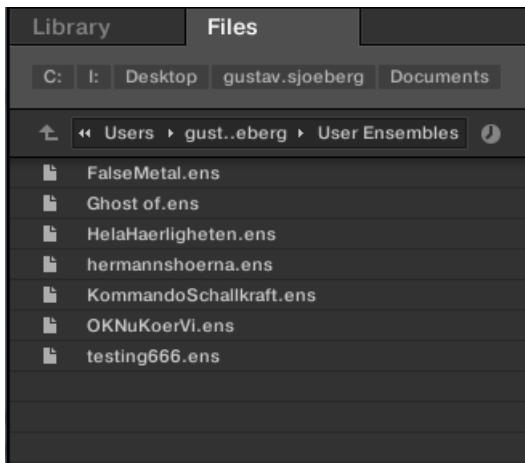
→ これでプリセットファイルが Types と Modes での選択内容に沿ってタグ付けされ、プロパティーでの編集内容が保存されます。Attribute Editor を閉じるには **EDIT** をもう一度クリックします。

12.4 Files ペインの使用

このセクションでは **Files** ペインを用いたハードディスク内のファイルのブラウズ操作について解説します。 **Files** ペインのリザルトリストではその上のロケーションバーで指定したパスにあるファイルとフォルダを表示します。



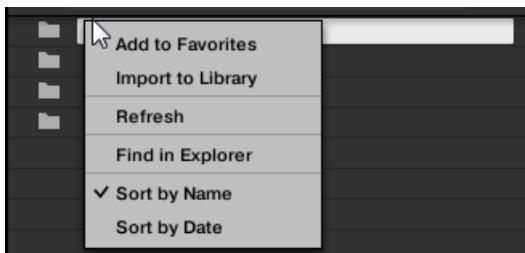
KOMPLETE KONTROL に互換性のあるファイルのみがリザルトリストに表示されます。



Files ペインのリザルトリストです。

12.4.1 Files ペインのリザルトリストの追加機能

リザルトリストの Files ペインには追加コマンドを含むコンテクストメニューがあります。単一のエントリーまたは複数のエントリーを選択してそれらを右クリックすると表示されます。



Files ペインのリザルトリストのコンテクストメニューです。

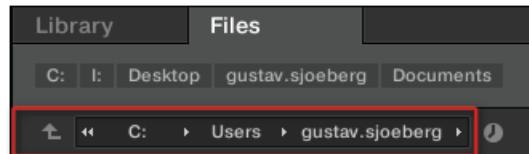
コマンドは以下となります。

コマンド	内容
<i>Add to Favorites</i> (フォルダのみ)	Favorites に選択したフォルダを追加します。
<i>Import to Library</i> (フォルダのみ)	ライブラリに選択したフォルダをインポートします。
<i>Refresh</i>	フォルダの内容を編集した場合にリスト内容をリフレッシュします。

コマンド	内容
<i>Find in Explorer / Find in Finder</i>	選択したフォルダがある Explorer/Finder ウィンドウを表示します。
<i>Sort by Name</i>	アイテムの名称によってリザルトリスト順を並び替えます。
<i>Sort by Date</i>	アイテムの日付によってリザルトリスト順を並び替えます。

12.4.2 ロケーションバーでファイルロケーションをナビゲートする

Location バーで選択したパスの表示、または編集を行います。リザルトリストではパスの内容を常に表示します。



ロケーションバーです。

ロケーションバーには以下のツールがあります。

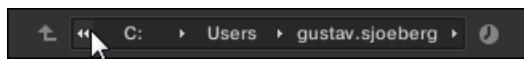
- **上矢印:** 左の上矢印を用いてファイルシステム階層を上に移動します。
- **選択したパス:** パスを表示した状態で以下のことが行えます。
 - フォルダ名称をクリックしてそのフォルダに移動します。



- **右矢印** をクリックしてサブフォルダを表示、その中のエントリーをクリックして各フォルダに移動します。

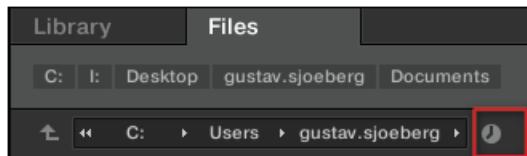


- パスで全レベルを表示しきれない場合は、パスの二つの左向き矢印をクリックして残りの上部レベルを表示し (Workspace がファイルシステム内の最上部となります)、リストの各エントリーをクリックすることでその場所に移動します。



12.4.3 最近使ったファイルがある場所への移動

ロケーションバーの右の時計アイコンはリセントロケーション (Recent Locations) ボタンです。



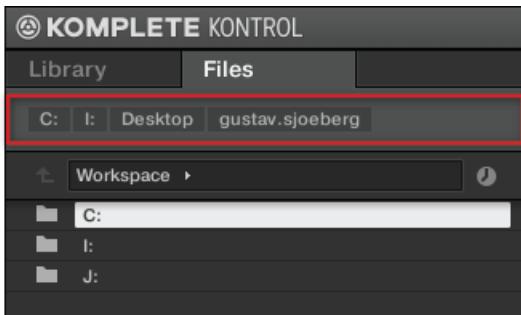
リセントロケーションボタンです。

KOMPLETE KONTROL は最後に使用した 10 の場所を記憶し、保存します。

- ▶ リセントロケーションボタンを押し、リスト表示される最近使用した場所に移動します。
- 場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにはその内容が表示されます。

12.4.4 ファイル場所をお気に入りにする

Files ペインの上部には Favorite バーがあり、ここに全 Favorite フォルダを表示します。 **Favorites フォルダ** (お気に入り) はファイルシステム内の特定の場所へのショートカットとして機能します。



Files ペイン上部の Favorite バーです。

Favorite フォルダは Files ペインで同じフォルダを何度も使用する場合に便利です。デフォルトのお気に入りフォルダはハードディスクのルートフォルダ、デスクトップフォルダ、ユーザーフォルダ等となります。

Favorite (お気に入り) フォルダへのジャンプ

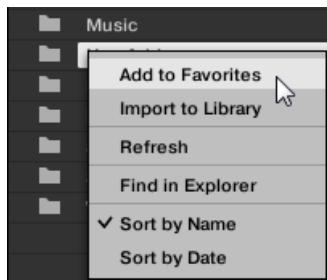
- ▶ Favorite バーで任意の Favorite フォルダをクリックして各場所に移動します。

→ 選択した場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにその内容が表示されます。

Favorite フォルダの追加と削除

頻繁に使うフォルダを Favorites バーに追加することができます。この操作はリザルトリストで行います。

1. Favorite として使用したいフォルダを含む親フォルダに進み、このフォルダがリザルトリストで表示されるようにします。
2. リザルトリストで任意のフォルダを右クリックし、コンテキストメニューで *Add to Favorites* を選択します。



Favorite バーから各 Favorite を削除することも可能です。

- Favorite フォルダを削除するには、Favorite バーで右クリックし、*Remove from Favorites* を選択します。

12.5 VST プラグインのロード

KOMPLETE インストゥルメントと Native Kontrol Standard (NKS) をサポートする VST プラグインは KOMPLETE KONTROL ライブラリからプリセットファイルを選択することで自動的にロードされます。

プラグインを直接ロードすることも可能で、各 VST プラグインを KOMPLETE KONTROL で活用することができます。VST プラグインには Smart Play 機能を使用することが可能で、各パラメーターをキーボードにマッピングし、KOMPLETE KONTROL ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存することができます。

以下は KOMPLETE KONTROL に VST プラグインをロードする方法です。

- ▶ KOMPLETE KONTROL メニューの *Plug-ins* サブメニューでロードしたいプラグインを選択します。



Plug-ins サブメニューに使用したい VST プラグインが表示されない場合は、ハードドライブの VST プラグインフォルダが Preferences の [Plug-ins](#) ページの [Locations](#) に追加されているか確認してください。

12.6 NKS インストゥルメントのインストール

Native Kontrol Standard (NKS) はソフトウェアインストゥルメントフォーマットで、第 3 者製品を MASCHINE と KOMPLETE KONTROL ハードウェア、ソフトウェアの両方で連動させ、KOMPLETE インストゥルメント/エフェクトと同等の操作性を確保するためのファイル形式となっています。

Native Kontrol Standard は以下の内容を含んでいます。

- ブラウジングの一貫性を保つための KOMPLETE KONTROL ブラウザでの連動性
- 即座の操作に対応するフルパラメーターマッピング
- Light Guide 等の KOMPLETE KONTROL 各機能のサポート

NKS インストゥルメントは KOMPLETE KONTROL ブラウザの KOMPLETE インストゥルメントの隣にあります。全プリセットファイルにはタグ付けが施してあり、ブラウザでの絞り込み検索結果には、KOMPLETE インストゥルメントと NKS インストゥルメントの内容が含まれます。NKS インストゥルメントからプリセットをロードすると、各パラメーターがキーボードのコントロール部に自動的にマッピングされます。

NKS 対応 VST プラグインのインストール

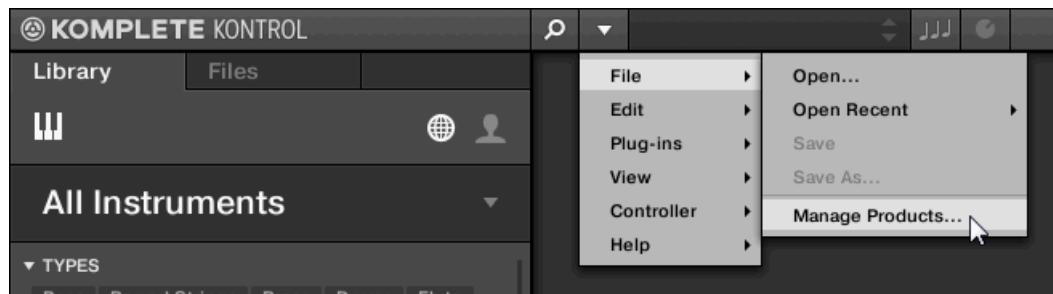
NKS をサポートする VST をインストールすると、インストール直後の KOMPLETE KONTROL 起動時に自動的にライブラリに追加されます。 NKS サポート対応プリセットファイルを含んだフォルダは Preferences の [Library](#) ページの [Factory](#) ペインで管理します。 詳細は [6.5.4, Preferences – Library ページ](#) を参照してください。

NKS 対応 KONTAKT/REAKTOR インストゥルメントのインストール

第 3 者製 KONTAKT/REAKTOR インストゥルメント には、プリセットファイルとサンプルを含んだ全インストゥルメントファイルを内包する専用フォルダが用意されます。 インストーラーを起動する代わりに、このフォルダをハードドライブに保存する必要があります。 Native Access で起動します (KOMPLETE KONTROL ライブラリに追加されます)。 KONTAKT/REAKTOR を使用している場合は、インストゥルメントは自動的に対応するブラウザに追加されます。

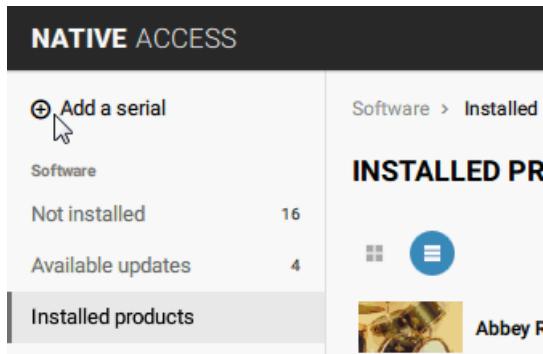
NKS 対応 の KONTAKT インストゥルメントを起動し、KOMPLETE KONTROL ライブラリに追加する方法は以下です。

1. KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのスタンドアロンバージョンを起動します。
2. KOMPLETE KONTROL メニューで *File* サブメニューを開き、*Manage Products...*をクリックします。



⇒ Native Access が開き、インストールしている全ての製品を表示します。

3. Native Access の左上隅の [Add a serial](#) をクリックします。



4. インストゥルメントのシリアル番号を入力し、[ADD SERIAL](#) をクリックします。



- Native Access はインストゥルメントファイルを含むフォルダをブラウズするよう提案します。これを行う前に、コンピューターのフィルダ内のエンドロケーションにコピーしたか確認する必要があります。
5. [BROWSE](#) をクリックし、ファイルダイアログでインストゥルメントファイルを含むフォルダを表示します。

6. INSTALL をクリックし、KOMPLETE KONTROL ライブラリにインストゥルメントを追加します。

THANK YOU FOR REGISTERING NOVACHORD

To continue installing please browse to the folder where you have unzipped Novachord.

Novachord

C:/Users/Public/Documents/

 BROWSE

Close

 INSTALL

- インストゥルメントがインストールされました。KOMPLETE KONTROL は自動的に新規コンテンツをスキャンし、KOMPLETE KONTROL ブラウザにインストゥルメントを追加します。



Install successful

Novachord was successfully installed



KOMPLETE KONTROL ライブラリと KONTAKT ブラウザはこのフォルダに含まれるファイルを参照するようになります。このフォルダはインストール後に削除したり移動しないことを推奨します。移動や削除を行った場合、KOMPLETE KONTROL と KONTAKT がインストゥルメントファイル検索を行えなくなります。インストゥルメントが見つからない場合は Preferences の Library ページの Rescan 機能を用いてライブラリをアップデートし、正しいフォルダ位置を検出してください。

12.7 KOMPLETE KONTROL 対応ユーザーファイルをインポートする

膨大な KOMPLETE ファクトリーライブラリの他に、自身のサンプル、または他のユーザーからのREAKTOR アンサンブル、または KONTAKT インストゥルメントファイルを使用する場合もあるでしょう。Files ペインからファイルを直接ロードすることもできますが、キーボードのブラウザ、または Library ペインでこれらのファイルを検索、ロードすることはできません。

まずはライブラリにファイルをインポートしてください。ファイルをインポートするといつても現在サンプルを保管しているファイルディレクトリを移動するというわけではなく、ブラウザにファイルディレクトリを認識させる方式を採用しています。そのため、ファイルを移動する度に、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページでファイルパスを認識させる必要があります。

[Files](#) ペインでは全フォルダをインポートすることができます。選択したフォルダ内の KOMPLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがインポートされます。

手順

フォルダのインポート方法は以下となります。

1. [FILES](#) ペインでインポートするファイルがあるフォルダまでナビゲートします。
 2. 任意のフォルダを選択します。
 3. ファイルブラウザの右下にある [IMPORT](#) をクリックしてください。
 - Attribute Editor が表示されます。
 4. Attribute Editor でライブラリにインポートするファイルにタグ付けを行います。
 5. ブラウザ右下の [OK](#) をクリックしてライブラリにファイルをインポートします。
- 選択したフォルダ内の KOMPLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがライブラリにインポートされます。ファイルがユーザー・コンテンツとして追加されます。更にインポートしたフォルダのパスが [Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにある [User](#) ペインのユーザー・ライブラリリストに追加されます。



タグの追加、削除はインポート後いつでも行うことが可能です。しかしその後の手間を考えると、インポート時にタグをつけておくことが懸命でしょう。

13 インストゥルメントとエフェクトパラメーターの操作

このセクションでは KOMPLETE KONTROL キーボードを使用したインストゥルメントとエフェクトパラメーターのコントロール方法とパラメーターマッピングのカスタマイズ方法について解説します。

13.1 事前にマッピングが施されたインストゥルメント/エフェクトについて

全 KOMPLETE / NKS インストゥルメントとエフェクト にはあらかじめマッピングが施されており、プレマップドインストゥルメント 自動アサインされたコントロール部 KOMPLETE KONTROL にインストゥルメントをロードすると直ちにキーボードのノブと Touch Strips に対して主要パラメーターが自動的にアサインされます。MIDI ラーン機能を用いてマッピング設定やノブのアサインを行う必要はありません。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインパネルの各プリセットファイル用パラメーターマッピングは、カスタマイズ可能です。詳細は [↑13.4, プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ](#) を参照してください。

13.2 パラメーターの調節

インストゥルメントをロードすると、キーボードの 8 個のノブに 8 種のインストゥルメントパラメーターが自動的にアサインされます。KOMPLETE KONTROL キーボードのノブを回すとマッピングされたパラメーターが反応し、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでもその動きが確認できます。

- ▶ インストゥルメントのパラメーターを調節するには、キーボードの対応するノブを回してください。マッピングされた 8 個のノブのパラメーター名はディスプレイに表示されます。

13.3 パラメーターページの切り替え

多くのインストゥルメント/エフェクト には 8 個以上のパラメーターがあります。追加パラメーターに素早くアクセスするには、コントロールセクションの左のページボタン（左右矢印ボタンです）を用いてページ間を移動します。これによりノブが対応するインストゥルメントパラメーターに即座に再マッピングされます。

- ▶ 他のパラメーターページに移動し、新しいコントロールパラメーターページを表示するには左右ページ矢印ボタンのどちらかを押します。
- 右ディスプレイの右下では現在のパラメーターページと、ロードしたインストゥルメントが含むページ総数を表示します。

13.4 プラグインパネルを用いたパラメーターマッピングのカスタマイズ

一つのインストゥルメントのプリセットファイルに対してパラメーターマッピングのカスタマイズを行う場合は、プラグインパネルの Edit モードを起動する必要があります。

- ▶ プラグインパネルのエディットモードを起動、起動解除するには右上隅の Edit モードボタンをクリックします。



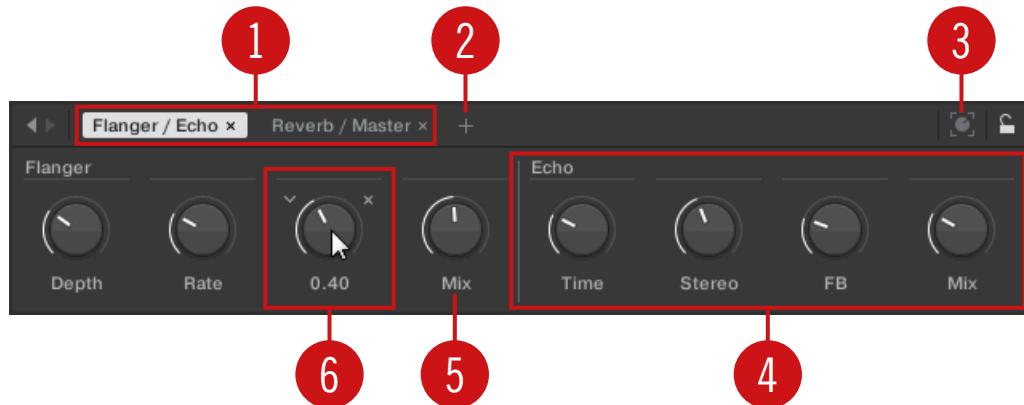
Edit モード では以下の設定を行うことができます。

- パラメーター用マッピングの追加、削除、置き換え
- コントロール部にパラメーターをラーン機能でアサインする
- コントロール部の名称変更
- コントロールセクションへのページ追加、または既存のページの削除
- ページからグループコントロールへの追加、セクション名称の変更



内容を変更したプリセットファイルは KOMPLETE KONTROL ユーザーライブラリに保存することでその後も使用することができるようになります。詳細は [↑ 12.1, ユーザーライブラリにプリセットファイルを保存する](#) を参照してください。

プラグインパネルエディットモード



プラグインパネルのエディットモードです。

KOMPLETE KONTROL キーボードのコントロールセクションの各ページ(1) はプラグインパネルの最上部にラベル表示されます。

- 各ラベルをクリックして該当ページを表示、編集します。現在表示しているページはハイライト表示されます。
- ページを削除するには、ラベルの隣の x アイコンをクリックします。

Add Page ボタン (2) で現在のプリセットファイル用に対してコントロールセクション上で更にページを追加することができ、この際プラグインパネルのラーンボタン(3) がラーンモードを起動します。

- ラーンモードでプラグインパネルのコントロールを選択し、インストゥルメントのパネルのパラメーターを動かすことで、このパラメーターが選択したコントロールにアサインされます（青くハイライト表示されます）。

コントロールをセクション (4) 内でグループ化し、関係する各パラメーターを表示させることもできます。

- パラメーターの上の空欄部分をダブルクリックし、名称を入力、[エンター] または他の部分をクリックし、選択したパラメーターが属する新規セクションを作成することができます。
- 既存のセクションの名称を変更するには、名称をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンターワイド] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

各コントロールの名称はプラグインパネル (5) の対応するノブの下に表示されます。

- ▶ コントロールの名称を変更するには、名称部をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンター] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

Edit モードでコントロール (6) にマウスを置くと、このコントロールのパラメーターマッピング内容を変更する追加オプションを使用できる状態となります。

1. コントロールのノブの左の矢印アイコンをクリックしてドロップダウンメニューからパラメーターを表示、このコントロールにマッピングするパラメーターを選択します。
2. コントロールのノブの右の x アイコンをクリックして、現在のページからこのコントロールを削除します。

14 Smart Play - スケールとコード演奏と編集

KOMPLETE KONTROL の Scale エンジン は多様なスケールを各種用意しています。この機能でピアノ等のインストゥルメントを演奏ミスなく、例えばマイナーペンタトニックスケールで演奏することができるようになります。Chord モードで用意されたスケールを用いて、ノートをコード演奏することが可能となります。更にアルペジエーターを使用することで、KOMPLETE KONTROL キーボードの一つの鍵盤を押す、または受信した MIDI ノート入力によってスケールを自動演奏することができます。

Perform Panel でスケールを選択し、Scale エンジンを起動すると、キーボードにスケールがマッピングされ、Light Guide もそのスケールを示すようになります。これでキーボードのどの鍵盤を押しても、またはホストを介してどの MIDI ノートが送信されても、ノートが設定したスケールを発音するようになります。

14.1 音楽理論について

KOMPLETE KONTROL はスケールとハーモニー用機能を装備しており、KOMPLETE インストゥルメントのコード演奏、またはアルペジオ演奏が可能となります。以下ではその内容を解説しています。

スケール

音楽は通常リズムとハーモニーによって構成されます。例外も多くありますが、ここではスケール、コード、アルペジオシーケンスを理解するための解説を進めます。

全ノートとキーはピッチに対応します。鍵盤で各キーはセミトーンのピッチに対応し、隣り合うキーの音程は半音分異なります(チューニングによっては異なる場合があります)。ハーモニーが濁ることなくメロディーやコードを奏でるには、通常ノートはスケールとして大別された中から演奏します。西洋音楽ではスケールはピアノの 7 つの白鍵盤、5 つの黒鍵盤上で表現され、このまとまりをオクターブと呼びます。オクターブと称される所以は 8 番目(ラテン語、オクタバス)のキーが連続する 7 つの白鍵盤の後に繰り返され、また同じキーを発音することによるものです。このキーはルートノートと呼びます。スケールは、オクターブとして機能する白、黒鍵盤の特定の組み合わせのことを指します。スケール内のキーのみを演奏することで、「キーが合っている」ということになります。スケールはノートの絶対値によって定義されるものではなく、ピッチの変異の過程での関連性によって定義されるということを強調しておく必要があるでしょう。例えばメジャースケールは「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」で構成され、鍵盤上下に変調することでルートノートを変更し、この規則にしたがって演奏することでスケールが保たれる、ということになります。

コード

ポリフォニックインストゥルメントで複数ノートを同時に演奏する、これをコード演奏といいます。では、スケール上の各ノートを複数選択してコードがどのように構成されるか検証してみましょう。ここではCメジャースケールを使用します。上記解説したように、メジャースケールは2つの全音、その後半音を通過し、3つの全音を通過した後、半音に到達します。ではこの規則を踏まえれば、ルートノートCを起点にCメジャーコードを演奏するには、C、E、Dのキーを同時に押す、という事になります。このCメジャーコードは、ルートノート(C)、3度(E) 5度(G)で構成され、3和音(メジャートライアド)と呼びます。音楽的ハーモニーを踏まえたこの和音を演奏することで、複数のノートを同時に演奏し、コードとして成り立たせることができます。

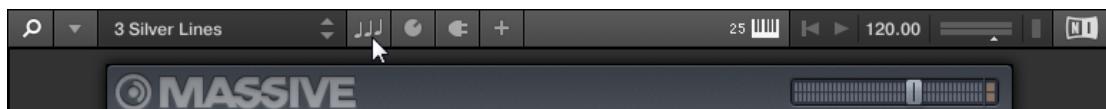
Arpeggiator (アルペジエーター) シーケンス

上記セクションではノートを組み合わせたコード演奏について解説しました。これらのコードを分離してリズミカルに演奏することをアルペジオ演奏といいます(アルペジエーターシーケンスと呼ぶ場合もあります)。コードがノートにハーモニーを追加する役割として考えるなら、アルペジオによるシーケンスはそのコードに時間とリズムを追加する役割、と考えることができます。3つのノートを同時に押すことでコード演奏する代わりに、この3つのノートを様々な順序と、様々なリズムで演奏します。この方法でモノフォニックインストゥルメントを、コードに基づいて演奏することが可能となります。

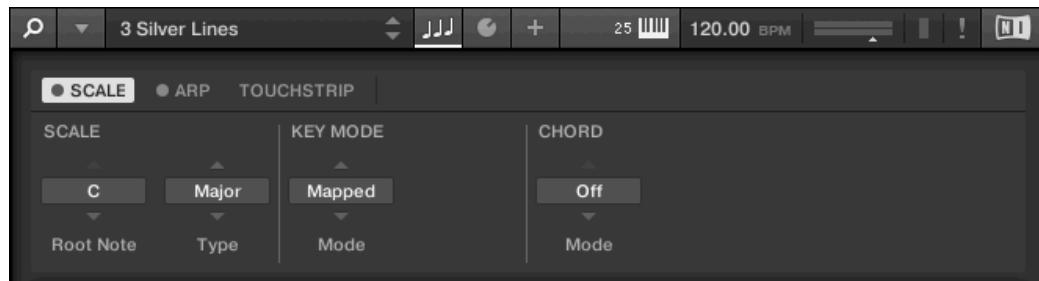
14.2 スケールエンジンを起動する

スケールエンジンを起動する方法は以下です。

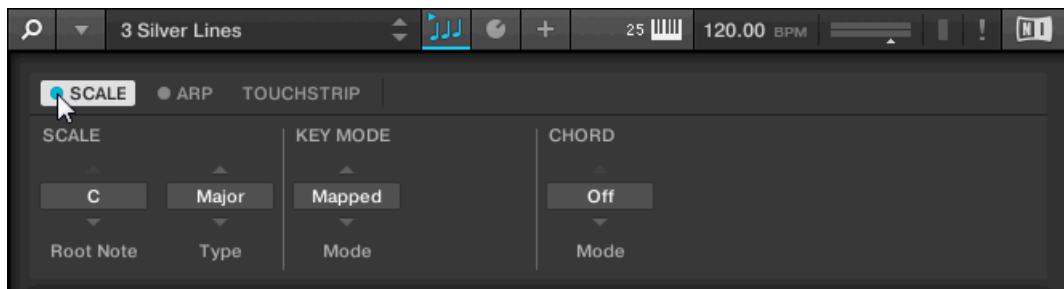
1. ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



→ Perform パネルが表示されます。



- Scale エンジンを起動するには、パフォームセクションの **SCALE** の隣のチェックボックスをクリックし青く表示させます。



キーボードでスケールエンジンを起動する

- Scale エンジンを起動するには、キーボードの PERFORM/Edit セクションで **SCALE (Edit)** を押します。

14.3 演奏するスケールの選択

KOMPLETE KONTROL キーボードでスケールを選択、演奏する方法は以下となります。

- SHIFT + SCALE (Edit)** を押し、コントロールセクションの ディスプレイとノブに SCALE パラメーターをマッピングします。
- スケール選択にはノブ 2 (BANK、デフォルト設定は MAIN)を回し、ノブ 3 (TYPE、デフォルト設定は MAJOR) を回して任意の設定にします。
- 選択したスケールを演奏するには、**SCALE (Edit)** ボタンが点灯しているか確認します。

- 選択したスケールに対応して鍵盤がマッピングされます。マッピング内容は Light Guide でも反映されます。点灯していないキーを押した場合でも、スケールにあった一番近い鍵盤が点灯していないキーに変わって対応します。
4. インstrument パラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**PLUG-IN** を押します。スケールエンジン自体は起動したままとなります。



CHROM を選択すると、全鍵盤がマッピングされます。

14.4 コードの演奏

同時にいくつかの鍵盤を押さえる（またはホストから複数の MIDI ノートを同時に送信する）事でコードを演奏することは当然できますが、KOMPLETE KONTROL では Smart Play セクションを用いた独自のコード演奏機能があります。



複数のノートをコードとして演奏するには、インstrument がポリフォニックのものである必要があります。

鍵盤の一つのキーでコードを演奏するための設定方法は以下となります。

1. **SHIFT + SCALE (Edit)** を押し、コントロールセクションの ディスプレイとノブに SCALE パラメーターをマッピングします。
2. Chord モードを起動するには、ノブ 5 を回して MODE を HARM にします (デフォルトは OFF です)。
3. TYPE パラメーターでノブ 6 (デフォルトは 1-3-5) を回すことでコードに用いるコードインターバルを選択します。
4. コード機能を用いて演奏するには、**SCALE (Edit)** ボタンが点灯しているか確認します。

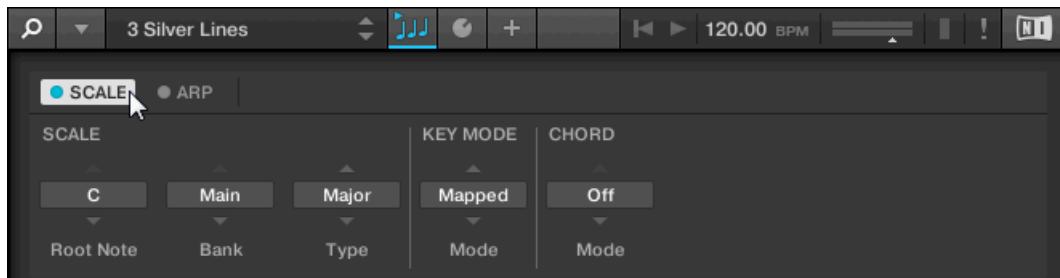
→ Chord モードが起動し、*Harmonizer* に設定されます。キーを押すことで自動的に（スケール設定による）点灯しているキーの音程を発音します。同時に **3 度**、**5 度** のノートも選択したスケール基準にあわせて発音します。ノブ 6 の設定によって何度のノートを発音するかが変化します (1-3-5、では 1 度、3 度、5 度のノートを発音します)。再生中のノートは Light Guide でも表示されます。

- インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**PLUG-IN** を押します。スケールエンジン自体は起動したままとなります。

14.5 スケールとコードの編集

Scale エンジンパラメーターを使用してスケールとコードを任意に編集することができます。

- KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでスケールエンジンパラメーターを編集するには、パフォームパネルの **SCALE** をクリックしてハイライト表示させます。



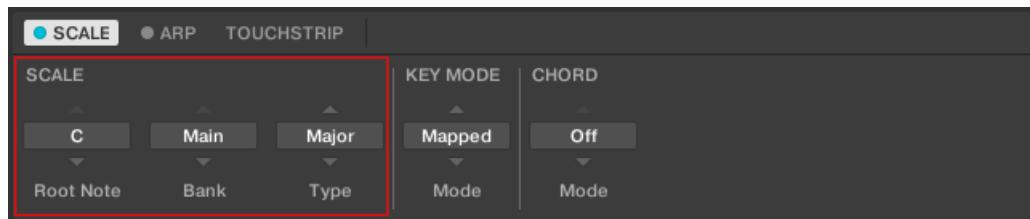
- Scale Edit モードを起動し、キーボードのコントロールセクションにスケールエンジンパラメーターをマッピングするには **SHIFT + SCALE (Edit)** を押します。
- これでキーボードのコントロールセクションでスケールエンジンパラメーターを編集することができるようになります。

使用できる SCALE パラメーター

- キーボードにスケールをマッピングし、ルートノートを設定するには、SCALE パラメーターである **Root Note**、**Bank**、**Type** を使用します。
- キーボード上に選択したスケールがどのようにマッピングされるか設定するには、KEY MODE パラメーターを使用します。
- 鍵盤使用の際に自動的にコード演奏を行うようにするには、CHORD パラメーター **Mode** と **Type Position** を使用します。

14.6 SCALE パラメーターの設定

SCALE パラメーター **Root Note** と **Bank**、**Type** で鍵盤にマッピングされるスケールを選択し、ルートノートを選択します。



SCALE パラメーターの Root Note、Bank、Type です。

14.6.1 SCALE ルートノート

最初の SCALE パラメーターは Root Note です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。スケールのルートノートを設定することでスケールの起点が設定されます。それ以降のスケールノートは、SCALE パラメーターで選択するスケールの種類によって異なります (以下参照)。異なる Root Note を選択することで上下にスケールを変化させることもできます。



Light Guide キーボードは完全点灯した LED で Root Note を表示し、その外の有効なキーは全点灯より暗い状態となります。

Root Note セッティングには以下の値があります。

- C, C#, D, D#, E, F, F#, G, G#, A, A#, B

14.6.2 SCALE バンクとタイプ

左から 2、3 番目の SCALE パラメーターは Bank と Type です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブに 2 と 3 にマッピングされます。これらを使用して KOMPLET KONTROL キーボードにマッピングされるスケールを選択します。各 Bank には 15 のテーマごとに分類したスケール群があり、Type コントロールで選択することができます。

例えば Root Note を C にし、Bank の Main から Type をデフォルトの Major にした場合は、スケールは C メジャーとなり、C, D, E, F, G, A, B (その後、オクターブ上の C が続きます) のノートがマッピングされます。Root Note を G にすると、G, A, B, C, D, E, F# (G が続きます) ノートを含んだ G メジャースケールとなります。発音されるノート間隔は「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」となり、これが Major スケールの法則として機能します。

ホストから MIDI 入力でインストゥルメントを演奏する場合は、MIDI のノートは **Type** で選択したスケールに基づいて演奏されます。例えば (Root Note を *C* に設定し、) **C-D-D#** ノートを含んだ MIDI パターンが演奏された場合、**Type** が *Chromatic* (キーボードでは *CHROM* と表示されます) であればそのまま演奏されますが、**Bank** が *Main*、**Type** が *Major* となっている場合は **C-D-E** のノートを演奏します。



Light Guide は選択した **Type** を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。

各スケールは以下となっています。

Main Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Chromatic	<i>Main</i>	<i>Chrom</i>	1 ♭2 2 ♭3 3 4 ♭5 5 ♭6 6 ♭7 7
Major	<i>Main</i>	<i>Major</i>	1 2 3 4 5 6 7
Minor	<i>Main</i>	<i>Minor</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Harm Min	<i>Main</i>	<i>Harm Min</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 7
Maj Pent	<i>Main</i>	<i>Maj Pent</i>	1 2 3 5 6
Min Pent	<i>Main</i>	<i>Min Pent</i>	1 ♭3 4 5 ♭7
Blues	<i>Main</i>	<i>Blues</i>	1 ♭3 4 #4 5 ♭7
Japanese	<i>Main</i>	<i>Japanese</i>	1 2 ♭3 5 ♭6
Freygish	<i>Main</i>	<i>Freygish</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 ♭7
Gypsy	<i>Main</i>	<i>Gypsy</i>	1 2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Arabic	<i>Main</i>	<i>Arabic</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Altered	<i>Main</i>	<i>Altered</i>	1 ♭2 #2 3 #4 ♭6 ♭7
Whole Tone	<i>Main</i>	<i>WH Tone</i>	1 2 3 #4 #5 ♭7
H-W Dim	<i>Main</i>	<i>H-W Dim</i>	1 ♭2 #2 3 #4 5 6 ♭7
W-H Dim	<i>Main</i>	<i>W-H Dim</i>	1 2 ♭3 4 #4 #5 6 7

Modes Scales:

スケール	Bank	Type	スケール内容
Ionian	<i>Modes</i>	<i>Ionian</i>	1 2 3 4 5 6 7
Dorian	<i>Modes</i>	<i>Dorian</i>	1 2 \flat 3 4 5 6 \flat 7
Phrygian	<i>Modes</i>	<i>Phrygian</i>	1 \flat 2 \flat 3 4 5 \flat 6 \flat 7
Lydian	<i>Modes</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 \sharp 4 5 6 7
Mixolydian	<i>Modes</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 \flat 7
Aeolian	<i>Modes</i>	<i>Aeolian</i>	1 2 \flat 3 4 5 \flat 6 \flat 7
Locrian	<i>Modes</i>	<i>Locrian</i>	1 \flat 2 \flat 3 4 \flat 5 \flat 6 \flat 7
Ionian b2	<i>Modes</i>	<i>Ion b2</i>	1 \flat 2 3 4 5 6 7
Dorian b5	<i>Modes</i>	<i>Dor b5</i>	1 2 \flat 3 4 \flat 5 6 \flat 7
Harm Phryg	<i>Modes</i>	<i>Har Phry</i>	1 \flat 2 \flat 3 4 5 \flat 6 7
Phryg Major	<i>Modes</i>	<i>Phry Maj</i>	1 \flat 2 \flat 3 4 5 6 7
Lydian b3	<i>Modes</i>	<i>Lyd b3</i>	1 2 \flat 3 \sharp 4 5 6 7
Major Locrian	<i>Modes</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 \flat 5 \flat 6 \flat 7
Minor Locrian	<i>Modes</i>	<i>Min Loc</i>	1 2 \flat 3 4 \flat 5 \flat 6 \flat 7
Super Locrian	<i>Modes</i>	<i>Sup Loc</i>	1 \flat 2 \flat 3 \flat 4 \flat 5 \flat 6 \flat 7

Jazz Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Lydian \flat 7	<i>Jazz</i>	<i>Lyd \flat 7</i>	1 2 3 \sharp 4 5 6 \flat 7
Altered	<i>Jazz</i>	<i>Altered</i>	1 \flat 2 \sharp 2 3 \sharp 4 \flat 6 \flat 7
Diminished	<i>Jazz</i>	<i>Diminshd</i>	1 \flat 2 \sharp 2 3 \sharp 4 5 6 \flat 7
Mixo b13	<i>Jazz</i>	<i>Mix b13</i>	1 2 3 4 5 \flat 6 \flat 7
Mixo b9 b13	<i>Jazz</i>	<i>Mixb9b13</i>	1 \flat 2 3 4 5 \flat 6 \flat 7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Lydian ♭7 b2	Jazz	<i>Lyd</i> ♭7b2	1 ♭2 3 ♯4 5 6 ♭7
Bebop	Jazz	<i>Bebop</i>	1 2 3 4 5 6 ♭7 7
Whole Tone	Jazz	<i>Whole Tn</i>	1 2 3 ♯4 ♯5 ♭7
Blues Maj	Jazz	<i>Blues Ma</i>	1 2 ♭3 3 5 6
Blues Min	Jazz	<i>Blues Mi</i>	1 ♭3 4 ♯4 5 ♭7
Blues Combined	Jazz	<i>BluesCmb</i>	1 2 ♭3 3 4 ♯4 5 6 ♭7
Lydian #5	Jazz	<i>Lyd #5</i>	1 2 3 ♯4 ♯5 6 7
Jazz Minor	Jazz	<i>Jazz Mi</i>	1 2 ♭3 4 5 6 7
Half Dim	Jazz	<i>Half Dim</i>	1 2 ♭3 4 ♭5 ♭6 ♭7
Augmented	Jazz	<i>Augmenta</i>	1 ♭3 3 5 ♯5 7

World Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Hungarian Min	<i>World</i>	<i>Hung Min</i>	1 2 ♭3 ♯4 5 ♭6 7
Hungarian Maj	<i>World</i>	<i>Hung Maj</i>	1 ♯2 3 ♯4 5 6 ♭7
Neapolitan	<i>World</i>	<i>Neapoltn</i>	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 7
Spanish	<i>World</i>	<i>Spanish</i>	1 ♭2 ♭3 3 4 5 ♭6 ♭7
Greek	<i>World</i>	<i>Greek</i>	1 2 ♭3 ♭4 5 ♭6 ♭7
Jewish 1	<i>World</i>	<i>Jewish 1</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 ♭7
Jewish 2	<i>World</i>	<i>Jewish 2</i>	1 2 ♭3 ♯4 5 6 ♭7
Indian 1	<i>World</i>	<i>Indian 1</i>	1 ♭2 ♭3 ♯4 5 ♭6 7
Indian 2	<i>World</i>	<i>Indian 2</i>	1 2 ♭3 ♯4 5 6 7
Indian 3	<i>World</i>	<i>Indian 3</i>	1 ♭2 2 4 5 ♭6 6
Indian 4	<i>World</i>	<i>Indian 4</i>	1 ♯2 3 4 5 ♯6 7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Mid East 1	<i>World</i>	<i>M East 1</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Mid East 2	<i>World</i>	<i>M East 2</i>	1 ♭2 3 4 ♭5 ♭6 7
Mid East 3	<i>World</i>	<i>M East 3</i>	1 ♭2 ♭3 4 ♭5 6 ♭7
Mid East 4	<i>World</i>	<i>M East 4</i>	1 ♭2 3 4 ♭5 6 ♭7

5-Tone Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Penta I	<i>5-Tone</i>	<i>Pent I</i>	1 2 3 5 6
Penta II	<i>5-Tone</i>	<i>Pent II</i>	1 2 4 5 ♭7
Penta III	<i>5-Tone</i>	<i>Pent III</i>	1 ♭3 4 ♭6 ♭7
Penta IV	<i>5-Tone</i>	<i>Pent IV</i>	1 2 4 5 6
Penta V	<i>5-Tone</i>	<i>Pent V</i>	1 ♭3 4 5 ♭7
Hirajoshi	<i>5-Tone</i>	<i>Hira</i>	1 2 ♭3 5 ♭6
Insen	<i>5-Tone</i>	<i>Insen</i>	1 ♭2 4 5 ♭7
Kokin Joshi	<i>5-Tone</i>	<i>Kokin</i>	1 2 4 5 ♭6
Akebono	<i>5-Tone</i>	<i>Akebono</i>	1 2 ♭3 5 6
Ryukuan	<i>5-Tone</i>	<i>Ryukuan</i>	1 3 4 5 7
Abhogi	<i>5-Tone</i>	<i>Abhogi</i>	1 2 ♭3 4 6
Bhupkali	<i>5-Tone</i>	<i>Bhupkali</i>	1 2 3 5 ♭6
Hindolam	<i>5-Tone</i>	<i>Hindolam</i>	1 ♭3 4 ♭6 ♭7
Bhupalam	<i>5-Tone</i>	<i>Bhupalam</i>	1 ♭2 ♭3 5 ♭6
Amritavarshini	<i>5-Tone</i>	<i>Amrita</i>	1 3 ♯4 5 7

Modern Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Octatonic	<i>Modern</i>	<i>Octatonic</i>	1 2 \flat 3 4 $\#$ 4 $\#$ 5 6 7
Acoustic	<i>Modern</i>	<i>Acoustic</i>	1 2 3 $\#$ 4 5 6 \flat 7
Augmented	<i>Modern</i>	<i>Augmented</i>	1 \flat 3 3 5 $\#$ 5 7
Tritone	<i>Modern</i>	<i>Tritone</i>	1 \flat 2 3 \flat 5 5 \flat 7
Leading Wh Tone	<i>Modern</i>	<i>Lead Wh</i>	1 2 3 $\#$ 4 $\#$ 5 $\#$ 6 7
Enigmatic	<i>Modern</i>	<i>Enigmatic</i>	1 \flat 2 3 $\#$ 4 $\#$ 5 $\#$ 6 7
Scriabin	<i>Modern</i>	<i>Scriabin</i>	1 2 3 $\#$ 4 6 \flat 7
Tcherepnin	<i>Modern</i>	<i>Tcherepnin</i>	1 $\#$ 1 $\#$ 2 3 4 5 $\#$ 5 6 7
Messiaen I	<i>Modern</i>	<i>Mes I</i>	1 2 3 $\#$ 4 $\#$ 5 $\#$ 6
Messiaen II	<i>Modern</i>	<i>Mes II</i>	1 \flat 2 $\#$ 2 3 $\#$ 4 5 6 \flat 7
Messiaen III	<i>Modern</i>	<i>Mes III</i>	1 2 \flat 3 3 $\#$ 4 5 \flat 6 \flat 7 7
Messiaen IV	<i>Modern</i>	<i>Mes IV</i>	1 \flat 2 2 4 $\#$ 4 5 \flat 6 7
Messiaen V	<i>Modern</i>	<i>Mes V</i>	1 \flat 2 4 $\#$ 4 5 7
Messiaen VI	<i>Modern</i>	<i>Mes VI</i>	1 2 3 4 $\#$ 4 $\#$ 5 $\#$ 6 7
Messiaen VII	<i>Modern</i>	<i>Mes VII</i>	1 \flat 2 2 \flat 3 4 $\#$ 4 5 \flat 6 6 7

Major Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Natural	<i>Major</i>	<i>Natural</i>	1 2 3 4 5 6 7
Lydian	<i>Major</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 $\#$ 4 5 6 7
Mixolydian	<i>Major</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 \flat 7
Major Minor	<i>Major</i>	<i>Maj Min</i>	1 2 3 4 5 \flat 6 \flat 7
Harmonic Major	<i>Major</i>	<i>Har Maj</i>	1 2 3 4 5 \flat 6 7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Dbl Har Major	<i>Major</i>	<i>Dbl Maj</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Neapolitan Maj	<i>Major</i>	<i>Nea Maj</i>	1 ♭2 3 4 5 6 7
Major Locrian	<i>Major</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 ♭5 ♭6 ♭7
Blues Major	<i>Major</i>	<i>Blues Ma</i>	1 2 ♭3 3 5 6
Bebop Major	<i>Major</i>	<i>Bebop Ma</i>	1 2 3 4 5 #5 6 7
Hexa 1	<i>Major</i>	<i>Hexa 1</i>	1 2 3 5 6 7
Hexa 2	<i>Major</i>	<i>Hexa 2</i>	1 2 3 4 5 6
Penta 1	<i>Major</i>	<i>Penta 1</i>	1 2 3 5 6
Penta 2	<i>Major</i>	<i>Penta 2</i>	1 3 4 5 7
Penta 3	<i>Major</i>	<i>Penta 3</i>	1 3 5 6 7

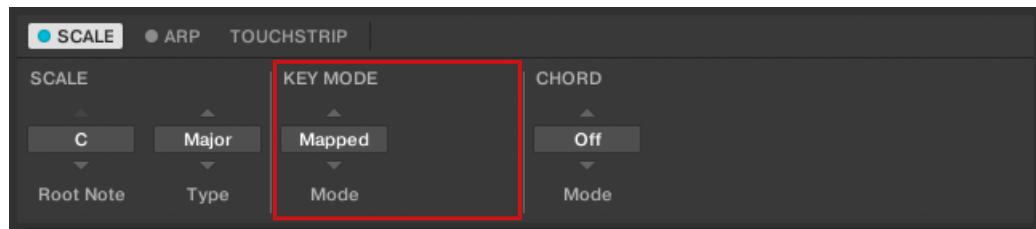
Minor Scales

スケール	Bank	Type	スケール内容
Natural	<i>Minor</i>	<i>Natural</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Dorian	<i>Minor</i>	<i>Dorian</i>	1 2 ♭3 4 5 6 ♭7
Phrygian	<i>Minor</i>	<i>Phrygian</i>	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Minor Major	<i>Minor</i>	<i>Min Maj</i>	1 2 ♭3 4 5 6 7
Harmonic Minor	<i>Minor</i>	<i>Har Min</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 7
Dbl Har Minor	<i>Minor</i>	<i>Dbl Min</i>	1 2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Neapolitan Min	<i>Minor</i>	<i>Nea Min</i>	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 7
Minor Locrian	<i>Minor</i>	<i>Min Loc</i>	1 2 ♭3 4 ♭5 ♭6 ♭7
Blues Min	<i>Minor</i>	<i>Blues Mi</i>	1 ♭3 4 #4 5 ♭7
Bebop Minor	<i>Minor</i>	<i>Bebop Mi</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7 7
Hexa 1	<i>Minor</i>	<i>Hexa 1</i>	1 2 ♭3 5 ♭6 ♭7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Hexa 2	Minor	Hexa 2	1 2 ♭3 4 5 ♭6
Penta 1	Minor	Penta 1	1 2 ♭3 5 ♭6
Penta 2	Minor	Penta 2	1 ♭3 4 5 ♭7
Penta 3	Minor	Penta 3	1 ♭3 5 ♭6 ♭7

14.7 KEY MODE パラメーターの設定

KEY MODE パラメーターは [Mode](#) のみです。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。ここで選択したスケールをキーボードの鍵盤にマッピングします。この設定は Light Guide にも反映します。



KEY MODE パラメーター Mode です。

3 つのモードを配した KEY MODE メニューの詳細は、以下で解説します。

- *Guide*
- *Mapped* (デフォルト)
- *Easy*

Mapped モード(デフォルト)

Mapped モードで選択したスケールに対応してキーボードにノートがマッピングされます。選択したスケール以外のノートは無効の状態となります。対応するキーを押すと選択したスケールを発音します。Light Guide は有効なキーをフル点灯する LED で示します。Root Note は更に明るい LED で表示します。



各セクションでは Root Note と SCALE に間して KEY MODE がデフォルト値でマッピングしてある状態を前提に解説します。

Guide モード

Guide モードで、ノートは *Mapped* モードと同様にキーボードにマッピングされますが、選択したスケール以外のノートも有効な状態となります。マッピングは Light Guide 上で有効なスケールを示します。

Easy モード

Easy モードでは選択したスケールのノートはキーボードの白鍵盤部分のみにマッピングされます。黒鍵盤を演奏しても無効の状態なので他のノートを発音することはできません。



KEY MODE Easy で 12 ステップの Chromatic を選択した場合、マッピング内容は *Mapped* モードでの内容と同じになります。

Root Note は常に 中央の C (C3 と呼びます) にマッピングされます。選択したスケールが 7 つのノートを含む場合は、鍵盤の 1 オクターブ分の白鍵盤にマッピングされます。この場合、*Root Note* はキー C となります。選択したスケールが 7 つ以上、以下のノート数となる場合、7 つの白鍵盤とはマッチしないので、オクターブごとに *Root Note* の位置が変化します。

Light Guide はキーボードの白鍵盤全てをハイライト表示します。*Root Note* は更に明るい LED で表示します。

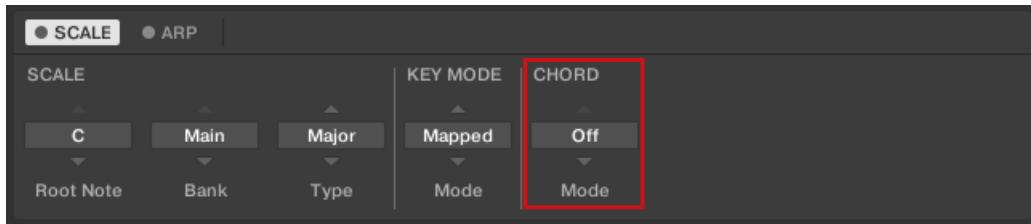
以下は Easy モードを使用したマッピング例です (*Major* と *Minor* 設定)。

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
白鍵盤	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	
<i>Major</i>								
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	
例 <i>Root Note</i> が C の場合	C	D	E	F	G	A	B	
<i>Minor</i>								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	b7	
例 <i>Root Note</i> が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	Bb	

14.8 CHORD パラメーターの設定

14.8.1 CHORD モード

CHORD 最初のコードパラメーターは [Mode](#) です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。KOMPLETE KONTROL キーボード、またはホストの MIDI 入力ノートを用いて単一ノートによりコードを生成します。



CHORD パラメーター [Mode](#) です。



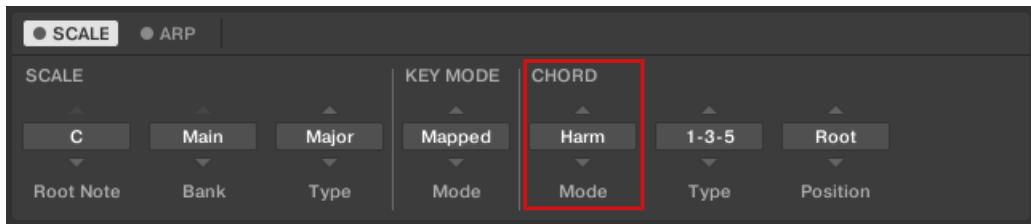
Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

CHORD Mode は一つの無効(*Off*)の状態と、2 つの起動した状態があります（以下参照）。

- *Off*
- *Harm*
- *Chd Set*

Harm

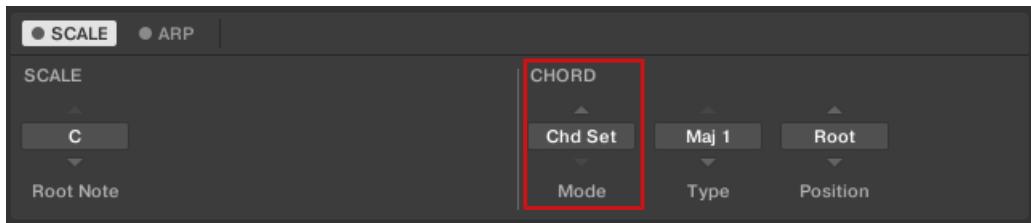
CHORD Mode を *Harm* にすると、CHORD Type メニューで選択した SCALE Type によりノートが設定され、コードを構成する基本となります。例えばトライアドはルートノート、3 度、5 度となります (CHORD Type 1-3-5)。



CHORD パラメーター Mode を Harm にしています。

Chd Set

CHORD Mode を Chd Set にすると、CHORD Type メニューで現在の Root Note によりメジャー/マイナーコードを選択できるようになります。



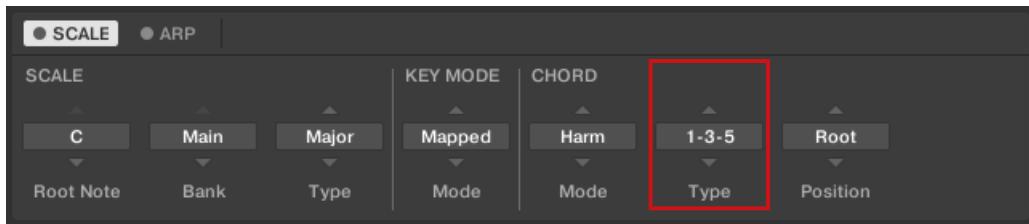
CHORD パラメーター Mode を Chd Set にしています。



SCALE Type と KEY MODE パラメーターは CHORD Mode を Chd Set にした場合機能しなくなります。

14.8.2 CHORD タイプ

次の CHORD パラメーターは Type です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここで単一ノート入力によって生成されるコードを設定します。



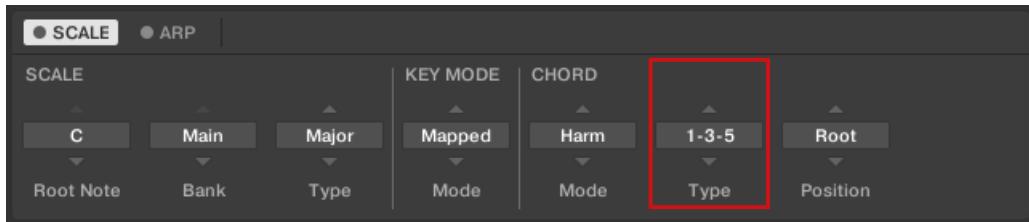
CHORD パラメーター Type です。



Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

有効な CHORD Type 値は CHORD Mode を Harm または Chd Set にするかで異なります。

CHORD Type, CHORD Mode Set to Harmonizer



CHORD パラメーター Type を 1-3-5 (Mode は Harm にしています) にしています。

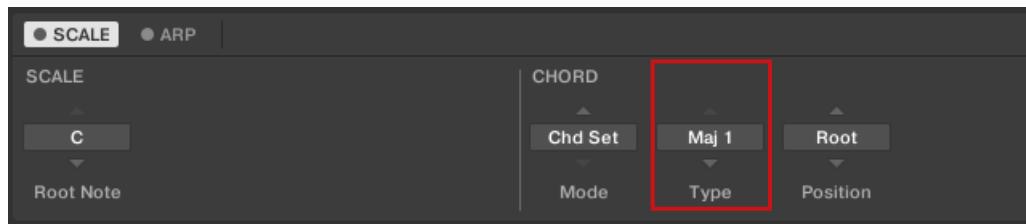
CHORDMode を Harm にした場合は、CHORD Type では選択した SCALE Type による各ノートを表示します。これで Chrom スケール以外の全スケールで、コードを構成するノート間隔を選択することができるようになります。

ノート間隔は KOMPLETE KONTROL キーボード、またはホストから送信された単一の MIDI ノートに適用されます。例えば Root Note を C、SCALE Type を Minor、CHORD Mode を Harm にし、CHORD Type を 1-3-5 にすることで C マイナートライアドが生成されます。ここまで解説が難解であれば、任意の値を設定してキーボードの Light Guide を確認して、どのキーが有効、無効であるか、どのノートが再生されるか試してみてください。

CHORD Mode を Harm にすると、CHORD Type セッティングには以下の値が表示されます。

Chord Type	演奏ノートに追加されるノート
オクターブ	オクターブ
1-3	3rd
1-5	5th
1-3-5	3rd と 5th
1-4-5	4th と 5th
1-3-5-7	3rd、5th、7th
1-4-7	4th と 7th

CHORD Type, CHORD Mode Set to Chd Set



CHORD パラメーター Type で値を Maj 1 (Mode は Chd Set にします) にします。

CHORD Mode を Chd Set にし、例えば Root Note を C にすると、CHORD Type メニューに選択可能なコードがリストアップされます。例えば選択肢は Maj 4 や Min 7 となり、これらがガルートノート C を使用した場合メジャー、マイナーコードを生成します。

CHORD Mode を Chd Set にすると、CHORD Type には以下の値が含まれるようになります。

- Maj 1, Maj 2, Maj 3, Maj 4, Maj 5, Maj 6, Maj 7, Maj 8, Min 1, Min 2, Min 3, Min 4, Min 5, Min 6, Min 7, Min 8

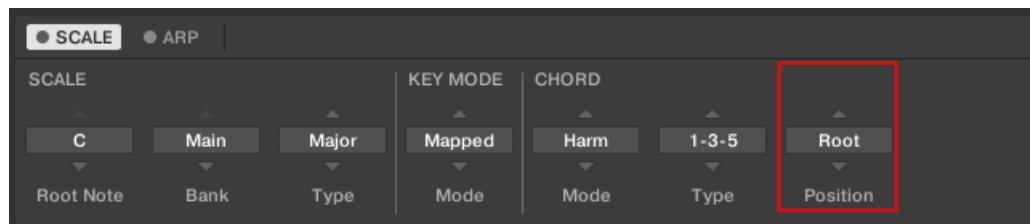
CHORD Type and the Chromatic Scale

Chrom スケールではオクターブの全セミトーンが含まれます。これは全白鍵盤、黒鍵盤をオクターブ全域に渡って 12 ステップの Chrom スケールを演奏している、ということになります。スケール内で全てのセミトーンを使用でき、これらのキーでコードを演奏できます。SCALE TYPE として Chrom を選択すると、自由に CHORD Type を選択することが可能となります。以下は生成可能な有効なコードです。

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
オクターブ	12
Perf 4 (Perfect 4)	5
Perf 5 (Perfect 5)	7
Major	4 と 7
Minor	3 と 7
Sus 4 (Suspended 4)	5 と 7
Maj 7 (Major 7)	4、7 と 11
Min 7 (Minor 7)	3、7 と 10
Dom 7 (Dominant 7)	4、7 と 10
Dom 79 (Dominant 9)	4、7、10、と 14
Min 7 b5 (Minor 7 b5)	3、6 と 10
Dim 7 (Diminished 7)	3、6 と 9
Aug (Augmented)	4 と 8
Quartal	5、10 と 15
Trichd (Trichord)	5 と 11

14.8.3 CHORD ポジション

三番目の CHORD パラメーターは Position です。スケールエディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。この機能で単音から生成されるコードのノートを各位置で発音、コード変移をより音楽的にします。



CHORD パラメーター、Position です。

Position パラメーターは CHORD Type を Harm または Chd Set にすることで使用でき、以下の設定値を使用できるようになります。

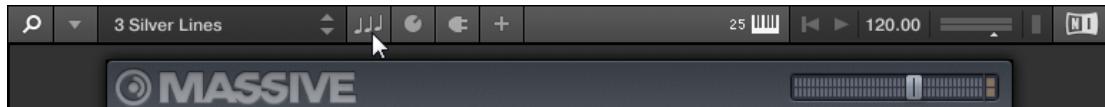
Position(ポジション)	内容
Root	選択したコードのルートポジションが常に発音されます。
-1 から -8	Position をマイナス値にすることで現在のコードの最高ノート値がオクターブ下に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
+1 から +8	Position をプラス値にすることで現在のコードの最低ノート値がオクターブ上に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
Auto	コード変更の際に、より人が演奏したような発音内容となります。各コードで使用したノートが自動的に使用されるようになります。

15 Smart Play – アルペジオ演奏と編集

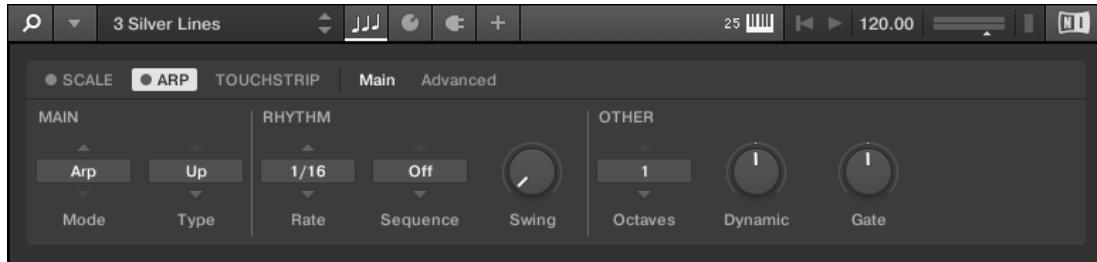
Smart Play 機能の柔軟なアルペジエーターで、鍵盤を押すことでインストゥルメントを演奏することができます。Scale エンジンで作成したスケールとコードを用いたアルペジオ演奏も可能です。アルペジオ演奏では KOMPLETE KONTROL キーボードのいずれかを押すか、ホストから MIDI ノートを送信するのみとなります。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでアルペジエーターを起動する

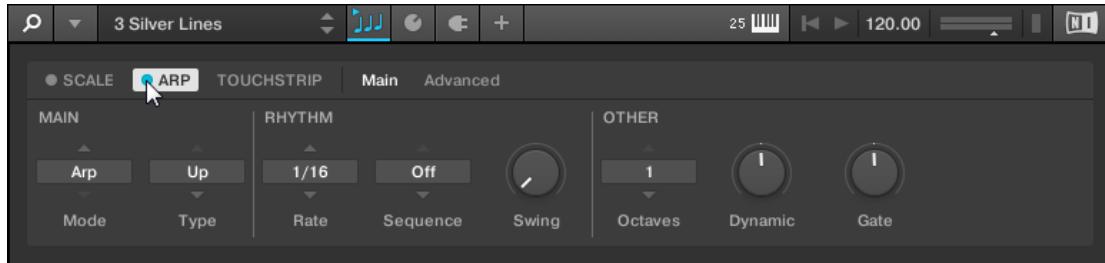
- ▶ ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



→ パフォームパネルが KOMPLETE KONTROL に表示されます。



- ▶ アルペジエーターエンジンを起動するには、パフォームパネルの ARP の隣のチェックボックスをクリックします。



キーボードでアルペジエーターを起動する

- ▶ アルペジエーターを起動するには、キーボードのパフォーム、エディットセクションで **ARP (Edit)** を押します。

15.1 Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏

KOMPLETE KONTROL の Smart Play を使用することで、複雑なアルペジエーターシーケンスの作成と演奏ができます。

Arpeggiator (アルペジエーター) の演奏

1. キーボードの **ARP (Edit)** ボタンを押してアルペジエーターを起動します。
2. 各キーを弾くことでアルペジオ演奏します。
3. アルペジエーターは自動的に弾いた鍵盤に対応してアルペジオ演奏します。

アルペジエーターパラメーターの編集

コントロールセクションのアルペジエーターパラメーターでシークエンスを更に設定することも可能です。

1. **SHIFT + ARP (Edit)** を押し、Control セクションの ディスプレイとノブをアルペジエーターパラメーターにマッピングします。
2. シーケンスの演奏順序を変更するには例えば UP-DOWN の場合はノブ 2 (TYPE を回し (デフォルト値は UP です) 変更します。
3. アルペジオ演奏範囲を決める OCTAVES を変更するには、ノブ 6 (デフォルトは 1 です) を例えば 4 にします。
→ これでアルペジオがオクターブ間を行き来するようになります。
4. インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに更にマッピングするには、**PLUG-IN** を押します。アルペジエーターは起動したままとなります。

15.2 サステインペダルでアルペジエーターをコントロールする

サステインペダルでアルペジエーターをコントロールすることもできます。

- 鍵盤を押している間にサステインペダルを押し、鍵盤を放すと、アルペジオ演奏が継続されます。これでフットスイッチがアルペジエーターのトリガーとして機能します。鍵盤を演奏すると、現在のシーケンスに新規ノートが追加されます。

- 鍵盤を押していない状態でサステインペダルを放すと、シーケンスと全演奏ノートが停止します。鍵盤を押している状態でサステインペダルを放すと、押している鍵盤以外の全ノートが演奏を停止します。この際押している鍵盤の演奏を継続します。

15.3 キーボードでアルペジエーターのスナップショットを使用する

アルペジエータースナップショット で 4 つのアルペジエータースナップショットを即座に呼び出すことができます。これにより設定内容を比較したり、演奏中にスナップショットを切り替えることで表現の幅を広げることができます。キーボードではスナップショットは Arp Edit モードを選択するとボタン 5-8 にマッピングされます。ディスプレイでは RATE パラメーターでの設定がラベル表示されます (例 1/8、1/16、1/16 T 等)。

- スナップショットを選択するには、キーボードのコントロールセクションの対応するボタンを押します。
 - このスナップショットの全設定内容が即座に呼び出されるようになります。
- スナップショットの設定内容を変更するには該当するスナップショットを選択し、パラメーターを調節します。
- 調節した新規設定内容は自動的に保存され、スナップショット間を相互に呼び出すことができます。

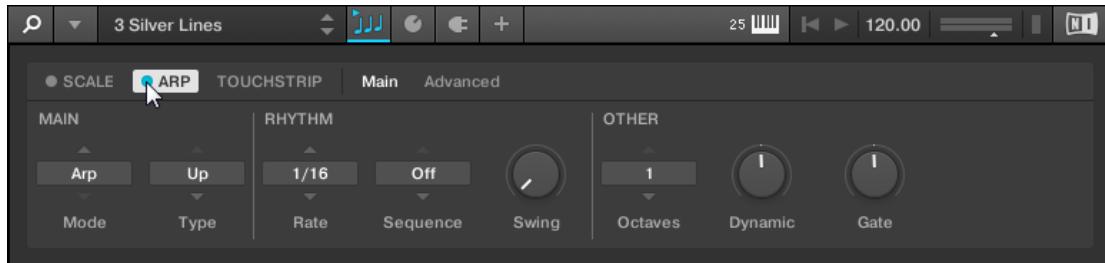


コントロールセクションのアルペジエータースナップショットです。

15.4 アルペジエーターの編集

アルペジエーターには各パラメーターがあり、ノートシーケンスに多彩な表現力を与えます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでアルペジエーターパラメーターを編集するには、パフォームパネルの **ARP** をクリックしてハイライト表示させます。



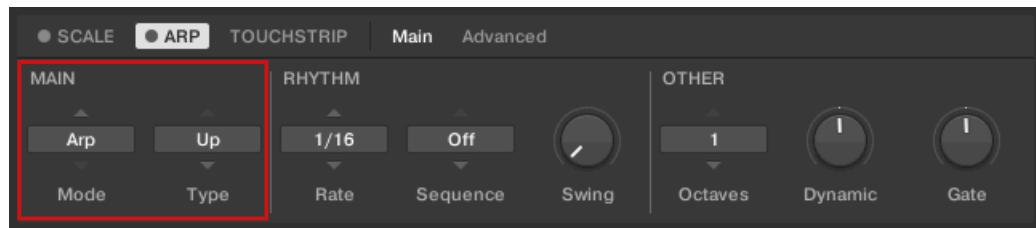
- ▶ Arpeggiator Edit モードを起動し、キーボードのコントロールセクションにアルペジエーターパラメーターをマッピングするには **SHIFT + ARP (Edit)** を押します。
- これでキーボードのコントロールセクションでアルペジエーターパラメーターを編集することができるようになります。Arpeggiator Edit モードには 2 ページ分のパラメーターがあります。

各アルペジエーターパラメーター詳細

- *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジエーターの再生順序を切り替えるには **MAIN** パラメーター **Mode** と **Type** を使用します。
- アルペジエーターの再生順序をかえ、様々なリズムを生成するには、**RHYTHM** パラメーターの **Rate**、**Sequence**、**Swing** を使用します。
- アルペジエーター用のノートレンジやペロシティー、レングスを変更するには、**OTHER** パラメーターの **Octaves**、**Dynamic**、**Gate** を使用します。
- 気に入ったアルペジオシーケンスのバージョンを作る場合は、**ADVANCED** パラメーターの **Retrigger**、**Repeat**、**Offset**、**Inversion** を使用します。
- アルペジオを起動するキーレンジを変更するには、**RANGE** パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** を使用します。
- アルペジオを持続再生するには、**HOLD** パラメーターを使用します。

15.5 MAIN パラメーター

MAIN パラメーター **Mode** と **Type** で *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジオの再生順序を変更します。



MAIN パラメーター Mode と Type です。

15.5.1 MAIN モード

最初の MAIN パラメーターは Mode です。キーボードでは Arp Edit モードのコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。ここでは Arp または Note Repeat を選択することができます。選択内容によってアルペジエーターパラメーターの異なるセットが編集用に表示されます。

Mode 設定時には以下のモードがあります。

- Arp モードで鍵盤によるコード演奏によりアルペジエーターシーケンスを生成、または Scale エンジンのアウトプットを用いて生成します。ARP 起動し、Mode を Arp にすると、Scale エンジンを用いて生成したコードでアルペジオ演奏します。この場合、選択したスケールによるアルペジオ演奏を行うには、鍵盤の一つを押さえるだけとなります。
- Note Repeat モードで、アルペジエーター機能が解除され、KOMPLET KONTROL が MIDI ノートオフメッセージを受信するまでノートが連続再生されます。各パラメーター Rate、Swing、Gate パラメーターを使用してリピートのリズムを設定します。

15.5.2 MAIN タイプ

次の MAIN パラメーター、Type は Arp モードのみで有効な機能です。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。アルペジオノートの演奏順序を設定します。ルートノートを基点にコードがどのように演奏されるか設定します。Order Played を選択すると、KOMPLET KONTROL キーボードで鍵盤に触れた順番でアルペジオ演奏されます。ホストで Type パラメーターをオートメーションすることでアルペジオ演奏に変化をつけることができるでしょう。

Type セッティングには以下の値があります。

- Up、Down、Up & Down (UP-DOWN キーボード)、Order Played (PLAYED キーボード)、Chord

15.6 RHYTHM パラメーター

RHYTHM パラメーター Rate、Sequence、Swing で様々なアルペジオを生成することができます。



RHYTHM パラメーター Rate、Sequence、Swing です。

15.6.1 RHYTHM Rate

最初の RHYTHM パラメーター Rate は、Arp と Note Repeat モードの両方にあります。Arp エディット モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。アルペジエーターのビートはグローバルテンポと同調し、設定値幅は 1/1 から 1/128 となります。(1/1 と 1/128 以外の) 全ノート値には通常音符、付点音符、三連符があります。付点音符は通常の音符より 1.5 倍の長さとなります。三連符は通常ノートの 2/3 の長さとなります。

Rate セッティングには以下の値があります。

- 1/1
- 1/2 Dotted (1/2 D)
- 1/1 Triplet (1/1 T)
- 1/2
- 1/4 Dotted (1/4 D)
- 1/2 Triplet (1/2 T)
- 1/4
- 1/8 Dotted (1/8 D)
- 1/4 Triplet (1/4 T)
- 1/8
- 1/16 Dotted (1/16 D)
- 1/8 Triplet (1/8 T)
- 1/16

- 1/32 Dotted (1/32 D)
- 1/16 Triplet (1/16 T)
- 1/32
- 1/64 Dotted (1/64 D)
- 1/32 Triplet (1/32 T)
- 1/64
- 1/128 Dotted (1/128 D)
- 1/64 Triplet (1/64 T)
- 1/128

15.6.2 RHYTHM Sequence

次の RHYTHM パラメーター [Sequence](#) は *Arp* モードのみにあります。 *Arp* エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 4 にマッピングされます。アルペジオノートにリズムによる変化を与えます。選択肢は 8 つです。 [Sequence](#) 使用時に [Rate](#) パラメーター (参照) を編集することで異なるテンポによるリズムのバリエーションを生成することが可能となります。 [Rate](#) を通常値、または付点音符による値にすると、[Sequence](#) は 16 ステップのノートシーケンスを生成します。 [Rate](#) を三連符による値にすると、[Sequence](#) は 12 ステップのノートシーケンスを生成します。

再生中にシーケンスリズムを変更することも可能です。例えばシーケンス 1 を使用中にシーケンス 2 を選択すると、MIDI ノートの 5 番目以降がシーケンス 2 の内容に切り替わります。

[Sequence](#) セッティングには以下の値があります。

- Off, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8



SEQUENCE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 4 をタップします。

15.6.3 RHYTHM Swing

3 番目の RHYTHM パラメーター [Swing](#) は、*Arp* と *Note Repeat* モードの両方にあります。 *Arp* エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。 [Swing](#) をノートシーケンスに追加し、より自然な「ノリ」を与えることができます。 [Swing](#) を追加することでシーケンス上の各二番目のノートの再生位置が絶妙にずれます。これで音楽にグルーヴを追加することができます。

[Swing](#) はドラッグコントロールで、設定値は 0% から 100% までです。

1. 0% でノートシーケンスに何の変化も起きません。

2. [Swing](#) 値を上げることで毎 2 個目のノートの発音タイミングを遅らせます。この遅れ度合いは現在のステップサイズと同調して設定されます。

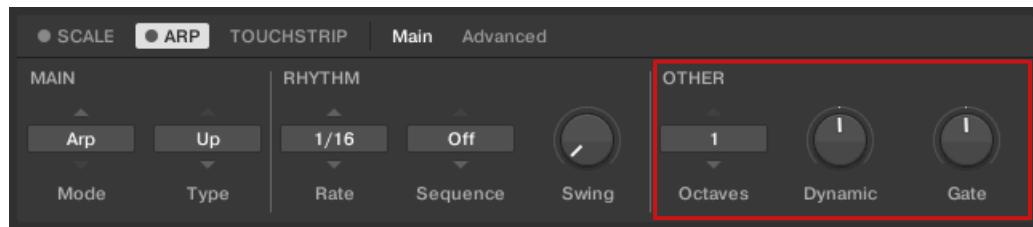


SWING パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 5 をタップします。

Swing 設定時に [Gate](#) パラメーターを設定することでグルーヴにバリエーションをつけることが可能となります。例えば [Gate](#) を 100% にすると、KOMPLETE KONTROL が各ノートを発音する前に MIDI ノートオフメッセージを送信し、シーケンスをレガート再生します。Gate 値が 100% 以下の場合は、[Swing](#) 値が適用された後にノートサイズが変化します。

15.7 OTHER パラメーター

OTHER パラメーター [Octaves](#)、[Dynamic](#)、[Gate](#) でアルペジオのノートレンジ、ベロシティー、レンジスを変更します。



OTHER パラメーター [Octaves](#)、[Dynamic](#)、[Gate](#) です。

15.7.1 OTHER Octaves

最初の OTHER パラメーター [Octaves](#) は Arp モードのみで使用できます。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここでアルペジオのオクターブレンジを設定します。KOMPLETE KONTROL キーボードでシーケンスの再生範囲となるオクターブを選択することができ、また、最高 8 オクターブ分までの再生幅を設定、コードやスケールの演奏域が行き届く範囲を設定します。

Type パラメーターでの設定内容によって、再生オクターブ範囲は押した鍵盤以上のオクターブ域 ([Up](#)) または以下 ([Down](#)) そして上下 ([Up & Down](#)) となります。

[Octaves](#) セッティングには以下の値があります。

- 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8



OCTAVES パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 6 をタップします。

15.7.2 OTHER Dynamic

次の OTHER パラメーター [Dynamic](#) は *Arp* モードのみで使用できます。 *Arp* エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。 この機能はインプットペロシティー設定機能で、例えば [KOMPLETE KONTROL](#) キーボードを押す、またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノート値を [Dynamic](#) パラメーターで編集します。 各ノートに対して値を適用できます。 各ノートのペロシティー値は [Dynamic](#) パラメーター値での設定によって変化します。

[Dynamic](#) はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。



DYNAMIC パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 7 をタップします。

15.7.3 OTHER Gate

3 番目の OTHER パラメーター [Gate](#) は *Arp* と *Note Repeat* モードの両方で使用できます。 *Arp* エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 8 にマッピングされます。 ここでシーケンスのノートレンジスを設定します。 1% から 99% まで値を変更することでノートの長さが短くなります。 101% から 200% まで値を変更することでノートの長さが長くなります。

[Gate](#) はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。

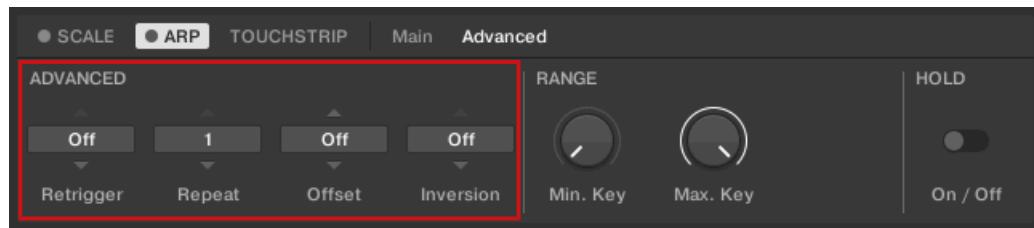
[GATE RESET](#) 機能はコントロールセクションのボタン 4 にマッピングされ、[GATE](#) パラメーターのデフォルト値 100% にいつでもリセットすることができます。



GATE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 8 をタップします。

15.8 ADVANCED パラメーター

ADVANCED パラメーター [Retrigger](#)、[Repeat](#)、[Offset](#)、[Inversion](#) で気に入ったアルペジオのバージョンを作成することができます。



ADVANCED パラメーター Retrigger、Repeat、Offset、Inversion です。

15.8.1 ADVANCED Retrigger

最初の ADVANCED パラメーター Retrigger は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 2 を選択すると、コントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。Retrigger でシーケンス内の音数とは関係なくアルペジオが最初の地点にいつ戻るか設定することができます。以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Retrigger を 3 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 をリピートします。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で Retrigger を 8 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - 2 - 3 - とリピートします。

Sequence のその他のノートはステップとして扱われます。

- 例えばアルペジオの音数が 6 の場合、Sequence は 1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - 5 - 6 - 休符 となり、Retrigger を 5 にすると、1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - とリピート再生されます。

15.8.2 ADVANCED Repeat

次の ADVANCED パラメーター Repeat は Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 2 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。Repeat でアルペジオの各ノートがリピートされる回数を設定します。以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で Repeat を 3 にすると、アルペジオは 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 3 - 3 - 3 - と再生されます。

15.8.3 ADVANCED Offset

3番目の ADVANCED パラメーター **Offset** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは *Arp Edit* モードの PAGE 3 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。**Offset** でアルペジオ順が移動するステップ数を設定します。

以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を 0 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を +1 にすると、アルペジオは 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を -1 にすると、アルペジオは 5 - 1 - 2 - 3 - 4 - と再生されます。

15.8.4 ADVANCED Inversion

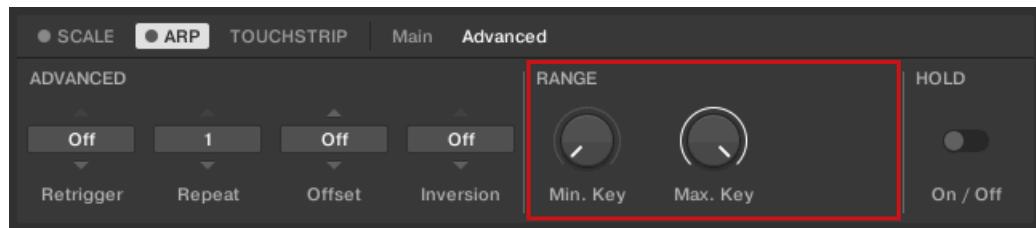
4番目の ADVANCED パラメーター **Inversion** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは *Arp Edit* モードの PAGE 4 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。**Inversion** でアルペジオの順序が逆になります。

以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を 0 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を 1 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 2 - 3 - と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を 2 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - (2 - 3 - 1 octave up) - (3 - 1 - 2 octave up) - と再生されます。

15.9 RANGE パラメーター

RANGE パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** でアルペジオをトリガーするキーレンジを設定します。



RANGE パラメーター [Min. Key](#)、[Max. Key](#) です。

15.9.1 RANGE Min. Key

最初の RANGE パラメーターは [Min. Key](#) で、Arp モードのみで使用することができます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 5 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。[Min. Key](#) で Arp シーケンスで使用できるノートの下限を設定します。



この設定を行っても [Min. Key](#) の設置値よりも下にある音程はアルペジオ再生されます。

15.9.2 RANGE Max. Key

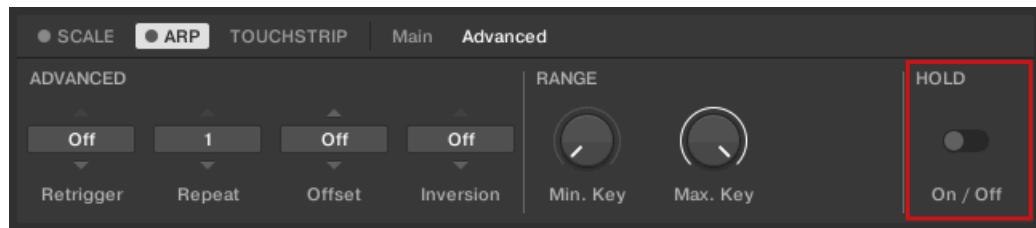
2 番目は RANGE パラメーター [Max. Key](#) で、Arp モードのみで使用できます。キーボードでは Arp Edit モードの PAGE 6 を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。[Max. Key](#) で アルペジエーターシーケンスで使用できるノートの上限を設定します。



この設定を行っても [Max. Key](#) の設置値よりも上にある音程はアルペジオ再生されます。

15.10 HOLD パラメーター

HOLD パラメーター [On / Off](#) は Arp と Note Repeat モード両方で使用できます。Arp エディットモードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのボタン 3 にマッピングされます。HOLD 機能でアルペジエーターによるノート演奏をラッチ演奏します。On に設定すると、アルペジエーターはキーボードで押した鍵盤によるシーケンスを持続的に演奏します。



HOLD パラメーター *On / Off* です。

HOLD はスイッチコントロールで、*On / Off* *On* と *Off* のどちらかを選択できます。

1. HOLD が *On* の状態で他の鍵盤を押すと、新シーケンスが演奏されます。
2. アルペジエーターの再生をとめるには HOLD パラメーターを *Off* にします。



さらにキーボードの **PERFORM** セクションで **ARP (Edit)** を押すことでアルペジエーターを完全に停止することもできます。もう一度アルペジエーターのスイッチを入れると、HOLD が再び起動し、ラッチ演奏を続けることができます。

索引

数字

4-D エンコーダー [55]

A

Accessibility (ユーザー補助)

機能概要 [18]

Training Mode [18]

ユーザー補助 [15]

キーボード概要 [15]

ユーザー補助機能

Activate Speech Output [17]

ARP (Edit) ボタン [52]

Arpeggiator

Rhythm [214]

Sequence [214]

Arpeggiator Mode

Note Repeat [212]

Arpeggiator シーケンス [189]

アルペジエーターシーケンス [210]

アルペジエータースナップショット [210]

アルペジエーター [210]

advanced パラメーター [216]

Dynamic [216]

編集 [210]

Gate [216]

Gate Reset [216]

Groove [214]

Hold [219]

Inversion [218]

Main [211]

Main Mode [212]

Main Type [212]

Max. Key [219]

Min. Key [219]

note value [213]

Octaves [215]
Offset [218]
Other [215]
シーケンスの演奏 [209]
Range [215] [218]
rate [213]
Repeat [217]
Retrigger [217]
リズム [213]
サステインペダルコントロール [209]
Swing [214]
tempo [213]
Velocity [216]
ASIO ドライバ [68]
オーディオドライバ(選択) [67]
オーディオインターフェイス
 選択とアウトプット [66]
 設定 [66]
プリセットファイルのオーディション [155]
AUTO ボタン [52]
自動アサインされるコントロール部 [184]

B

ブラウザ [36]
 Files ペイン [42]
 ディスプレイ上 [44]
 Library ペイン [38]
 プリセットファイルのロード [131]
 プロダクトセレクター [40]
 表示と非表示 [131]
Browsing
 Product types [128]
ブラウズ
 ファクトリー、またはユーザーコンテンツの選択 [132]
 プリセットファイルの情報の表示 [154]
 バンクによる絞り込み [138]
 TYPES と MODES による絞り込み [144]
 インストゥルメントによるプリセットファイルの絞り込み [133]
 テキストサーチの実行 [154]
 セレクションのリセット [140]
 TYPES と MODES タグフィルター [141]

C

コードモード [202]
 コードポジション [206]
Chord タイプ [203]
 Chromatic Scale [205]

Chords

コードの編集 [192]
 生成 [206]
 コード演奏 [191]

コード [189]

コードセット [202]
 生成 [202] [203]
 ハーモナイザー [202]

Chromatic Scale [205]

コンテンツセレクター [39]

Control セクション [53]

インストゥルメントとエフェクトパラメーターの
 コントロール

事前にマッピングが施されたインストゥルメン
 トについて [184]

パラメーターの調節 [184]

パラメーターマッピングのカスタマイズ [185]

インストゥルメントとエフェクトパラメーターの
 操作 [184]

インストゥルメントパラメーターのコントロール

パラメーターページの切り替え [184]

D**Driver**

オーディオドライバの選択 [67]

E

Effects [157]
エフェクト
 バイパス [165]
 配置を変える [163]

F**Favorites**

追加 [149]
 表示 [151]
 削除 [152]
 Favorites の使用 [148]

Files ペイン [42]

リザルトリストの追加機能 [175]
 Control バー [44]
 Favorite バー [43]
 IMPORT ボタン [44]
 Information ボタン [44]
 Location バー [43]
 ファイル位置のナビゲート [176]
 Recent Locations ボタン [44]
 リザルトリスト [44]
 Files ペインの使用 [174]
FIXED VEL (TS Mode) ボタン [57]

H

ヘッダ

Browser [37]
CPU メーター [38]
Keyboard ボタン [37]
Main メニュー [37]
Master ボリュームコントロール [38]
MIDI Assignment エディターボタン [38]
NI ロゴ [38]
パフォームパネルボタン [37]
Plug プラグインチェーンパネルボタン [37]
プラグインパネルボタン [37]
プリセットディスプレイ [37]
テンポコントロール [38]
トランスポートコントロール [38]
View ボタン [37]

ホストオートメーション [83]

ホストコントロール [52]

ホスト統合 [27]

高度連動用コントロール機能 (MASCHINE)
[114]
基本コントロール機能 (MASCHINE) [112]
Ableton Live との連携 [123]
Apple GarageBand との連動 [120]
Apple Logic Pro X との連動 [120]
MASCHINE との連動 [111]
Steinberg Cubase/Nuendo との連携 [125]
Ableton Live の設定 (macOS) [28]
Ableton Live の設定 (Windows) [30]
Apple GarageBand の設定 [27]
Apple Logic Pro X の設定 [27]
Steinberg Cubase/Nuendo の設定 [27]
設定 [27]
サポートホスト [27] [111]

高次連動 [111]

ホストトランスポートコントロール [52]

I

IMPORT ボタン [183]

KOMPLETE KONTROL に互換性があるユーザーファイルをインポートする [182]

INSTANCE ボタン [84]

インスタンス

自動切替え [62]
切り替え [62]

Instrument Views [58]

Additional View [59]
Default View [59]
Edit View [61]

K

キーボードの LED [55]

Keyboard 概要

Arrange ボタン [50]

ボタン 1-8 [53]

Control セクション [50]

ディスプレイ [53]

Kensington Lock [51]

キーベッド [50]

ノブ 1-8 [53]

Light Guide [50]

MIDI IN/OUT 端子 [51]

Navigation と Mode ボタン [50]

Pedal A と Pedal B 端子 [51]

ペダル:Pedal A と Pedal B 端子 [51]

Perform と Edit セクション [50]

Pitch と Modulation Wheels [50]

Power ボタン [51]

Preset と Page ボタン [50]

PSU 端子 [51]

Solo と Mute ボタン [50]

Touch Strip [50]

Transport セクション [49]

Transpose と Fixed Velocity ボタン [50]

USB コネクター [51]

キーボード概要 [49]

Keyboard 設定 [79]

キーボード

コントロール [49]

概要 [49]

KOMPLETE KONTROL

主要機能 [21]

KOMPLETE KONTROL

ワークフロー [21]

L

Latency [68]

LED

キーベッド [55]

Light Guide [55]

Libraray ペイン

EDIT ボタン [40]

Information ボタン [40]

Library ペイン [38]

コンテンツセレクター [39]

コントロールバー [40]

Favorites [40]

Library [39]

MODEs フィルター [40]

試聴コントロール [40]

プロダクトセレクター [39] [40]

Product Type アイコン [39]

リザルトリスト [40]

サーチフィールド [40]

TYPES フィルター [39]

ライブラリ [129]

自身のファイルのインポート [182]

管理 [168]

プリセットファイル [168]

タグ [129]

Light Guide [55]

LED [55]

デフォルトの状態でプラグインをロードする [79]

Location バー

ファイル位置のナビゲート [176]

Locations バー

お気に入りへのファイル追加/削除 [178]

Favorite フォルダへのジャンプ [177]

現在のファイルの場所へのナビゲート [177]

LOOP ボタン [52]

M

Master Volume

ソフトウェアでの調節 [65]

Master ボリュームコントロール [38]

METRO ボタン [52]

MIDI

オートメーション [83]

設定 [68]

外部機器の接続 [35]

MIDI アプリケーション/機器の制御 [82]

パラメーターのコントロール [83]

MIDI 入力 [82]

MIDI Assignment エディター [47]

MIDI ボタン [54]

MIDI コミュニケーション [82]

MIDI メッセージタイプ [104]

MIDI 送信 [82]

MIDI クロックの受信 [82]

加工した MIDI ノートのルーティングと録音 [82]

MIDI イнструメントのトリガーと MIDI ノートの録音 [82]

MIDI Assignment エディター [47]

Key Zones について [94]

Key Zone に MIDI チャンネルをアサインする [96]

コントロール部に MIDI メッセージをアサインする [89]

アサイン [88]

新規 Key Zone の作成 [95]

新規 MIDI テンプレートの作成 [92]

Key Zone の削除 [101]

Key Zone の無効化 [99]

MIDI テンプレート [89]

開く [89]
ページ [89]
Key Zone の色を変更する [97]
コントロール部の名称変更 [91]
MIDI テンプレートの名称変更 [93]
Key Zones のサイズ変更 [98]

MIDI メッセージタイプ
ボタンへのアサイン [106]
ノブへのアサイン [105]
ペダル（連続値用）へのアサイン [110]
ペダル（スイッチ）へのアサイン [108]
Touch Strip のアサイン [108]
Type メニュー [104]

MIDI モード [84]
MIDI アサイン [85]
MIDI モードへの切り替え [85]

Mode ボタン
BROWSER ボタン [54]
INSTANCE ボタン [54]
MIDI ボタン [54]
MIXER ボタン [54]
PLUG-IN ボタン [54]
SETUP ボタン [54]

MODES フィルター [40]

Modulation Wheel [50]

音楽理論
Arpeggiator シーケンス [189]
コード [189]
スケール [188]

N

Native Kontrol Standard [179]

NKS
NKS サポート KONTAKT /REAKTOR インス
トゥルメントをインストールする [180]
NKS インストゥルメントのインストール
[179]
NKS サポート VST プラグインのインストー
ル [180]

Note Repeat モード [212]

O

OCTAVE (Semi) down ボタン [57]
OCTAVE (Semi) up ボタン [57]

P**ペダル**

ペダルインプットの設定 (エクスプレッション) [33]

ペダルインプットの設定 (サステイン) [32]

ペダルの接続 [31]

Perform パネル

Scale [188]

パフォームパネル [44]

概要 [44]

Pitch Wheel [50]**PLAY (Restart) ボタン [53]****プラグインエリア [48]****Plug-in chain**

プラグインスロットの選択 [162]

Plug-in チェーンパネル [46]

概要 [46]

プラグインチェーンパネル

開く [157]

プラグインチェーン [47]

プラグインスロット [47]

プラグインチェーン

エフェクトのバイパス [165]

プラグインチェーン [47]

プラグインスロット [47]

エフェクトの削除 [166]

エフェクトの配置を変える [163]

スクロール [164]

プラグインパネル [45]

Edit モード [185]

概要 [45]

プラグインスロット [47]**プラグイン**

デフォルトの状態でプラグインをロードする

[79]

Preferences [65]

Audio ページ [66]

General ページ [70]

Library ページ [71]

MIDI ページ [68]

Plug-ins ページ [75]

Usage Data Tracking [70]

Audio と MIDI の設定

オーディオルーティング [66]

プリセットファイルの試聴 [155]

事前にマッピングが施されたインストゥルメント
に [184]

プリセットファイル

ユーザークリエイティブファイルの削除 [170]

見つける [129]

管理 [168]

管理 [129]

ライブラリへの保存 [168]

ユーザークリエイティブファイルの保存 [168]

Product セレクター

Product セレクターヘッダ [41]

プロダクトセレクター [39] [40]

Category/Vendor セレクター [41]

プロダクトリスト [41]

Product types

Instrument and Effect [128]

Q**QUANTIZE ボタン [52]**

R

- REC (Count-in) ボタン [53]
- エフェクトの削除 [166]
- エフェクトの配置を変える [163]
- クロックのリセット
 - キーボード [64]
 - ソフトウェア [64]
- リザルトリスト [40]
- Root Note [193]

S

- 選択
 - サンプルレートの [67]
- Scale [188]
 - Scale パラメーター [192]
 - コードポジション [206]
 - Chord タイプ [203]
 - スケールの編集 [192]
 - キーモード [200]
 - スケール演奏 [190]
- SCALE (Edit) ボタン [52]
- Scale エンジン [188]
- スケールエンジン
 - 起動 [189]
- Scale タイプ [193]
 - Chromatic [205]
- Scales
 - 5-Tone [197]
 - Jazz [195]
 - Main [194]
 - Major [198]
 - Minor [199]
 - Modern [198]
 - Modes [195]
 - World [196]
- スケール [188]
- スケール
 - コードモード [202]
 - コード [202]
 - Root Note [193]
 - Scale タイプ [193]
 - スケール [192]
- 検索
 - プリセットファイル [129]

S
Setting up

キーボードをコンピューターに接続する [23]

S
設定

スタンドアロンアプリケーション [24]

S
SHIFT ボタン [52]**S**
ソフトウェア概要 [36]

ブラウザ [36] [38]

ヘッダ [36] [37]

MIDI Assignment エディター [47]

プラグインエリア [36]

プラグインエリア [48]

S
サウンドカード

アウトプットルーティング [66]

設定 [66]

S
スタンドアロンアプリケーション

設定 [24]

S
STOP ボタン [52]**S**
インスタンスの切り替え [62]**T**
タグ

カテゴリ [129]

タグを使用したプリセットファイルの検索 [129]

T
Tempo

キーボードでテンポを設定する [65]

ソフトウェアでテンポを設定する [64]

T
TEMPO ボタン [52]**T**
テキストサーチ [154]**T**
Touch Strip [56]**T**
Transport と Tempo コントロール [63]

Play ボタン [63]

Reset ボタン [63]

Tempo コントロール [63]

T
TRANSPORT セクション [52]**T**
TYPES と MODES

同じレベルで複数のタグを選択する [148]

T
TYPES フィルター [39]**U****U**
UNDO (Redo) button [52]**U**
Usage Data Tracking

起動/起動解除 [71]

U
ユーザー ライブ ライ

フォルダの追加 [74]

フォルダの削除 [75]

U
ユーザー プリセット ファイル

削除 [170]

タグとプロパティーの編集 [171]

保存 [168]

V

ボリュームコントロール [38]

VST plug-ins

ロード [178]

VST プラグイン [76] [178]

管理 [76]